

(2) 観光データ基礎調査・分析について

①WEB調査、事業者・村民アンケート

WEB調査結果 サマリー まとめ

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

渡嘉敷村に関するニーズ調査

プロジェクトID

配信名

地域に関する調査

調査目的

調査対象者

性別：男女
年齢：18歳以上
地域：全国（沖縄県を除く）
その他：条件1：コロナ流行前まで年に1回以上の頻度で旅行をされていた方
条件2：2017年以降に沖縄県へ旅行目的で訪れたことがある方

納品サンプル数

1000 サンプル
※内訳

割付

男性

女性

合計

20代以下

30代

40代

50代

60代以上

合計

200

100

100

200

100

500

200

100

100

200

100

500

200

200

200

200

200

1000

オーバーサンプル：1.2倍

納品

基本データ：

(1) ローデータ

(2) GT表（グラフ含）

(3) FA一覧（回答がある場合のみ）

クロス集計：

性年代別×全設問

割付別×全設問

備考

アンケート画面

画面ご確認URL

画面確認について
（カーソルを合わせると、メモが表示されます）

[回答形式]

SA=シングルアンサー（単一回答）表示記号：「○（ラジオボタン）」/MA=マルチアンサー（複数回答）表示記号：「□（チェックボックス）」
FA=フリーアンサー（自由回答）/NUM=数値入力/MT=マトリクス

設問番号

回答形式

設問文

備考/データ処理

スクリーニング

全員回答

F1

SA

あなたの自認する性別をお答えください。
（お答えは1つ）

○1

男性

○2

女性

F2

NUM

あなたの年齢をお答えください。
（お答えは半角数字で）

歳

※半角数字のみ ※17歳以下は調査終了

F3

SA

あなたのお住まいの地域をお答えください。
（お答えは1つ）

▼ブルダウン

1 北海道

2 青森県

3 岩手県

4 宮城県

5 秋田県

6 山形県

7 福島県

8 茨城県

9 栃木県

10 群馬県

11 埼玉県

12 千葉県

13 東京都

14 神奈川県

15 新潟県

16 富山県

17 石川県

18 福井県

19 山梨県

20 長野県

21 岐阜県

22 静岡県

23 愛知県

24 三重県

25 滋賀県

26 京都府

27 大阪府

28 兵庫県

29 奈良県

30 和歌山県

31 鳥取県

32 島根県

33 岡山県

34 広島県

35 山口県

36 徳島県

37 香川県

38 愛媛県

39 高知県

40 福岡県

41 佐賀県

42 長崎県

43 熊本県

44 大分県

45 宮崎県

46 鹿児島県

47 沖縄県

48 海外

→調査終了

→調査終了

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

全員回答

[改ページ](#)

SC1 SA 新型コロナウイルス感染症が流行する以前（2019年12月以前）で、あなたが旅行をしていた頻度を教えてください。
（お答えは1つ）

☐ 1	1ヶ月に1回以上	
☐ 2	2～3ヶ月に1回程度	
☐ 3	半年に1回程度	
☐ 4	1年に1回程度	
☐ 5	2～3年に1回程度	→調査終了
☐ 6	それ以下の頻度	→調査終了

全員回答

[改ページ](#)

SC2 MA あなたはこれまでに沖縄県へ旅行目的で訪れたことがありますか。
訪れたことがある時期としてあてはまるものをすべてお選びください。
（お答えはいくつでも）

☐ 1	2023年	
☐ 2	2022年	
☐ 3	2021年	
☐ 4	2020年	
☐ 5	2019年	
☐ 6	2018年	
☐ 7	2017年	
☐ 8	2016年	
☐ 9	2015年以前	
☐ 10	沖縄県に旅行目的で訪れたことはない	※排他

※SC2で☐1～☐7のいずれにもONがない方は調査終了（2017年以降に沖縄県へ訪れたことがない方）

■本調査

全員回答

[改ページ](#)

直近の旅行時期

Q1 SA あなたが直近旅行した時期をお答えください。（宿泊を伴う旅行のみお答えください。）
（お答えは1つ）

☐ 1	1か月以内
☐ 2	3か月以内
☐ 3	半年以内
☐ 4	1年以内
☐ 5	2年以内
☐ 6	それ以上

全員回答

[改ページ](#)

認知度
来訪経験

Q2 SA あなたは沖縄県の「渡嘉敷村」を知っていますか。あてはまるものをお選びください。
（お答えは1つ）

☐ 1	知っており、訪れたことがある	認知者	来訪経験者
☐ 2	知っているが、訪れたことはない	認知者	来訪未経験者
☐ 3	知らない	非認知者	来訪未経験者

回答者：Q2で☐1、☐2にONがある方（渡嘉敷村 認知者）

[改ページ](#)

認知経路

Q3 SA あなたが渡嘉敷村を知ったきっかけをお答えください。
（お答えは1つ）

☐ 1	テレビ番組／テレビCM
☐ 2	ラジオ番組／ラジオCM
☐ 3	雑誌の記事／広告
☐ 4	新聞の記事／広告
☐ 5	旅行関連のサイト／旅行代理店
☐ 6	旅行雑誌
☐ 7	SNS(LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど)
☐ 8	ニュースサイト・ニュースアプリ(Yahoo!、SmartNews、グノシーなど)
☐ 9	動画共有サイト (YouTubeなど)
☐ 10	書店
☐ 11	友人・知人・家族のクチコミ
☐ 12	その他（具体的に)

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

回答者：Q2で○1にONがある方（渡嘉敷村：東訪経験者）

Q4MASA
MT

あなたが渡嘉敷村を訪れたことのある時期として、あてはまるものをすべてお選びください。
(お答えはいくつでも)
また、そのなかで訪れたことが最も多い時期を1つだけお選びください。
(お答えは1つ)

来訪時期

Q4.1
訪
れた
時
期
が

Q4.2
最
も
訪
れた
時
期
が

※Q2_1でONのある項目のみQ2_2に選択可

1月	☐ 1	☐ 1
2月	☐ 2	☐ 2
3月	☐ 3	☐ 3
4月	☐ 4	☐ 4
5月	☐ 5	☐ 5
6月	☐ 6	☐ 6
7月	☐ 7	☐ 7
8月	☐ 8	☐ 8
9月	☐ 9	☐ 9
10月	☐ 10	☐ 10
11月	☐ 11	☐ 11
12月	☐ 12	☐ 12

回答者：Q2で○1にONがある方（渡嘉敷村：東訪経験者）

Q5SA

渡嘉敷村をご存知の方にお伺いします。
あなたは渡嘉敷村に対してどの程度の魅力を感じていますか。
(お答えは1つ)

魅力度
(情報提示前)

☐ 1	とても魅力を感じる
☐ 2	魅力を感じる
☐ 3	やや魅力を感じる
☐ 4	どちらともいえない
☐ 5	あまり魅力を感じない
☐ 6	魅力を感じない
☐ 7	まったく魅力を感じない

全員回答

「渡嘉敷村」とは沖縄県の渡嘉敷島を始め10余りの島からなる村です。



Q6MASA
MT

以下のアクティビティやコンテンツについて、
あなたが「渡嘉敷村」で体験したいと思うものを3つまでお選びください。
(お答えは3つまで)
その中で、最も体験したいと思うものを1つだけお選びください。
(お答えは1つ)

Q6.1
体
験
し
て
み
た
い

Q6.2
特
に
体
験
し
て
み
た
い

※Q6_1でONのある項目のみQ6_2に選択可

Q6_1	陸からのホエールウォッチング	☐ 1	☐ 1
Q6_2	海上ボートからのホエールウォッチング	☐ 2	☐ 2
Q6_3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	☐ 3	☐ 3
Q6_4	干潟（イノー）での観察体験	☐ 4	☐ 4
Q6_5	自然観察	☐ 5	☐ 5
Q6_6	料理体験	☐ 6	☐ 6
Q6_7	クラフト体験	☐ 7	☐ 7
Q6_8	カヤックツアー	☐ 8	☐ 8
Q6_9	集落散策	☐ 9	☐ 9
Q6_10	無人島探訪	☐ 10	☐ 10
Q6_11	戦跡めぐり	☐ 11	☐ 11
Q6_12	ビーチクリーン	☐ 12	☐ 12
Q6_13	ヨサ体験	☐ 13	☐ 13
Q6_14	SUP体験	☐ 14	☐ 14
Q6_15	ダイビング体験	☐ 15	☐ 15
Q6_16	シュノーケル体験	☐ 16	☐ 16
Q6_17	その他ビーチアクティビティ	☐ 17	☐ 17
Q6_18	村民（島民）との交流体験	☐ 18	☐ 18
Q6_19	サイクリング	☐ 19	☐ 19

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

全員回答

改ページ

AT経験状況

アドベンチャーツーリズム（AT）とは、アドベンチャーツーリズム（AT）とは、『アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行』のことを指し、且つ訪れた場所への地域振興を考えた旅行のことや概念を指します。アドベンチャーという言葉の印象から「冒険的な体験」と理解されがちですが、必ずしもそれだけではなく文化的体験等、非日常体験も含まれます。

Q7

MA

あなたはこれまでに**アドベンチャーツーリズム（AT）**を経験したことがありますか。
あてはまるものをすべてお選びください。
（お答えはいくつでも）
※自分自身の楽しみだけを求める旅行ではなく、訪れる地域への消費（経済効果）等、ツアーに参加することで地域貢献できるかどうかにも高い意識を持っていることがアドベンチャーツーリズムでの旅行者像となります。その点をご理解いただいた上で、ご回答ください。

☐ 1	沖縄県の本島で経験したことがある
☐ 2	沖縄県の離島で経験したことがある
☐ 3	沖縄県以外（離島を除く）で経験したことがある
☐ 4	沖縄県以外の離島で経験したことがある
☐ 5	経験したことはない

※排他

回答者：Q7で☐1～☐4のいずれかにONがある方（AT経験者）

改ページ

AT経験内容

アドベンチャーツーリズム（AT）とは、『アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行』のことを指し、且つ訪れた場所への地域振興を考えた旅行のことを指します。

Q8

MA

あなたが経験したことのある**アドベンチャーツーリズム（AT）**のコンテンツをすべてお選びください。
（お答えはいくつでも）
※自身の楽しみだけを求める旅行はアドベンチャーツーリズムに含まれません。

☐ 1	山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）
☐ 2	海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）
☐ 3	森でのアクティビティ（生物観察など）
☐ 4	川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
☐ 5	スポーツ（マラソン・ヨガなど）
☐ 6	キャンプ
☐ 7	グランピング
☐ 8	ナイトツアー
☐ 9	釣り
☐ 10	サイクリング
☐ 11	地域の文化的な歴史鑑賞
☐ 12	集落散策
☐ 13	古民家探索
☐ 14	その地域の住民との交流体験
☐ 15	料理
☐ 16	陶芸体験
☐ 17	その他（ ）

回答者：Q7で☐1～☐4のいずれかにONがある方（AT経験者）

改ページ

AT実施予算

アドベンチャーツーリズム（AT）とは、『アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行』のことを指し、且つ訪れた場所への地域振興を考えた旅行のことを指します。

Q9

SA

あなたが**アドベンチャーツーリズム（AT）**を経験した際の、1人あたりの平均予算金額はどのくらいでしたか。
（お答えは1つ）
※自身の楽しみだけを求める旅行はアドベンチャーツーリズムに含まれません。
※ここでは飛行機代などを除いたアドベンチャーツーリズムの1コンテンツあたりの体験料金としてお考えください。

☐ 1	3,000円未満
☐ 2	3,000～5,000円未満
☐ 3	5,000～10,000円未満
☐ 4	10,000～15,000円未満
☐ 5	15,000～20,000円未満
☐ 6	20,000～25,000円未満
☐ 7	25,000～30,000円未満
☐ 8	30,000～35,000円未満
☐ 9	35,000円以上

全員回答

改ページ

ATへの興味

アドベンチャーツーリズム（AT）とは、『アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行』のことを指し、且つ訪れた場所への地域振興を考えた旅行のことを指します。

Q10

SA

あなたは「渡嘉敷村」での**アドベンチャーツーリズム（AT）**に興味はありますか。あてはまるものをお選びください。
（お答えは1つ）
※自身の楽しみだけを求める旅行はアドベンチャーツーリズムに含まれません。

☐ 1	渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある
☐ 2	アドベンチャーツーリズムに興味はあるが、渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がない
☐ 3	アドベンチャーツーリズムに興味がない

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

Q11 FA 上記のようにお答えになった理由を教えてください。
(お答えは具体的に)

必須

全員回答

Q12 MA あなたが渡嘉敷村に求めるものがあればお答えください。
(お答えはいくつでも)

改ページ

不安点

☐ 1	キャッシュレス決済の増加
☐ 2	外国人観光客への受入対応（多言語案内の設置など）
☐ 3	危機対策（天災・感染症など）の徹底
☐ 4	村内の全体の連携（共通クーポンの企画など）
☐ 5	近隣の島との連携（島のホッピングツアーなど）
☐ 6	デジタルサイネージなどの案内板の設置
☐ 7	SNSを使った情報発信
☐ 8	その他（ ）

全員回答

Q13 MA あなたが今後、渡嘉敷村を訪れたいと思う時期を教えてください。
(お答えはいくつでも)
※ここでは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せずにお答えください。

改ページ

来訪意向
(時期含め)

☐ 1	1月
☐ 2	2月
☐ 3	3月
☐ 4	4月
☐ 5	5月
☐ 6	6月
☐ 7	7月
☐ 8	8月
☐ 9	9月
☐ 10	10月
☐ 11	11月
☐ 12	12月
☐ 13	特に訪れたいと思う時期はない

※排他

回答者：Q13で☐1～☐12のいずれかにONがある方（渡嘉敷村：来訪意向者）

改ページ

不安点

Q14 MA あなたがコロナ禍において渡嘉敷村を訪れたいと考える際、不安に感じることをすべてお選びください。
(お答えはいくつでも)

☐ 1	渡嘉敷村の感染症対策が十分か
☐ 2	コロナ禍でも観光できるのか
☐ 3	現地の人から歓迎されるのか
☐ 4	渡嘉敷村の医療体制
☐ 5	村内での移動手段が密ではないか
☐ 6	村までの交通手段（飛行機や船など）が減便され予約ができないこと
☐ 7	自分や同行者が渡嘉敷村で感染原因になってしまう可能性
☐ 8	その他（ ）
☐ 9	特に不安に感じていることはない

※排他

全員回答

Q15 SA あなたの職業をお答えください。
(お答えは1つ)

改ページ

☐ 1	会社経営者・役員・団体役員
☐ 2	会社員・団体職員（正社員、教員）
☐ 3	会社員・団体職員（派遣・契約社員）
☐ 4	自営業・個人事業主・フリーランス
☐ 5	自由業（開業医・弁護士事務所経営など）
☐ 6	公務員
☐ 7	学生
☐ 8	主婦・主夫（専業）
☐ 9	パート・アルバイト・フリーター
☐ 10	無職・休職中・求職中
☐ 11	年金生活
☐ 12	その他（ ）

全員回答

Q16 SAMT あなたの個人年収とご家庭の世帯年収をお答えください。
(お答えはそれぞれ1つ)

改ページ

	Q17_1 個人 年 収	Q17_2 世 帯 年 収
※個人年収<世帯年収の制制（「わからない」除く）		
100万円未満	☐ 1	☐ 1
100万円～200万円未満	☐ 2	☐ 2
200万円～300万円未満	☐ 3	☐ 3
300万円～400万円未満	☐ 4	☐ 4
400万円～500万円未満	☐ 5	☐ 5
500万円～600万円未満	☐ 6	☐ 6
600万円～700万円未満	☐ 7	☐ 7
700万円～800万円未満	☐ 8	☐ 8
800万円～900万円未満	☐ 9	☐ 9
900万円～1,000万円未満	☐ 10	☐ 10
1,000万円～1,500万円未満	☐ 11	☐ 11
1,500万円～2,000万円未満	☐ 12	☐ 12
2,000万円以上	☐ 13	☐ 13
わからない・答えたくない	☐ 14	☐ 14

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

WEBアンケート

※一部村民アンケート分析あり

基本属性

●性別年代

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	300	300	300	300	300	1500
女性	300	300	300	300	300	1500
計	600	600	600	600	600	3000

●居住地

居住地	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	5 秋田県	6 山形県	7 福島県	8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
人数	109	10	13	32	13	9	14	48	21	23	218	197
%	3.6%	0.3%	0.4%	1.1%	0.4%	0.3%	0.5%	1.6%	0.7%	0.8%	7.3%	6.6%

居住地	13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県	17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県	21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
人数	675	311	25	14	17	13	12	25	33	41	195	33
%	22.5%	10.4%	0.8%	0.5%	0.6%	0.4%	0.4%	0.8%	1.1%	1.4%	6.5%	1.1%

居住地	25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
人数	19	73	256	163	32	15	7	8	28	46	14	11
%	0.6%	2.4%	8.5%	5.4%	1.1%	0.5%	0.2%	0.3%	0.9%	1.5%	0.5%	0.4%

居住地	37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	計
人数	17	21	4	111	7	20	18	11	9	9	0	3,000
%	0.6%	0.7%	0.1%	3.7%	0.2%	0.7%	0.6%	0.4%	0.3%	0.3%	0.0%	100%

●個人年収・世帯年収

	100万円未満	100万円～ 200万円未満	200万円～ 300万円未満	300万円～ 400万円未満	400万円～ 500万円未満	500万円～ 600万円未満	600万円～ 700万円未満	700万円～ 800万円未満
個人年収	614 20.5%	265 8.8%	334 11.1%	362 12.1%	316 10.5%	228 7.6%	198 6.6%	120 4.0%
世帯年収	78 2.6%	84 2.8%	167 5.6%	271 9.0%	281 9.4%	279 9.3%	259 8.6%	260 8.7%

	800万円～ 900万円未満	900万円～ 1,000万円未満	1,000万円～ 1,500万円未満	1,500万円～ 2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答 えたくない	計
個人年収	83 2.8%	58 1.9%	118 3.9%	22 0.7%	34 1.1%	248 8.3%	3000 100%
世帯年収	188 6.3%	178 5.9%	381 12.7%	130 4.3%	81 2.7%	363 12.1%	3000 100%

●職業

職業	会社経営 者・役員・団 体役員	会社員・団 体職員（正 社員、教 員）	会社員・団 体職員（派 遣、契約社 員）	自営業・個 人事業主・ フリーランス	自由業（開 業医・弁護 士事務所経 営など）	公務員	学生	主婦・主夫 （専業）	パート・アル バイト・フリー ター	無職・休職 中・求職中	年金生活	その他	計
人数	96	1,313	156	191	46	105	124	406	312	97	147	7	3,000
%	3.2%	43.8%	5.2%	6.4%	1.5%	3.5%	4.1%	13.5%	10.4%	3.2%	4.9%	0.2%	100%

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

調査結果サマリーまとめ ①

調査結果サマリーまとめ

- 渡嘉敷村の認知と来訪経験について
渡嘉敷村の認知は全体で約8割と高いものの、来訪自体は3割程度にとどまる。
他の離島よりはアクセスが良いが、実際の来島となると時間的なゆとりや、渡嘉敷島へのアクセスなど沖縄本島よりはハードルがあがってしまうため、来島経験者が認知に比べて低い傾向となっているものと推察される。
また来訪者の渡嘉敷村に対する魅力を感じている人が9割超と多く、20代以下～50代の幅広い世代が魅力を感じている割合が高い傾向となっている。
- 渡嘉敷村の認知経路について
TV番組／TV CMからの認知が比較的高い。
20代以下、30代は、SNSからの認知が他の年代よりも高めとなっており前年比もアップしている。

考察1

渡嘉敷村の認知が高く魅力を感じている、多くの年代の実際の来訪率アップのためには、渡嘉敷村へのアクセスや村でのアクティビティなど具体的な旅行計画に繋がるようなアプローチが重要と思われる。特に年代毎にアプローチを多様化させる必要あり。

- また渡嘉敷村のアドベンチャーツーリズムに対する興味も6割強と高め。
特に船から又は陸からのホエールウォッチングやナイトツアーなどへの関心が高い。
実際、アドベンチャーツーリズム経験者は、沖縄県（本島・離島）での体験が多くなっており、体験したことがある層は比較的アドベンチャーツーリズムへの参加意向が高いものと思われる。

⇒アドベンチャーツーリズムに対する需要性は今後も高まる傾向であると思われる

特に地域振興や地域貢献ということへの意識が社会的に高まりをみせつつある昨今、旅行を楽しめて地域振興、貢献ができることは旅の充実度を高めるものと推察される。

考察2

渡嘉敷村の認知者は渡嘉敷村への魅力を十分に感じており、機会があれば来訪したいという意向が高く、また恵まれた自然環境や美しい景観を活かした渡嘉敷独自のアクティビティへの興味も高い。
機会さえあればアドベンチャーツーリズムへ参加したい層が確実に存在している。
今後アドベンチャーツーリズムの参加を促進するにはより一層、地域振興や貢献できることを具体化して訴求すること、また村内及び慶良間諸島全体としての連携によるアクティビティの充実が必要と思われる。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

WEBアンケート

調査結果サマリーまとめ ②

調査結果サマリーまとめ

- 渡嘉敷村への来訪時期とコロナ禍に於ける懸念
渡嘉敷村への今後の来訪したい時期はゴールデンウィークや夏休み、盆休みなどの大型連休となる時期「5月」「7月」「8月」が最も多くなっている。
また、コロナ過での渡嘉敷村来訪に対する不安は、“旅行自体を楽しく遂行できる状況にあるか”、という要素の項目が高い傾向となっている。

考察3

コロナ禍の旅行については感染に対する意識が慣れに変わり、前年ほどの不安や懸念は減少している。渡嘉敷村への感染対策よりも旅行自体の満足度アップを考えている傾向が伺える。

渡嘉敷村の観光地としての現在の状況をリアルに発信していくことが、来訪への不安払拭に繋がり、観光客の増加が見込めるものと推察される。

- 事業者へのヒアリングから
渡嘉敷村への観光客は夏場に多く、通年での安定した観光客誘致が課題であると思われる様子であり、冬場のみならず通年での対策が必要であると考えている事業者が半数以上ある。
理由としては、通年での観光客誘致による収入の安定化及び島の活性化であり、施策として基本的な観光客ニーズに応える対策を考えている事業者が半数近くあった。
「村内の全体の連携やデジタル化への対応（キャッシュレス決済やSNSの利用など）、慶良間諸島全体の連携などが挙げられている。

また、観光客誘致のために今後強化していきたいこととしては、経営者、従業員のスキルアップや新商品・サービスの構築、SNSなどの情報発信など受け入れ側の事業者や、島自体の観光地としての強化策の意見が見られた。

考察4

通年での観光客誘致のために、より具体的な渡嘉敷島への交通アクセスプランや年間の渡嘉敷島でのバケーションプランを可視化することで、来訪への促進を図るようなことが重要と思われる。

毎月ごとに提供されるバケーションプランで様々な楽しみ方ができる観光地であること、観光客がより利便性アップできるような施策を村全体で考えて実施していること、観光客が増えることにより地域振興にも役立つことなどを具体的に情報として発信することで観光客の年間を通しての来訪へ繋がるものと思われる。

特に若い世代はSNSなどの情報発信での効果が高いため広報PRの強化（人材及び戦略）が重要であるものと思われる。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

調査結果サマリーまとめ ③令和4年 地域経済動向調査事業者意識調査より

平成28年 渡嘉敷村アンケート調査
事業者意識調査より

- 令和4年5月～11月の稼働状況（回答事業者：21件）
40%未満が4件、60%未満が8件、80%未満が7件、90%未満が2件で、100%の事業者は0件となっている。
理由は、コロナ感染症対策の国の方針の緩和により観光客の自然増による前年比増のみであり、特に対策をして増えたということが少ないため。
対策している事業者は4件のみ。
※広報・周知強化、新商品・サービスの提供
- 今後、観光客誘致に強化したい取り組みに提供したい取組みとしては、
 - ・島内事業者との連携 (13)
 - ・慶良間諸島一体とした取組み (10)
 - ・デジタル対応 (10)
 - ・外国人の受け入れ (8)
 - ・危機対策 (9)
 - ・自社施設への設備投資 (1)となっている。

考察5

観光産業を主体とする地域にとっては閑散期の集客はどこも課題となっており、閑散期に於ける集客策は事業者単体で解決できる問題ではなく、地域全体として取り組む必要性がある。より大きな地域としてのまとまりにより成功している事例もあるので、渡嘉敷島を含む慶良間諸島の島々との連携による閑散期集客を考えていくことが重要であると思われる。

地域での取り組みによる集客の成功事例

体験×パッケージによる旅行需要喚起 ～金沢の事例～

課題

金沢への観光客誘致、集客アップ
「金沢旅物語」

施策

- ・季節ならではのツアー体験
- ・年齢層問わず興味を引くようなキャッチーなツアーを実施
- ・体験クーポンで利用のお得感を訴求

成果

- ・観光客のリピーター率58%

※北陸新幹線の開通により観光客の誘致がしやすくなった金沢でも
年間を通して様々な体験メニューやプランを提供することでリピーター率アップへ



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート WEBアンケート

調査結果サマリーまとめ ④ 離島への集客事例

離島による集客及びPR施策事例

島を丸ごとブランディング ～佐渡の事例～

課題

佐渡への安定的な集客
佐渡の文化、歴史、その風土から生まれた先人の知恵や地域の声を活かし、佐渡全体を観光地として経営する

施策

- ・島内および島外へのファン創り
- ・佐渡の地域のブランディング

長期滞在型観光に向けて

■これまで佐渡は単品商売だった
⇒ゆっくり地域を回る5日は滞在される長期滞在型リゾートへ



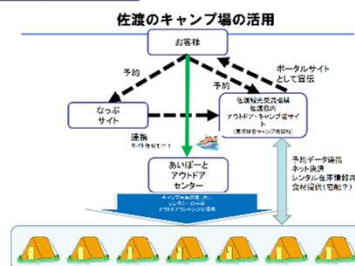
上記施策の他に佐渡観光交流機構では
佐渡の楽しみ方や様々な企画を提供している

また島でのネット環境も充実させており、
無料WiFiの提供サービスも実施

佐渡の地域全体としての推進

佐渡では事業者を取りまとめる観光局が主体となって様々な集客施策を行い、Webでの発信をしている。
また地域経済活性化を含めた観光事業を佐渡全体としての取組として連携
そのため、地域としてのインフラ整備までを計画

⇒自治体や社団法人などの母体となり、事業者を取りまとめ推進することで、安定的な集客のための様々な施策を実施継続していくことが観光産業が主な収入源となる地域にとっては、重要であることがうかがえる。



その他/お寺を活用した取り組み

- 自然に溶け込むお寺を活用した取り組み。お寺の歴史や文化を観光資源として活用し、観光客の滞在時間を延ばす。
- 観光バスやレンタカーなどを利用してお寺を訪れる観光客の増加を図る。



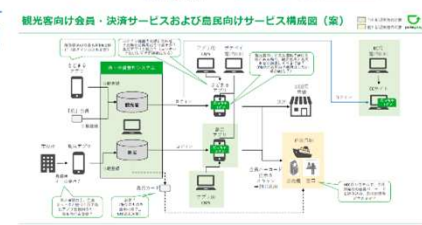
3社の役割と提供価値		
民間企業	行政機関	NPO等
民間企業	行政機関	NPO等
民間企業	行政機関	NPO等
民間企業	行政機関	NPO等

地域と話し合いながら、必要なことを行ってまいります

- 観光に必要となる様々な施設や設備を整備し、観光客の滞在時間を延ばす。
- 観光バスやレンタカーなどを利用してお寺を訪れる観光客の増加を図る。



ICTの活用とCRM



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果 サマリー 概要

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ①

新型コロナ感染流行まえの旅行頻度は、2～3ヶ月に1回程度以上が半数を占める。半年に1回以上では、8割～9割となる。

新型コロナ感染症流行以前の旅行頻度は高く、どの世代も半年に1回以上旅行に行っている割合は、8～9割となっている。
2～3ヶ月に1回以上は、2人に1人の割合。

・特に60代以上は「2～3ヶ月に1回程度」の割合が他の世代よりも高い。（詳細はP18グラフ参照）

5割以上（44.5%以上で四捨五入）
6割以上（54.5%以上で四捨五入）
8割以上（74.5%以上で四捨五入）
9割以上（84.5%以上で四捨五入）

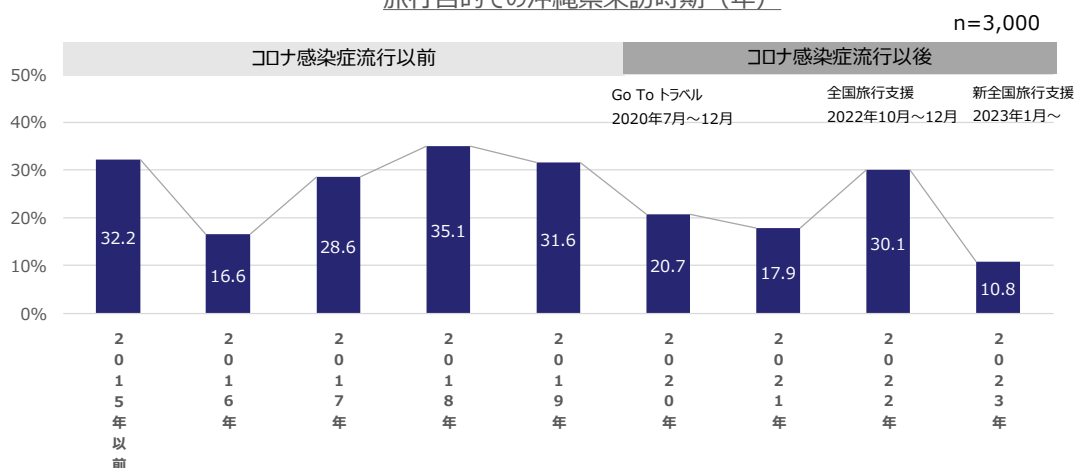
		「1ヶ月に1回以上」+「2～3ヶ月に1回程度」の割合		「1ヶ月に1回以上」+「2～3ヶ月に1回程度」+「半年に1回程度」の割合	
		n=	2～3ヶ月に1回以上	半年に1回以上	
全体		3000	49.9	83.7	
性別	男性	1500	52.9	85.3	
	女性	1500	47.0	82.1	
年代別	20代以下	600	51.3	82.8	
	30代	600	51.2	82.5	
	40代	600	46.3	81.0	
	50代	600	47.3	82.0	
	60代以上	600	53.5	90.2	
		0			
性別・年代別	男性：20代以下	300	55.3	85.7	
	男性：30代	300	54.0	85.3	
	男性：40代	300	49.7	83.7	
	男性：50代	300	49.7	79.7	
	男性：60代以上	300	55.7	92.0	
	女性：20代以下	300	47.3	80.0	
	女性：30代	300	48.3	79.7	
	女性：40代	300	43.0	78.3	
	女性：50代	300	45.0	84.3	
	女性：60代以上	300	51.3	88.3	

旅行目的の沖縄旅行は、新型コロナ感染流行以前では2016年の減少以外ほぼ30%前後を維持しており、新型コロナ感染流行後の2020年は20%、2021年は18%まで減少。2022年には再び30%台を回復している。

コロナ感染症流行により、全体的に2020年の沖縄来訪が10%程度減少し、2021年は更に減少となっている。2020年の最も沖縄来訪が多かった層は男性：40代と男性：30代で全体数値よりも5.0ポイント以上高く、2021年では男性：20代以下が全体数値よりも5.0ポイント高くなっておりコロナ渦においても沖縄に行っている率が比較的高い層と思われる。

2022年は男性：20代以下、30代、40代と女性：20代以下、30代が30%越えとなっている。
（詳細はP19グラフ参照）

旅行目的での沖縄県来訪時期（年）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ②

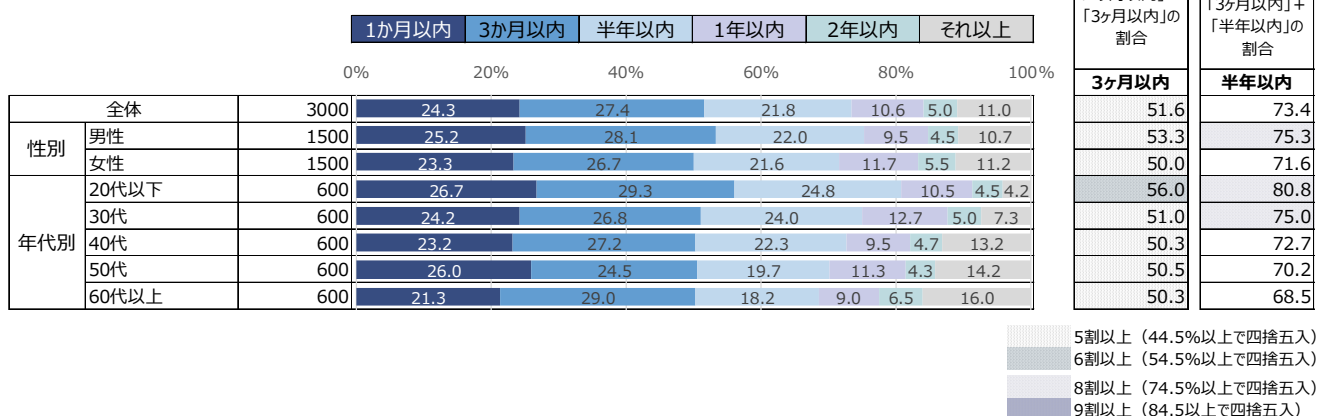
■直近の旅行時期

約7～8割が直近半年以内に宿泊を伴う旅行をしている。
20代以下、30代と年代が若いほど直近の旅行割合は高い。

全体では51.6%と約5割強が3ヶ月以内に旅行をしており、20代以下では56.0%、半年以内になると80.8%が宿泊を伴う旅行をしている。直近半年以内の旅行の割合が高いのはコロナ禍での自粛からの解放と全国旅行支援の影響が大きいものと推察される。

※若い世代の直近での旅行が年配者より若干多くなっているのは、若い世代のコロナ感染での軽症率
が高いことが影響しているものと推察される。

Q1 あなたが直近旅行した時期をお答えください。（宿泊を伴う旅行のみお答えください。）（お答えは1つ）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ③

■ 渡嘉敷村の認知と来訪経験について

約7～8割が渡嘉敷村を認知。来訪経験者は3～4割

認知率が高いが、来訪については、全体の3割にとどまる。認知者のうちの来訪率も約4割程度となっている。これは前年同様の傾向である。

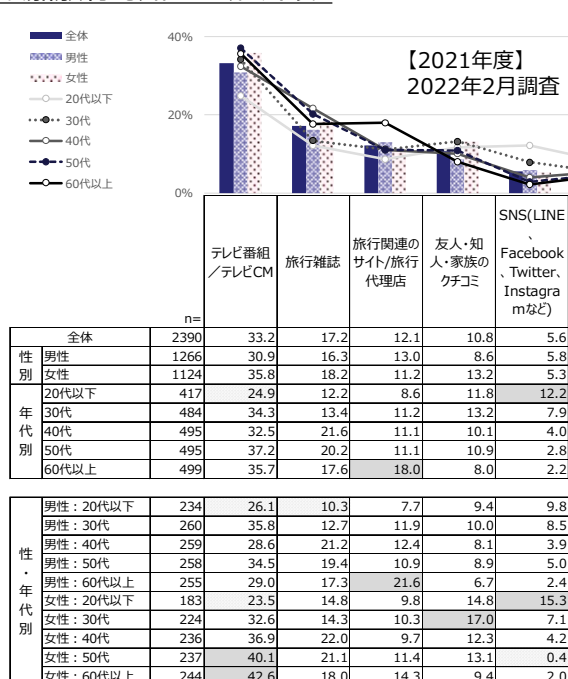
来訪経験者、認知者の訪問比率

【2021年度】 2022年2月調査				【2022年度】 2023年2月調査			
		全体	来訪経験者	認知者	来訪経験者	認知者	対認知者の来訪比率
全体		3000	30.8	79.7	30.4	79.0	38.5%
性別	男性	1500	38.3	84.4	35.9	83.8	42.9%
	女性	1500	23.3	74.9	24.9	74.3	33.5%
年代別	20代以下	600	34.0	69.5	34.3	69.5	49.4%
	30代	600	38.8	80.7	38.7	80.3	48.1%
	40代	600	33.7	82.5	32.2	80.5	40.0%
	50代	600	26.8	82.5	25.8	80.3	32.2%
	60代以上	600	20.5	83.2	21.0	84.5	24.9%
性・年代別	男性：20代以下	300	43.3	78.0	42.3	77.0	55.0%
	男性：30代	300	50.0	86.7	47.0	87.7	53.6%
	男性：40代	300	41.3	86.3	39.3	84.3	46.6%
	男性：50代	300	31.3	86.0	27.0	87.0	31.0%
	男性：60代以上	300	25.3	85.0	24.0	83.0	28.9%
	女性：20代以下	300	24.7	61.0	26.3	62.0	42.5%
	女性：30代	300	27.7	74.7	30.3	73.0	41.6%
	女性：40代	300	26.0	78.7	25.0	76.7	32.6%
	女性：50代	300	22.3	79.0	24.7	73.7	33.5%
	女性：60代以上	300	15.7	81.3	18.0	86.0	20.9%

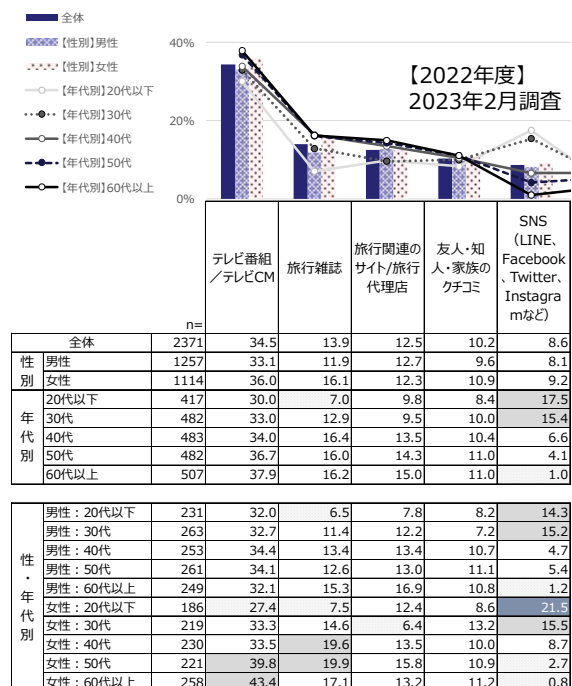
認知のきっかけはテレビ番組・CMが最も多い

前年同様に認知のきっかけは、テレビ番組/テレビCMが最も高い。
20代以下及び30代がSNSからの認知率が高くなっており、前年比もアップしている。

渡嘉敷村認知のきっかけトップ



Q3 あなたが渡嘉敷村を知ったきっかけをお答えください。（お答えは1つ）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ④

■ 渡嘉敷村の来訪時期について

渡嘉敷村の来訪者の来訪時期は連休がとれる「8月」、「7月」、「5月」が最も多い。

渡嘉敷村の来訪シーズン（月別）では、やはり、トップシーズンとなる、ゴールデンウィーク、海の日、山の日がらみの連休、夏休み、お盆休み等の連休が取りやす時期となっている。

・来訪時期は月ごとの来訪率で見ると、性・年代別での差が見られる。（詳細はP23グラフ参照）

繁忙期と閑散期の来訪者数や稼働率の差への対応策を実施または検討している、事業者は約半数となっており、年間通した観光客誘致のために、島全体での取組みの必要性が指摘されている。
⇒島内事業者の連携、デジタル対応、慶良間諸島一体とした取組みなど

来訪経験者の渡嘉敷村来訪月毎のTOP3【性・年代別】

	訪問が多い年代1位	%	訪問が多い年代2位	%	訪問が多い年代3位	%
1月	女性：20代以下	27.8	男性：30代	27.7	女性：30代	23.1
2月	女性：30代	20.9	女性：60代以上	20.4	男性：40代	16.1
3月	男性：20代以下	26.0	女性：60代以上	25.9	女性：30代	24.2
4月	男性：40代	21.2	女性：30代	20.9	男性：20代以下	17.3
5月	男性：40代	25.4	男性：20代以下	23.6	女性：30代	20.9
6月	男性：40代	22.0	女性：30代	17.6	男性：20代以下	17.3
7月	男性：30代	31.9	女性：30代	29.7	男性：40代	29.7
8月	男性：50代	35.8	女性：40代	28.0	男性：30代	27.7
9月	男性：50代	23.5	女性：60代以上	20.4	女性：30代	19.8
10月	女性：30代	26.4	男性：60代以上	23.6	女性：50代	21.6
11月	女性：30代	22.0	女性：50代	13.5	女性：60代以上	13.0
12月	女性：30代	18.7	女性：60代以上	14.8	男性：40代	10.2

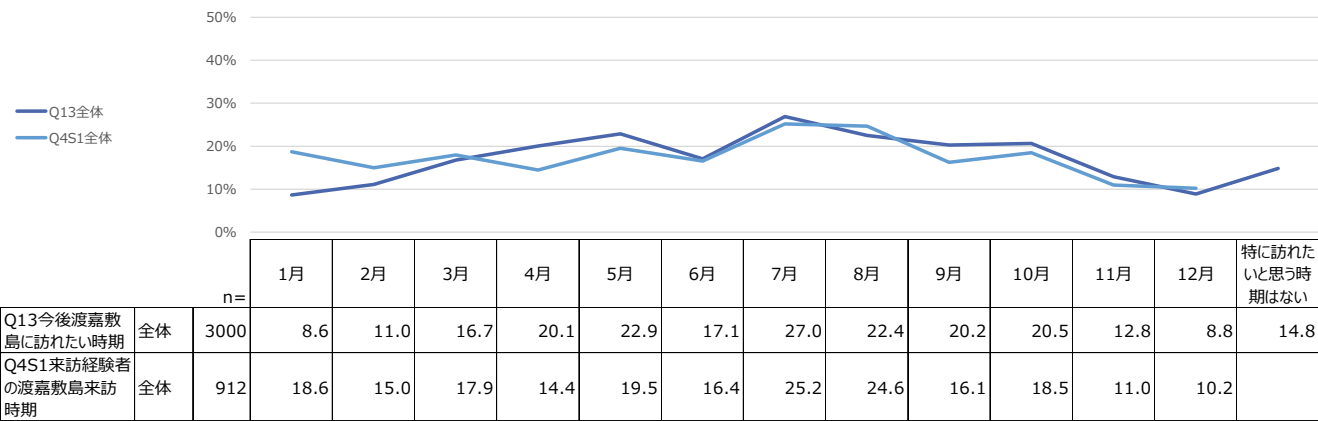
25%越えている年代

■ 渡嘉敷村への来訪について

今後、渡嘉敷村を訪れたい時期については、比較的長い連休がある5月、7月、8月が多くなっている。

渡嘉敷村の来訪シーズン（月別）では、やはり、トップシーズンとなるゴールデンウィーク、海の日、山の日がらみの連休、夏休み、お盆休み等の連休が取りやすい時期となっている。来訪経験者の渡嘉敷村来訪月とほぼ同様の傾向となっている。（詳細はP33グラフ参照）

今後渡嘉敷島を訪れたい時期と渡嘉敷島来訪経験者の来訪時期の比較



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑤

■ 渡嘉敷村の魅力について

TOP3Boxスコアでは、9割以上が渡嘉敷村に魅力を感じている。

TOP3Boxスコアでは、女性（95.2%）より男性（93.1%）が僅かであるが2.1ポイント高く、年代別でみると、60代以上のみ82.5%と8割強となっているが、それ以外の年代はすべて90%を超えている。（詳細はP25グラフ参照）

※本年度調査では来訪者のみへ魅力度を聞いており昨年度、一昨年度とは調査内容が異なる

※2021年3月調査、2022年2月調査では、
来訪未経験の渡嘉敷村認知者も対象

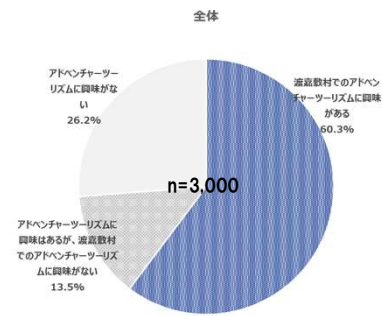
					【2022年度】 2023年2月調査	【2021年度】 2022年2月調査	【2020年度】 2021年3月調査
		n=	とても魅力に 感じる	魅力に感 じる	やや魅力に 感じる	TOP3Box n=	TOP3Box n=
全体		912	42.7	37.7	13.6	94.0	77.2
性別	男性	539	42.1	38.2	12.8	93.1	80.8
	女性	373	43.4	37.0	14.7	95.2	73.2
年代別	20代以下	206	41.7	38.8	16.0	96.6	84.7
	30代	232	51.7	32.3	10.8	94.8	84.7
	40代	193	48.7	32.1	13.0	93.8	77.2
	50代	155	40.0	45.8	12.9	98.7	71.9
	60代以上	126	21.4	44.4	16.7	82.5	69.1
							73.7
							76.5
							70.4
							85.1
							78.0
							74.2
							70.8
							62.4

渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムには6割以上が興味あり。

男女別では、男性61.7%、女性58.8%全体と同様傾向で大きな差はない。
前年比で比較しても大きな増減がなく「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」のは全体の約6割となっている。
60代以上は、53.3%と若干低めの傾向となっている。（詳細はP26グラフ参照）

渡嘉敷村でのATに対する興味あり

【2022年度】 2023年2月調査 【2021年度】 2022年2月調査 【2020年度】 2021年3月調査



			%	n=	%	n=	%
全体		3000	60.3	3,000	59.7	3,000	62.6
性別	男性	1500	61.7	1,500	61.2	1,500	63.7
	女性	1500	58.8	1,500	58.3	1,500	61.6
年代別	20代以下	600	58.0	600	60.5	600	61.7
	30代	600	64.2	600	67.2	600	68.0
	40代	600	62.0	600	61.8	600	64.8
	50代	600	63.8	600	58.5	600	62.3
	60代以上	600	53.3	600	50.7	600	56.3

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑥

■ 渡嘉敷村の魅力について

渡嘉敷村で体験したいのは「海上ポートからのホエールウォッチング」、「ナイトツアー」、「陸からのホエールウォッチング」が上位を占める。

全体では、「海上ポートからのホエールウォッチング」35.8%が最も高く、次いで「ナイトツアー（生き物・夜景・星空）」30.6%、「陸からのホエールウォッチング」26.8%となっており、この3項目は、性別、年代別、性・年代別においても、体験したいアクティビティの上位を獲得。60代以上では男性、女性ともに3位に自然観察がランクイン。（詳細はP27グラフ参照）

渡嘉敷村で体験したいアクティビティ上位3コンテンツ（3つ選択）							
n=		1位		2位		3位	
全体	3000	海上ポートからのホエールウォッチング	35.8	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	30.6	陸からのホエールウォッチング	26.8
男性	1500	海上ポートからのホエールウォッチング	35.2	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	27.7	陸からのホエールウォッチング	26.1
女性	1500	海上ポートからのホエールウォッチング	36.5	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	33.6	陸からのホエールウォッチング	27.5
20代以下	600	海上ポートからのホエールウォッチング	29.2	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	26.0	陸からのホエールウォッチング	23.7
30代	600	海上ポートからのホエールウォッチング	32.0	陸からのホエールウォッチング	31.3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	30.2
40代	600	海上ポートからのホエールウォッチング	32.0	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	31.8	陸からのホエールウォッチング	25.8
50代	600	海上ポートからのホエールウォッチング	40.7	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	32.0	陸からのホエールウォッチング	28.3
60代以上	600	海上ポートからのホエールウォッチング	45.3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	33.2	自然観察	29.2
男性：20代以下	300	海上ポートからのホエールウォッチング	28.0	陸からのホエールウォッチング	26.0	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	24.3
男性：30代	300	海上ポートからのホエールウォッチング	31.7	陸からのホエールウォッチング	30.3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	26.3
男性：40代	300	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	32.0	海上ポートからのホエールウォッチング	30.3	陸からのホエールウォッチング	27.7
男性：50代	300	海上ポートからのホエールウォッチング	39.0	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	28.0	陸からのホエールウォッチング	25.7
男性：60代以上	300	海上ポートからのホエールウォッチング	47.0	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	27.7	自然観察	27.0
女性：20代以下	300	海上ポートからのホエールウォッチング	30.3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	27.7	陸からのホエールウォッチング	21.3
女性：30代	300	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	34.0	海上ポートからのホエールウォッチング	32.3	海上ポートからのホエールウォッチング	32.3
女性：40代	300	海上ポートからのホエールウォッチング	33.7	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	31.7	シュノーケル体験	24.3
女性：50代	300	海上ポートからのホエールウォッチング	42.3	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	36.0	陸からのホエールウォッチング	31.0
女性：60代以上	300	海上ポートからのホエールウォッチング	43.7	ナイトツアー（生き物・夜景・星空）	38.7	自然観察	31.3
5割以上（44.5%以上で四捨五入）							
4割以上（34.5%以上で四捨五入）							

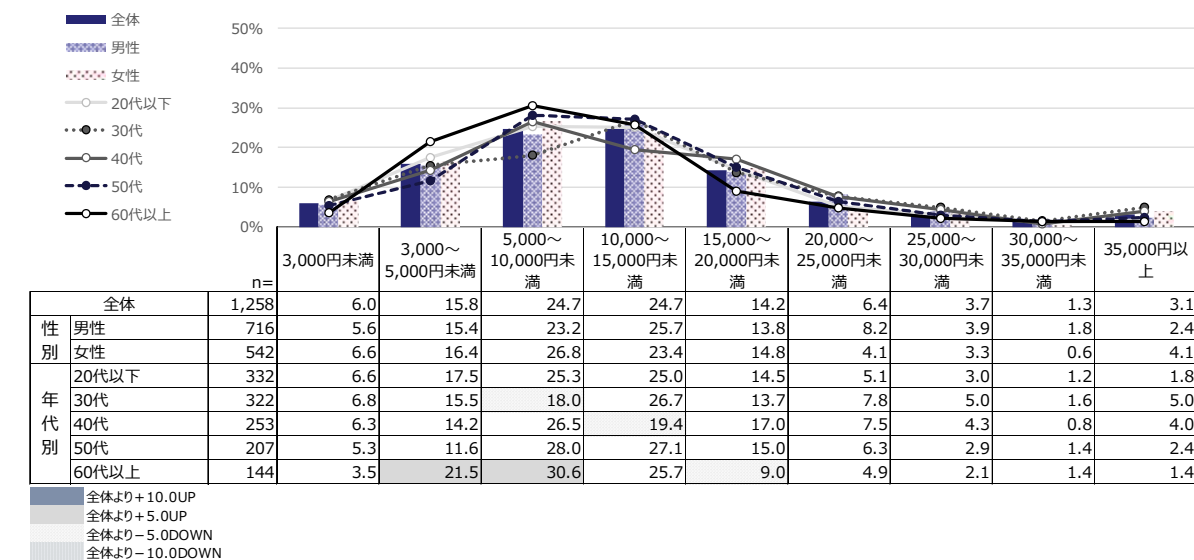
アドベンチャーツーリズム経験者の体験金額ボリュームゾーンは、5,000円～15,000円。

アドベンチャーツーリズム経験者の体験金額は最も多いのは「5,000円～10,000円未満」で、次いで「10,000円以上～15,000円未満」となっている。

但し、年代別では40代で若干高めの傾向が見られる。（詳細はP31グラフ参照）

Q9 あなたがアドベンチャーツーリズム（AT）を経験した際の、1人あたりの平均予算金額はどのぐらいでしたか。（お答えは1つ）

※アドベンチャーツーリズムの1コンテンツあたりの体験料金



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑦

■アドベンチャーツーリズムの経験について

アドベンチャーツーリズム経験有りは全体の約4割強。

AT経験者の経験場所は圧倒的に沖縄県。

アドベンチャーツーリズム経験者有りは全体で41.9%で、沖縄県の本島と沖縄県の離島での経験が41.1%で殆どが沖縄県での体験となっている。

年代別では20代以下及び30代は沖縄県での経験が50%越えとなっている。（詳細はP29グラフ参照）

		【2022年度】 2023年2月調査		【2021年度】 2022年2月調査		【2020年度】 2021年3月調査	
n=		沖縄県で経験有り（本島+離島）		n=		n=	
全体		3000	41.1	3,000	37.7	3,000	42.5
性別	男性	1500	47.3	1,500	45.8	1,500	48.9
	女性	1500	34.9	1,500	29.6	1,500	36.0
年代別	20代以下	600	52.8	600	46.7	600	60.3
	30代	600	56.5	600	52.8	600	55.8
	40代	600	43.2	600	41.8	600	44.0
	50代	600	33.2	600	25.8	600	31.2
	60代以上	600	20.0	600	21.3	600	21.0
性別・年代別	男性：20代以下	300	63.3	300	59.3	300	73.3
	男性：30代	300	66.3	300	64.3	300	68.7
	男性：40代	300	51.3	300	53.3	300	47.0
	男性：50代	300	37.3	300	30.3	300	34.0
	男性：60代以上	300	18.3	300	21.7	300	21.7
	女性：20代以下	300	42.3	300	34.0	300	47.3
	女性：30代	300	46.7	300	41.3	300	43.0
	女性：40代	300	35.0	300	30.3	300	41.0
	女性：50代	300	29.0	300	21.3	300	28.3
	女性：60代以上	300	21.7	300	21.0	300	20.3

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

アドベンチャーツーリズム経験コンテンツは、「海でのアクティビティ」がトップ。

アドベンチャーツーリズム経験者の上位3コンテンツは、「海でのアクティビティ」、「山でのアクティビティ」、「川でのアクティビティ」が主となっており、一部2位以下で「森のアクティビティ」がランクイン

⇒自然との触れ合いを基本としたアクティビティ受容ニーズがあるものとうかがえる。
（詳細はP30グラフ参照）

経験したことのあるアクティビティ上位3コンテンツ

n=	1位	2位	3位
全体	1258 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	59.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	41.7 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
男性	716 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	59.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	45.7 森でのアクティビティ（生物観察など）
女性	542 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	59.0 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	36.5 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
20代以下	332 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	53.9 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	43.4 森でのアクティビティ（生物観察など）
30代	322 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	67.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	43.8 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
40代	253 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	55.7 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	45.5 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
50代	207 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	59.9 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	39.6 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
60代以上	144 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	57.6 森でのアクティビティ（生物観察など）	34.7 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
男性：20代以下	189 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	54.5 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	50.3 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
男性：30代	190 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	67.4 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	44.7 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
男性：40代	144 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	55.6 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	50.0 森でのアクティビティ（生物観察など）
男性：50代	121 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	56.2 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	42.1 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
男性：60代以上	72 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	61.1 森でのアクティビティ（生物観察など）	36.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）
女性：20代以下	143 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	53.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	34.3 森でのアクティビティ（生物観察など）
女性：30代	132 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	66.7 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	42.4 森でのアクティビティ（生物観察など）
女性：40代	109 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	56.0 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	39.4 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
女性：50代	86 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	65.1 山でのアクティビティ（トレッキング・登山など）	36.0 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）
女性：60代以上	72 海でのアクティビティ（ダイビング・シュノーケリングなど）	54.2 川でのアクティビティ（ラフティング・カヤックなど）	34.7 森でのアクティビティ（生物観察など）

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑧

コロナ禍での渡嘉敷村を訪れる際の不安項目は「現地の人から歓迎されるか」、「村までの交通手段が減便され予約ができないこと」、「コロナ禍でも観光できるのか」が上位3位項目。

不安に感じることは「現地の人から歓迎されないのでは?」、「交通手段が減便され予約できないこと」、「観光ができるかどうか?」という旅行自体の楽しみが確保されるのかという不安が上位に挙げられており、本当に旅行を楽しく遂行できる環境下であるのかどうか不安要素となっている。
また前年と比較すると「交通手段の減便」以外は全ての項目で減少傾向となっており、以前ほどのコロナ禍で感じるような旅行に対する不安は払拭されつつあるものと推察される。
(詳細はP34グラフ参照)

コロナ禍での渡嘉敷村来訪の不安要素

Q14 あなたがコロナ禍において渡嘉敷村を訪れたいと考える際、不安に感じることをすべてお選びください。(お答えはいくつでも)

		現地の人から歓迎されるのか	村までの交通手段（飛行機や船など）が減便され予約ができないこと	コロナ禍でも観光できるのか	渡嘉敷村の医療体制	渡嘉敷村の感染症対策が十分か	村内での移動手段が密ではないか	自分や同行者が渡嘉敷村で感染原因になってしまう可能性	その他	特に不安に感じていることはない	
n=											
【2022年度】2023年2月調査	全体	2,557	34.7	32.0	30.4	26.0	24.1	19.9	13.9	0.5	20.9
【2021年度】2022年2月調査	全体	2,506	44.5	28.0	49.1	32.8	35.2	20.8	24.4	0.6	13.9
	前年比		-9.8	4.0	-18.7	-6.8	-11.1	-0.9	-10.5	-0.2	7.0

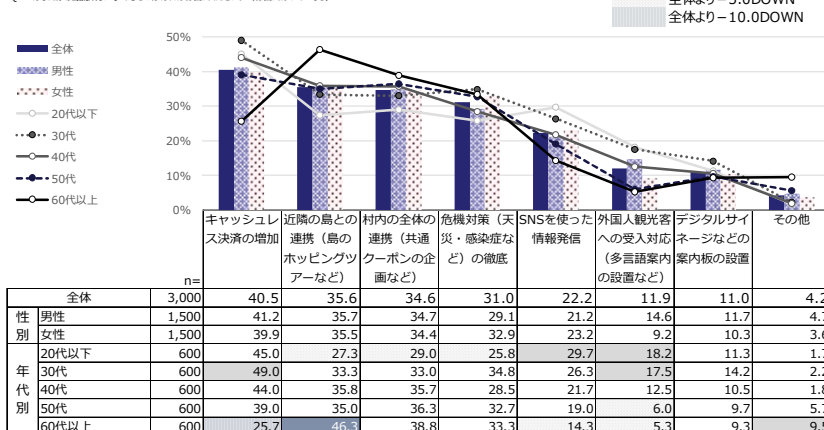
■来訪にあたって渡嘉敷村に求めたいこと

「キャッシュレス決済の増加」が最も高く、次いで「近隣の島との連携」、「村内の全体の連携」、「危機対策の徹底」、「SNSを使った情報発信」が要望上位5項目となっている。

全体では、「キャッシュレス決済」40.5%が最も高く、次いで「近隣の島との連携」35.6%、「村内の全体の連携」34.6%、と続く。特に「キャッシュレス決済」では30代、20代、40代の要望が高い。
(詳細はP32グラフ参照)

渡嘉敷村に求めたいこと

Q12 あなたが渡嘉敷村に求めるものがあればお答えください。(お答えはいくつでも)



事業者調査より、年間通した観光客誘致のために、島全体での取り組みの必要性が指摘されている。

⇒島内事業者の連携、デジタル対応、慶良間諸島一体とした取り組みなど

観光客ニーズと事業者が必要を感じている取り組みが一致しており、早急な対策を図ることが観光客の集客増へ繋がるものと推察される。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果 サマリー 詳細

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

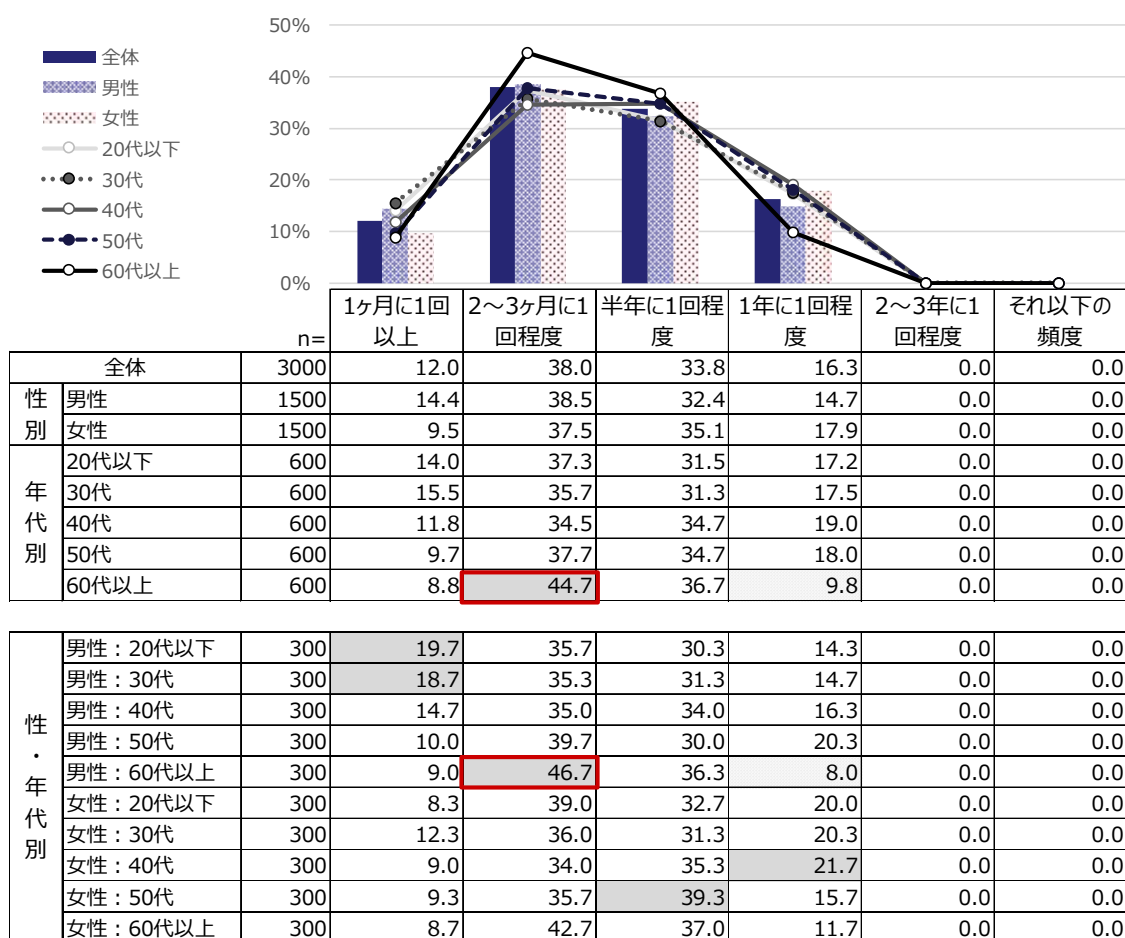
旅行頻度について(新型コロナウイルス感染症流行以前)

■新型コロナウイルス感染症流行以前の旅行頻度

- ・全体では、「2～3ヶ月に1回程度」が38.0%と最も高く、次いで、「半年に1回程度」が33.8%「1年に1回程度」16.3%となっている。
- ・性別では、男性、女性ともに「2～3ヶ月に1回程度」が最も高く男性が38.5%、女性は37.5%となっている。
- ・年代別では、20代以下、30代、50代、60代で「2～3ヶ月に1回程度」が最も高くなっており、40代は「半年に1回程度」が最も高くなっている。
- ・「2～3ヶ月に1回程度」で60代以上44.7%が全体(38.0%)よりも、5.0ポイント以上高くなっており、性・年代別でも男性:60代以上46.7%と最も高くなっている。

➡ **コロナ感染症流行以前は「2～3ヶ月に1回程度」の割合が約4割
「半年に1回程度」の割合が3割強の旅行頻度**

SC1 新型コロナウイルス感染症が流行する以前（2019年12月以前）で、あなたが旅行をしていた頻度を教えてください。（お答えは1つ）



全体より+10.0UP
 全体より+5.0UP
 全体より-5.0DOWN
 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

・全体では、「2018年」が35.1%と最も高く、次いで「2015年以前」32.2%、「2019年」31.6%となっている。

またコロナ感染症流行後の2020年、2021年では沖縄の旅行目的での来訪が落ち込みを見せたが、「2022年」は30.1%と30%台へ回復している。

・「2022年」で、年代別で最も高くなっているのは30代で33.8%次いで20代以下で32.5%、また性年代別の男性：30代34.7%、20代以下及び40代32.3%、女性：30代33.0%、20代以下32.7となっている。

➡ **コロナ感染症流行から2年経過した2022年は、20代以下～30代の比較的若い世代の沖縄旅行がコロナ感染症流行以前よりも増加**

SC2 あなたはこれまでに沖縄県へ旅行目的で訪れたことがありますか。訪れたことがある時期としてあてはまるものをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）



全体より+10.0UP
 全体より+5.0UP
 全体より-5.0DOWN
 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

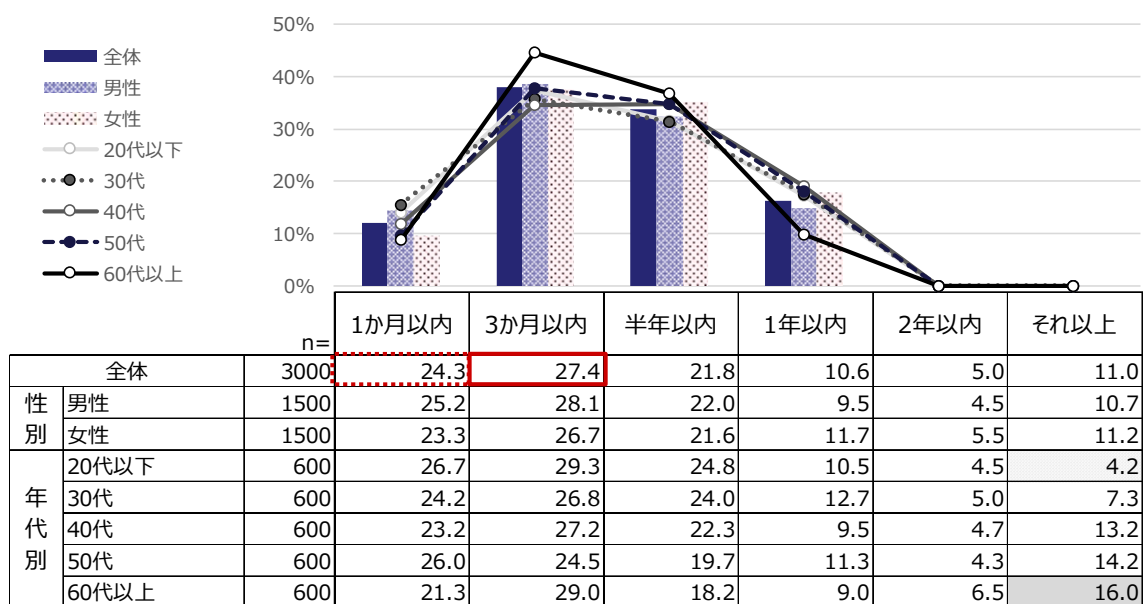
直近の旅行時期について（宿泊を伴う旅行のみ）

■直近の旅行時期について

- ・全体では、「3ヶ月以内」が27.4%と最も高く、次いで、「1ヶ月以内」が24.3%となっている。
- ・性別では、男性、女性ともに「3ヶ月以内」が最も高く男性が28.1%、女性は26.7%となっている。
- ・年代別では、20代以下、30代、40代、60代以上で「3ヶ月以内」が最も高くなっており、50代は「1ヶ月以内」が最も高くなっている。

➡ **直近の旅行時期は1ヶ月以内～3ヶ月以内が5割以上となっており
全国旅行支援の影響があったものと推察される
※全国旅行支援2022年10月～**

Q1 あなたが直近旅行した時期をお答えください。（宿泊を伴う旅行のみお答えください。）（お答えは1つ）



性別・年代別	男性：20代以下	300	26.3	30.3	24.7	9.7	4.3	4.7
	男性：30代	300	25.3	26.7	25.3	11.3	4.7	6.7
	男性：40代	300	25.0	27.7	24.0	7.7	4.3	11.3
	男性：50代	300	28.3	24.7	18.0	10.0	4.3	14.7
	男性：60代以上	300	21.0	31.0	18.0	8.7	5.0	16.3
	女性：20代以下	300	27.0	28.3	25.0	11.3	4.7	3.7
	女性：30代	300	23.0	27.0	22.7	14.0	5.3	8.0
	女性：40代	300	21.3	26.7	20.7	11.3	5.0	15.0
	女性：50代	300	23.7	24.3	21.3	12.7	4.3	13.7
	女性：60代以上	300	21.7	27.0	18.3	9.3	8.0	15.7

全体より+10.0UP
 全体より+5.0UP
 全体より-5.0DOWN
 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

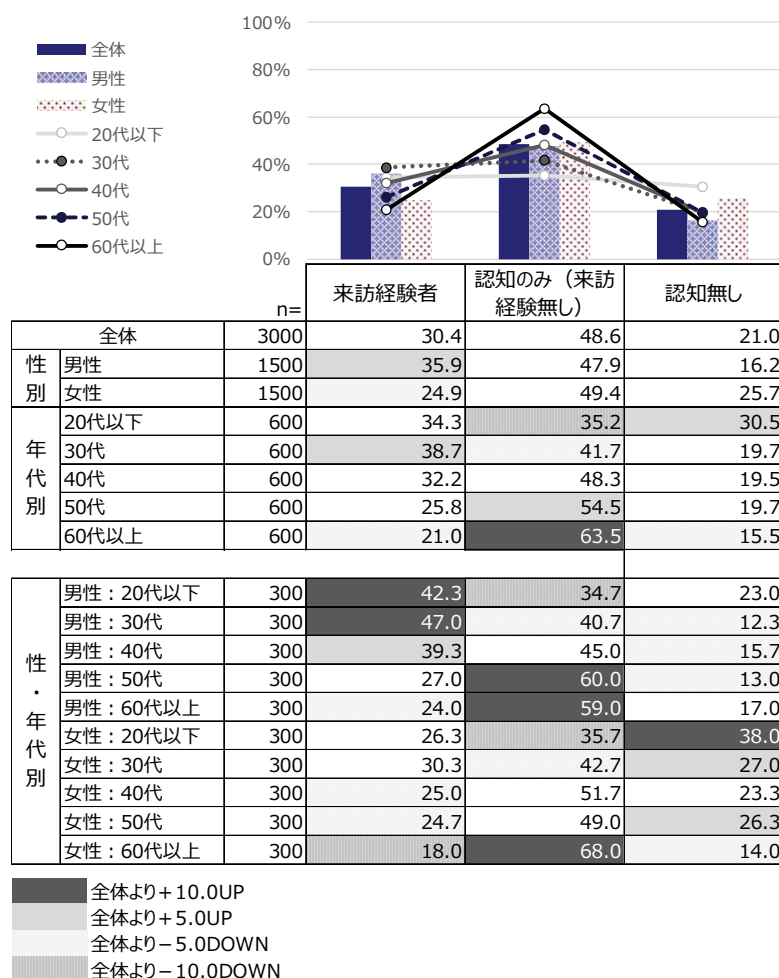
①WEB調査、事業者・村民アンケート

■ 渡嘉敷村の認知と来訪経験

- ・全体では、「認知者（来訪経験者+認知のみ）」が79.0%、「来訪経験者」は30.4%となっており、認知者の約40%が来訪している。
対前年比での差は殆どない。
- ・性別では、「認知者（来訪経験者+認知のみ）」で男性が83.8%と女性74.3%、「来訪経験者」で男性が35.9%と女性24.9%で女性よりも男性が高くなっている。
- ・年代別では、「認知者」で60代以上が84.5%と最も高く、「来訪経験者」では30代38.7%が最も高くなっている。
- ・性・年代別では、「認知者」は男性は30代～60代以上が80%以上となっており、女性は20代以下62.0%以外は、約80%以上となっている。
「来訪経験者」では、男性：20代以下～40代が高くなっている。

➡ **渡嘉敷村の認知は約8割と高く、認知者の来訪比率は男性の20代以下～30代が5割以上と高くなっており、対前年比ではほぼ同様の傾向**

Q2 あなたは沖縄県の「渡嘉敷村」を知っていますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）



【2022年度】 2023年2月調査		【2021年度】 2022年2月調査	
認知者	対認知者の 来訪比率	認知者	対認知者の 来訪比率
79.0	38.5%	79.7	38.6%
83.8	42.9%	84.4	45.3%
74.3	33.5%	74.9	31.0%
69.5	49.4%	69.5	48.9%
80.3	48.1%	80.7	48.1%
80.5	40.0%	82.5	40.8%
80.3	32.2%	82.5	32.5%
84.5	24.9%	83.2	24.6%
77.0	55.0%	78.0	55.6%
87.7	53.6%	86.7	57.7%
84.3	46.6%	86.3	47.9%
87.0	31.0%	86.0	36.4%
83.0	28.9%	85.0	29.8%
62.0	42.5%	61.0	40.4%
73.0	41.6%	74.7	37.1%
76.7	32.6%	78.7	33.1%
73.7	33.5%	79.0	28.3%
86.0	20.9%	81.3	19.3%

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

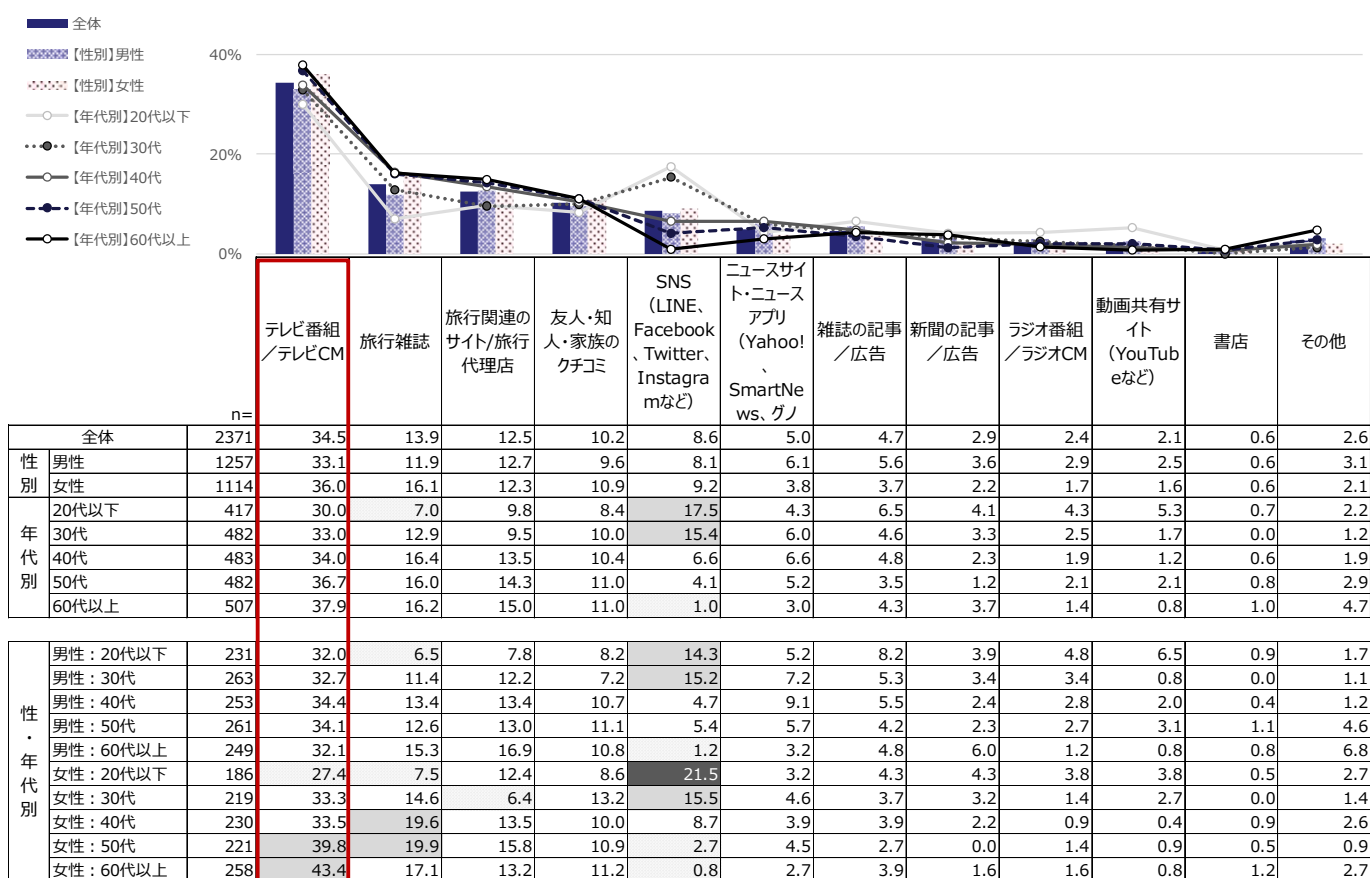
■ 渡嘉敷村の認知経路（渡嘉敷村認知者）

■ 渡嘉敷村の認知経路

- ・全体では、「テレビ番組/テレビCM」が34.5%、次いで「旅行雑誌」13.9%、「旅行関連のサイト/旅行代理店」12.5%と続く。
 - ・性別では、男性は「テレビ番組/テレビCM」が33.1%、次いで「旅行関連のサイト/旅行代理店」12.7%、「旅行雑誌」11.9%と続く。女性は「テレビ番組/テレビCM」が36.0%、次いで「旅行雑誌」16.1%「旅行関連のサイト/旅行代理店」12.3%と続く。
 - ・年代別では、20代以下及び30代で「SNS」が他の年代よりも高くなっており20代以下で17.5%、30代で15.4%で「テレビ番組/テレビCM」に次いで多くなっている。
- 渡嘉敷村の認知の切っ掛けは、「TV番組/TV CM」はトップであるがそれ以外は年代的な差異がみられる。

⇒ **渡嘉敷村の認知のきっかけは「テレビ番組/テレビCM」が最も多く、若年世代の20代以下及び30代は「SNS」が次いで高い**

Q3 あなたが渡嘉敷村を知ったきっかけをお答えください。（お答えは1つ）



全体より+10.0UP
 全体より+5.0UP
 全体より-5.0DOWN
 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

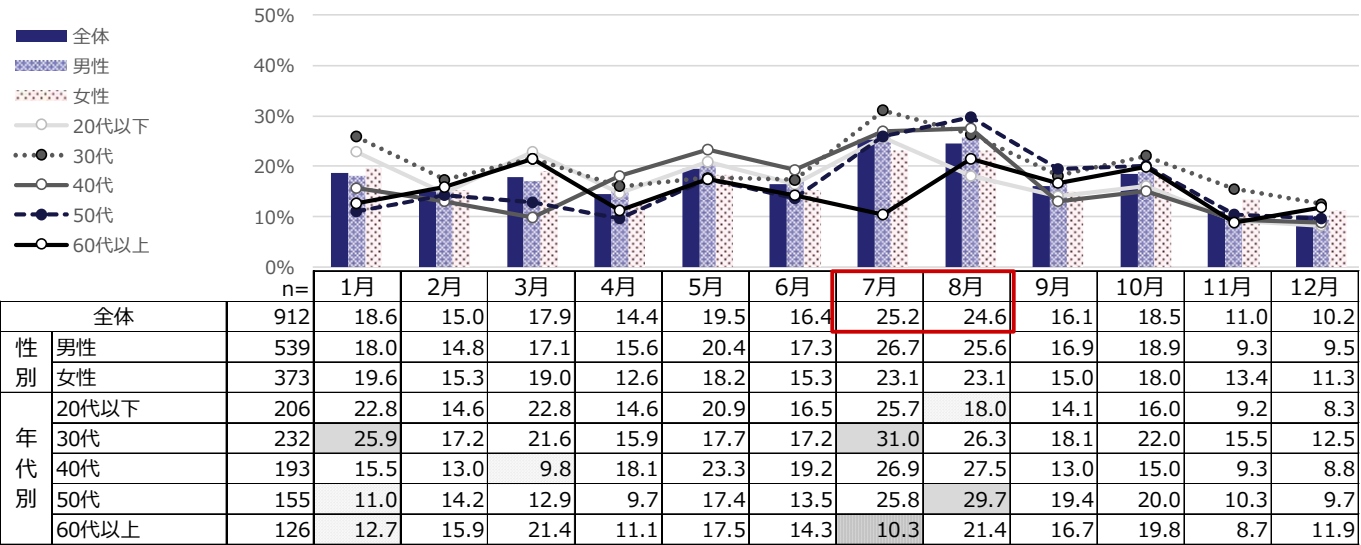
■ 渡嘉敷村の来訪時期（来訪経験者）

■ 渡嘉敷村の来訪時期

- ・全体では、「7月」が25.2%、次いで「8月」24.6%、「5月」19.5%と続く。
- ・性別では、男性は「7月」26.7%、次いで「8月」25.6%、「5月」20.4%と続く。
女性は「7月」と「8月」が23.1%、次いで「1月」19.6%、「3月」19.0%と続く。
- ・年代別では、20代以下は「7月」25.7%、「1月」と「3月」22.8%、「5月」20.9%、30代は「7月」31.0%、「8月」26.3%、「1月」25.9%、40代は「8月」27.5%、「7月」26.9%、「5月」23.3%、50代は「8月」29.7%、「7月」25.8%、「10月」20.0%、60代以上は「8月」と「3月」21.4%、「10月」19.8%、「5月」17.5% となっている。

➡ 渡嘉敷村の来訪時期については、年代別で多少の差があるものの、基本は7月、8月の夏休み期間と5月のゴールデンウィークが多く、連休が取りやすい時期

Q4S1 [訪れたことがある時期]あなたが渡嘉敷村を訪れたことのある時期として、あてはまるものをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）



性・年代別	男性：20代以下	127	19.7	15.0	26.0	17.3	23.6	17.3	26.0	18.1	15.7	18.9	9.4	9.4
	男性：30代	141	27.7	14.9	19.9	12.8	15.6	17.0	31.9	27.7	17.0	19.1	11.3	8.5
	男性：40代	118	16.1	16.1	7.6	21.2	25.4	22.0	29.7	27.1	15.3	16.1	10.2	10.2
	男性：50代	81	11.1	14.8	11.1	9.9	19.8	12.3	27.2	35.8	23.5	18.5	7.4	9.9
	男性：60代以上	72	6.9	12.5	18.1	15.3	16.7	15.3	12.5	20.8	13.9	23.6	5.6	9.7
	女性：20代以下	79	27.8	13.9	17.7	10.1	16.5	15.2	25.3	17.7	11.4	11.4	8.9	6.3
	女性：30代	91	23.1	20.9	24.2	20.9	20.9	17.6	29.7	24.2	19.8	26.4	22.0	18.7
	女性：40代	75	14.7	8.0	13.3	13.3	20.0	14.7	22.7	28.0	9.3	13.3	8.0	6.7
	女性：50代	74	10.8	13.5	14.9	9.5	14.9	14.9	24.3	23.0	14.9	21.6	13.5	9.5
	女性：60代以上	54	20.4	20.4	25.9	5.6	18.5	13.0	7.4	22.2	20.4	14.8	13.0	14.8

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

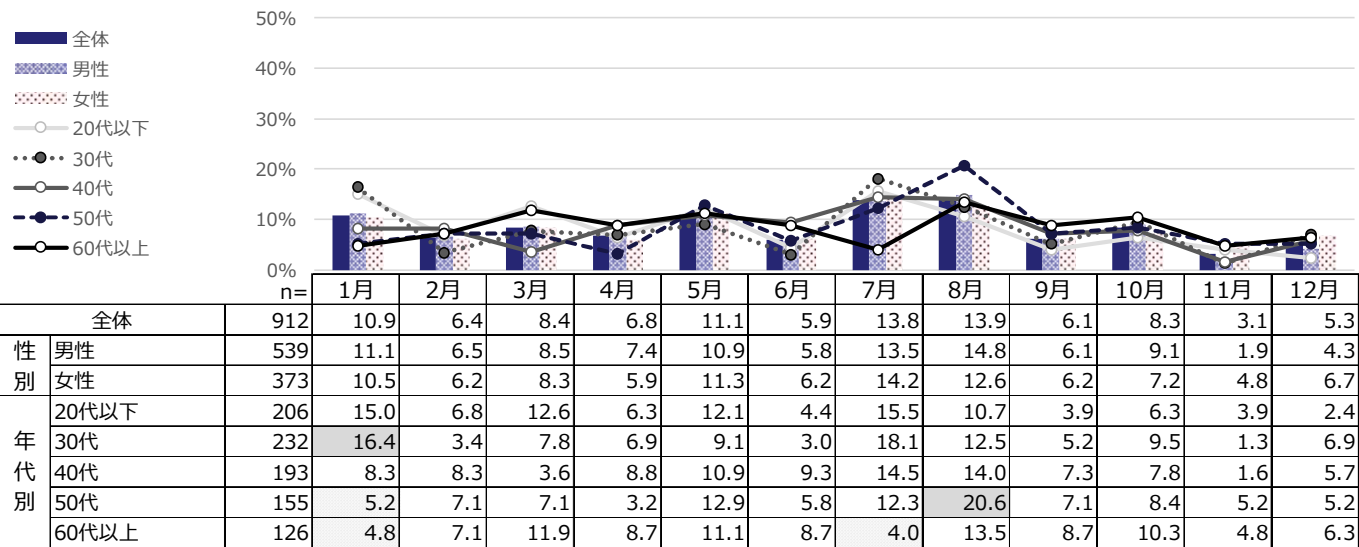
■ 渡嘉敷村の来訪時期で最も多く来訪している時期（来訪経験者）

■ 渡嘉敷村の最も多く来訪している来訪時期

- ・全体では、「8月」が13.9%、次いで「7月」13.8%、「5月」11.1%と続く。
- ・性別では、男性は「8月」が14.8%、次いで「7月」13.5%、「1月」11.1%と続く。
女性は「7月」が14.2%、次いで「8月」が12.6%、「5月」11.3%と続く。
- ・年代別では、20代以下は「7月」15.5%、「1月」15.0%、「3月」12.6%、30代は「7月」18.1%、「1月」16.4%、「8月」12.5%、40代は「7月」14.5%、「8月」14.0%、「5月」10.9%、50代は「8月」20.6%、「5月」12.9%、「7月」12.3%、60代以上は「8月」13.5%、「3月」11.9%、「5月」11.1%となっている。

➡ 渡嘉敷村の来訪時期については、「7月」、「8月」が最も多く来訪している

Q4S2 [訪れたことが最も多い時期]あなたが渡嘉敷村を訪れたことのある時期として、最も多い時期を1つだけお選びください。（お答えは1つ）



性・年代別	男性：20代以下	127	14.2	7.1	14.2	7.9	11.0	3.9	15.7	9.4	3.1	8.7	3.1	1.6
	男性：30代	141	20.6	3.5	9.2	5.7	7.1	2.8	18.4	14.9	3.5	9.9	0.7	3.5
	男性：40代	118	6.8	9.3	1.7	10.2	11.9	10.2	12.7	14.4	8.5	7.6	0.8	5.9
	男性：50代	81	4.9	7.4	6.2	1.2	16.0	3.7	11.1	25.9	8.6	4.9	3.7	6.2
	男性：60代以上	72	1.4	5.6	11.1	12.5	11.1	9.7	4.2	12.5	9.7	15.3	1.4	5.6
	女性：20代以下	79	16.5	6.3	10.1	3.8	13.9	5.1	15.2	12.7	5.1	2.5	5.1	3.8
	女性：30代	91	9.9	3.3	5.5	8.8	12.1	3.3	17.6	8.8	7.7	8.8	2.2	12.1
	女性：40代	75	10.7	6.7	6.7	6.7	9.3	8.0	17.3	13.3	5.3	8.0	2.7	5.3
	女性：50代	74	5.4	6.8	8.1	5.4	9.5	8.1	13.5	14.9	5.4	12.2	6.8	4.1
	女性：60代以上	54	9.3	9.3	13.0	3.7	11.1	7.4	3.7	14.8	7.4	3.7	9.3	7.4

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

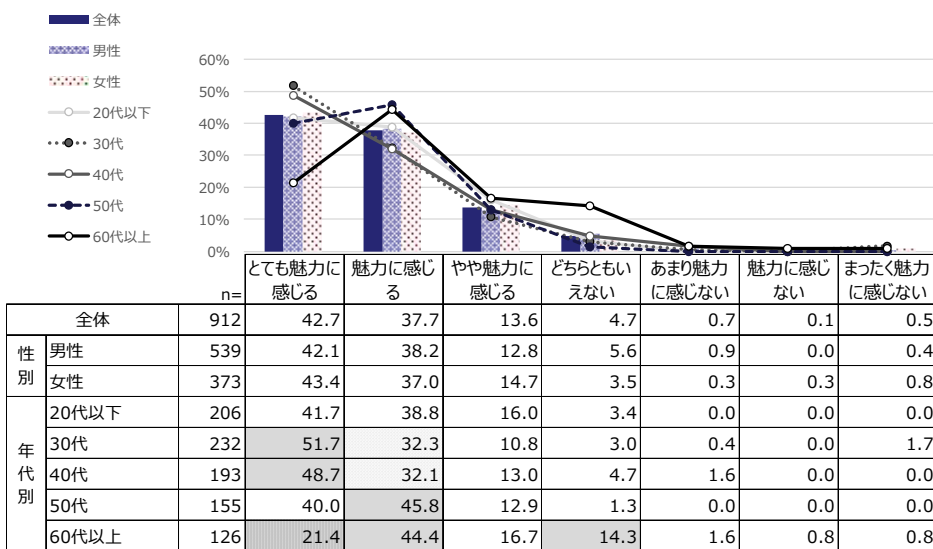
渡嘉敷村の魅力

■ 渡嘉敷村に対する魅力

- ・全体では、TOP3Box（「とても魅力を感じる」+「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」）が94.0%で9割以上が魅力を感じている。
前年調査では77.2%（但し対象者が来訪未経験の認知のみの認知者を含んでいるので単純比較はできない）
- ・性別では、TOP3Boxで男性が93.1%、女性が95.2%。
- ・年代別では、TOP3Boxで50代が98.7%と最も高く、60代以上が82.5%と最も低くなっており、全体（94.0%）より5ポイント以上低い。
- ・性年代別では、女性：50代の100%が最も高くなっており、全体より5ポイント以上高い。
また、男性：20代以下99.2%も、全体より5ポイント以上高い。

➡ 渡嘉敷村の魅力は来訪者はほぼ90%以上が魅力を感じている

Q5 渡嘉敷村をご存知の方にお伺いします。あなたは渡嘉敷村に対してどの程度の魅力を感じていますか。（お答えは1つ）



※2021年3月調査、2022年2月調査では、来訪未経験の渡嘉敷村認知者も対象

【2022年度】 2023年2月調査		【2021年度】 2022年2月調査		【2020年度】 2021年3月調査	
TOP3Box	n=	TOP3Box	n=	TOP3Box	n=
94.0	2,390	77.2	2,323	73.7	
93.1	1,266	80.8	1,240	76.5	
95.2	1,124	73.2	1,083	70.4	
96.6	417	84.7	409	85.1	
94.8	484	84.7	459	78.0	
93.8	495	77.2	484	74.2	
98.7	495	71.9	479	70.8	
82.5	499	69.1	492	62.4	

99.2	234	88.0	241	87.6
92.9	260	87.7	249	80.3
92.4	259	83.4	246	74.8
97.5	258	73.6	249	76.3
79.2	255	71.8	255	64.3
92.4	183	80.3	168	81.5
97.8	224	81.2	210	75.2
96.0	236	70.3	238	73.5
100.0	237	70.0	230	64.8
87.0	244	66.4	237	60.3

男性：20代以下	127	47.2	37.8	14.2	0.8	0.0	0.0	0.0
男性：30代	141	48.2	36.2	8.5	5.0	0.7	0.0	1.4
男性：40代	118	47.5	33.9	11.0	5.1	2.5	0.0	0.0
男性：50代	81	39.5	44.4	13.6	2.5	0.0	0.0	0.0
男性：60代以上	72	15.3	43.1	20.8	19.4	1.4	0.0	0.0
女性：20代以下	79	32.9	40.5	19.0	7.6	0.0	0.0	0.0
女性：30代	91	57.1	26.4	14.3	0.0	0.0	0.0	2.2
女性：40代	75	50.7	29.3	16.0	4.0	0.0	0.0	0.0
女性：50代	74	40.5	47.3	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0
女性：60代以上	54	29.6	46.3	11.1	7.4	1.9	1.9	1.9

※TOP3Box：「とても魅力を感じる」+「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムについて

■ 渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズム

- ・全体では、「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」60.3%となっている。前年調査では59.7%で若干プラスとなっている。
- ・性別では、「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」男性が61.7%、女性が58.8%となっており、女性よりも男性が2.9ポイント高い。
- ・年代別では、「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」30代が64.2%と最も高く、次いで50代が63.8%、40代が62.0%となっており、60代以上は低めの傾向となっている。
- ・性年代別では、「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」男性：30代が68.3%と最も高く、次いで男性：50代が64.3%、女性：50代が63.3%となっている。

⇒ **20代以下～50代までは約6割～7割が渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味があり、中でも30代、50代の興味が高い**

Q10 あなたは「渡嘉敷村」でのアドベンチャーツーリズム（AT）に興味はありますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）

		渡嘉敷村でのアドベンチャー ツーリズムに興味がある		アドベンチャーツーリズムに興 味はあるが、渡嘉敷村でのア ドベンチャーツーリズムに興味		アドベンチャーツーリズムに興 味が無い		渡嘉敷村でのATに対する興味あり					
		【2022年度】 2023年2月調査						【2021年度】 2022年2月調査		【2020年度】 2021年3月調査			
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	%	n=	%	n=	%	
全体		3000	60.3%				13.5%	26.2%	60.3	3,000	59.7	3,000	62.6
性別	男性	1500	61.7%				14.9%	23.4%	61.7	1,500	61.2	1,500	63.7
	女性	1500	58.8%				12.1%	29.1%	58.8	1,500	58.3	1,500	61.6
年代別	20代以下	600	58.0%				19.8%	22.2%	58.0	600	60.5	600	61.7
	30代	600	64.2%				14.0%	21.8%	64.2	600	67.2	600	68.0
	40代	600	62.0%				14.5%	23.5%	62.0	600	61.8	600	64.8
	50代	600	63.8%				10.2%	26.0%	63.8	600	58.5	600	62.3
	60代以上	600	53.3%				9.0%	37.7%	53.3	600	50.7	600	56.3
性・年代別	男性：20代以下	300	60.3%				22.7%	17.0%	60.3	300	62.0	300	62.3
	男性：30代	300	68.3%				16.0%	15.7%	68.3	300	67.3	300	67.3
	男性：40代	300	62.7%				15.3%	22.0%	62.7	300	65.3	300	66.3
	男性：50代	300	64.3%				10.7%	25.0%	64.3	300	58.0	300	66.3
	男性：60代以上	300	53.0%				9.7%	37.3%	53.0	300	53.3	300	56.0
	女性：20代以下	300	55.7%				17.0%	27.3%	55.7	300	59.0	300	61.0
	女性：30代	300	60.0%				12.0%	28.0%	60.0	300	67.0	300	68.7
	女性：40代	300	61.3%				13.7%	25.0%	61.3	300	58.3	300	63.3
	女性：50代	300	63.3%				9.7%	27.0%	63.3	300	59.0	300	58.3
	女性：60代以上	300	53.7%				8.3%	38.0%	53.7	300	48.0	300	56.7

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

渡嘉敷村で体験したいアクティビティ、コンテンツ（上位3つを選択）

■ 渡嘉敷村で体験したいアクティビティやコンテンツ

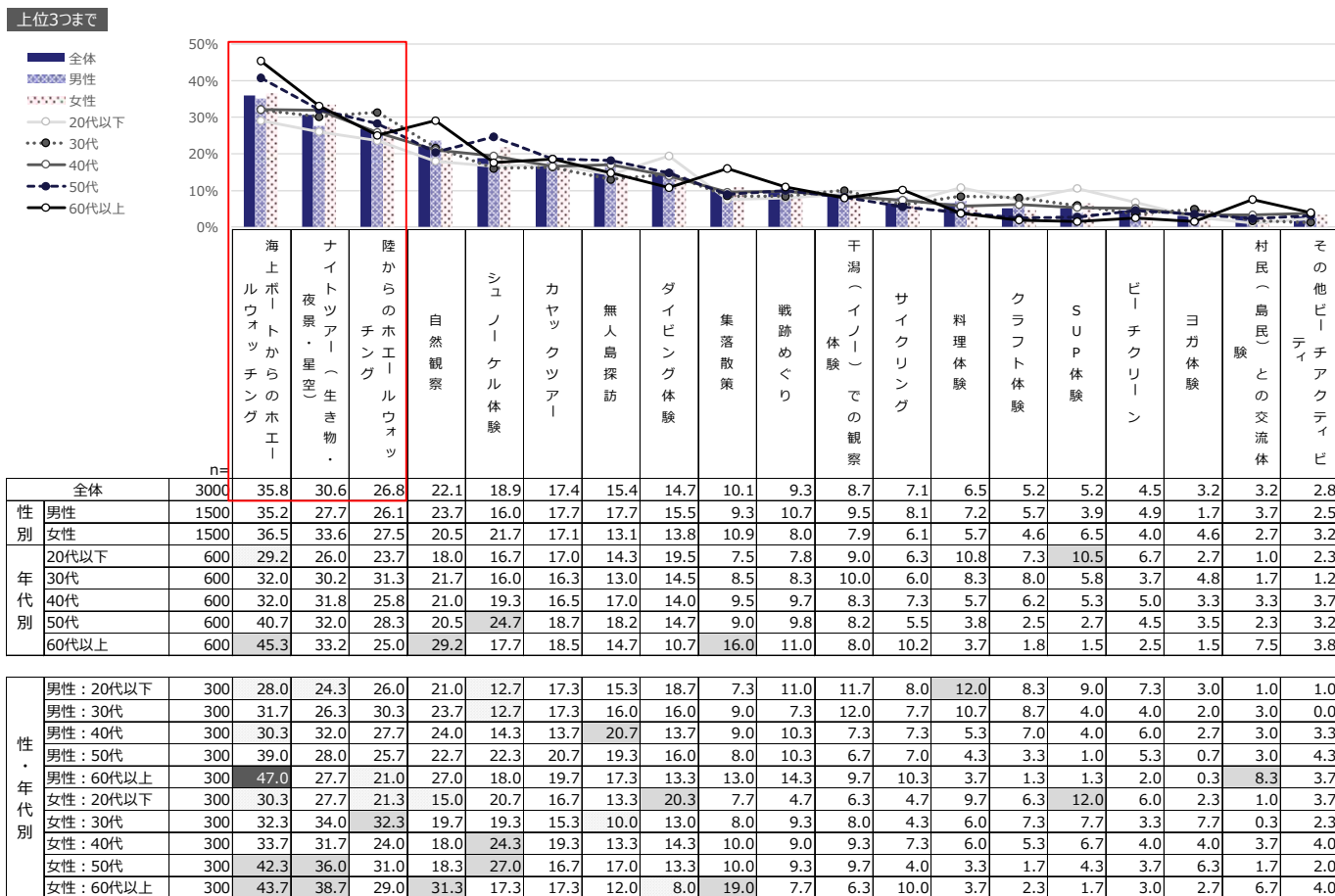
全体では、「海上ボートからのホエールウォッチング」35.8%が最も高く、次いで「ナイトツアー（生き物・夜景・星空）」30.6%、「陸からのホエールウォッチング」26.8%となっている。

男女別でも同様の上位3つとなっている。

年代別では、60代以上で「海上ボートからのホエールウォッチング」45.3%、「ナイトツアー（生き物・夜景・星空）」33.2%に次いで「自然観察」29.2%と上位3つのアクティビティのうち3位の項目で差異がでている。

➡ **渡嘉敷村で体験したいアクティビティやコンテンツの上位3つは、「海上ボートからのホエールウォッチング」、「ナイトツアー（生き物・夜景・星空）」、「陸からのホエールウォッチング」**

Q6S1 以下のアクティビティやコンテンツについて、あなたが「渡嘉敷村」で体験したいと思うものを3つまでお選びください。（お答えは3つまで）



※グラフは全体数値により降順

全体より+10.0UP
 全体より+5.0UP
 全体より-5.0DOWN
 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

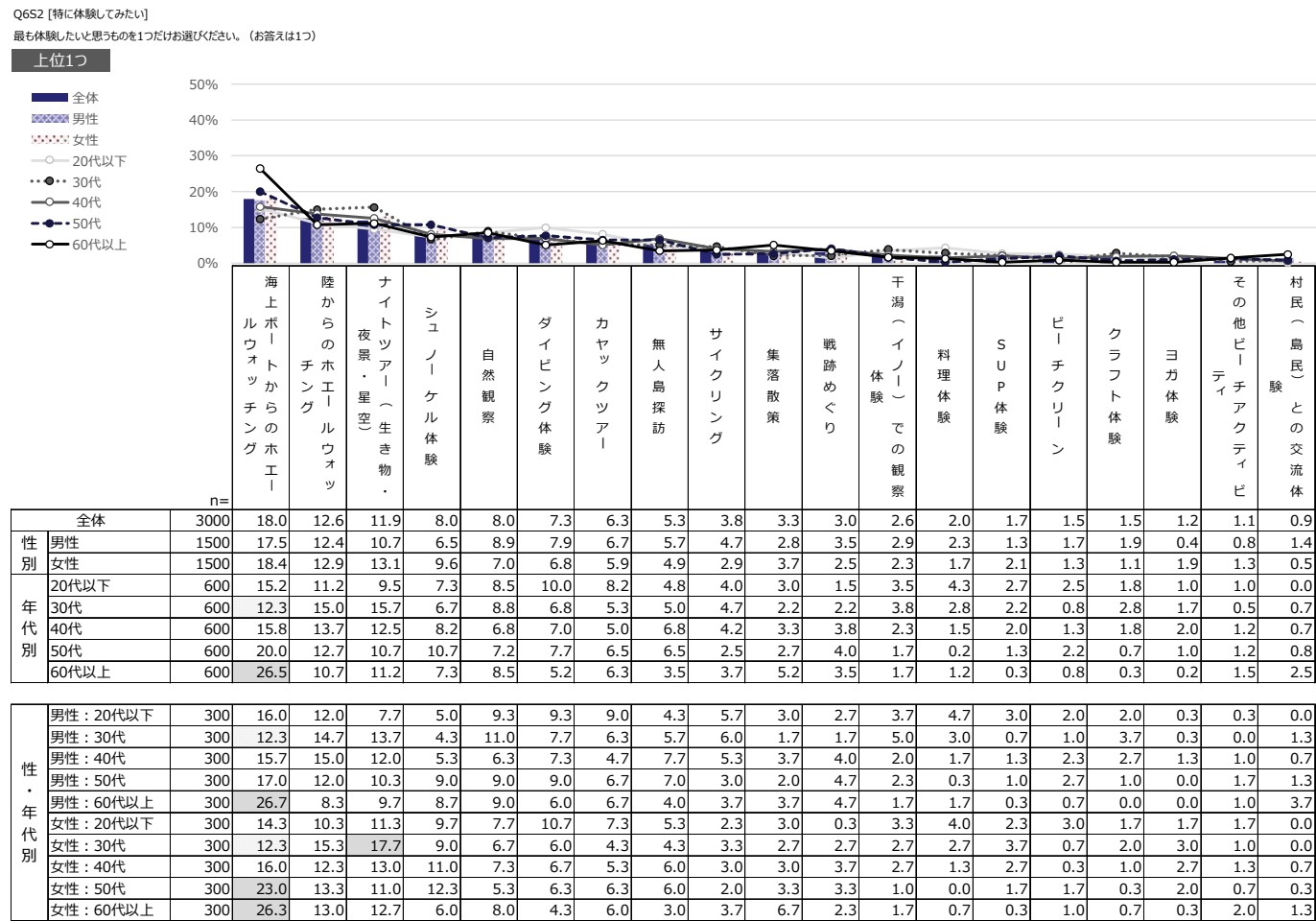
①WEB調査、事業者・村民アンケート

渡嘉敷村で体験したいアクティビティ、コンテンツ（上位1つを選択）

■ 渡嘉敷村で体験したいアクティビティやコンテンツ

全体では、「海上ボートからのホエールウォッチング」18.0%が最も高い。
30代以外は全体と同様に「海上ボートからのホエールウォッチング」が最も高く、特に60代以上では26.5%と全体よりも5ポイント以上高くなっている。
30代は「ナイトツアー」15.7%が最も高く、「海上ボートからのホエールウォッチング」は12.3%と全体よりも5ポイント以上低くなっている。

➡ 渡嘉敷村で最も体験したいアクティビティやコンテンツは、「海上ボートからのホエールウォッチング」が多く、30代を除いて約2～3割となっている
特に50代～60代以上の割合が高い



※グラフは全体数値により降順

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

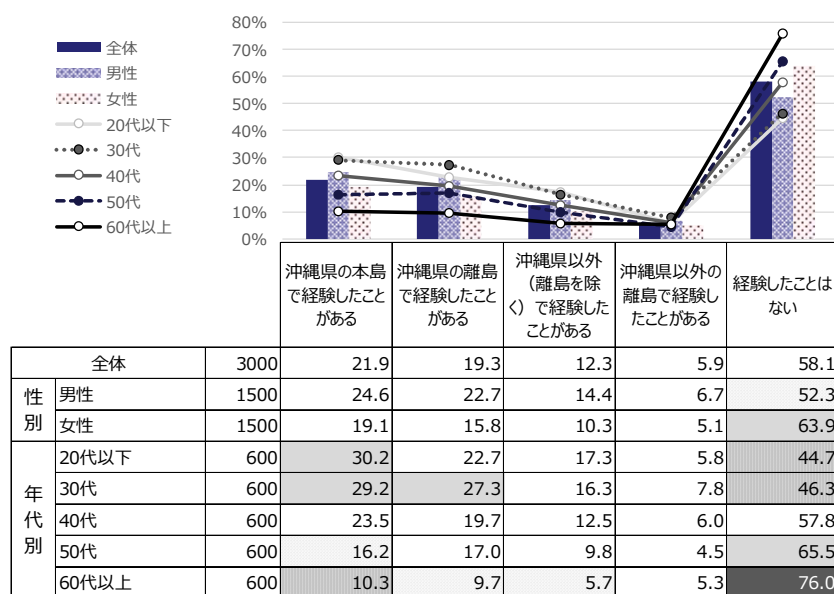
アドベンチャーツーリズム経験について①【経験した場所】

■アドベンチャーツーリズムの経験と経験場所

- ・全体では、アドベンチャーツーリズムの経験者は4割強（「経験したことはない」6割弱）で、「沖縄県の本島で経験したことがある」21.9%、「沖縄県の離島で経験したことがある」19.3%となっており、沖縄県の本島、離島でのアドベンチャーツーリズム経験が高いことがうかがえる。
- ・性別では、男性が女性よりも経験したことがある率が高い。
- ・年代別では、「沖縄県の本島で経験したことがある」20代以下が30.2%、30代が29.2%、「沖縄県の離島で経験したことがある」30代が27.3%と全体よりも5.0ポイント以上高い。50代、60代以上では約7～8割はアドベンチャーツーリズムを経験したことがない。

⇒ **アドベンチャーツーリズムの経験は20代以下～30代が多く、年代が高くなるほど経験したことが無い割合が高い**
しかし、50代ではアドベンチャーツーリズムへの興味は高い(P24参照)

Q6 あなたはこれまでにアドベンチャーツーリズム（AT）を経験したことがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）



性別・年代別	男性：20代以下	300	35.3	28.0	21.3	9.3	37.0
	男性：30代	300	33.0	33.3	17.7	7.7	36.7
	男性：40代	300	26.0	25.3	15.0	6.7	52.0
	男性：50代	300	18.0	19.3	12.0	5.3	59.7
	男性：60代以上	300	10.7	7.7	6.0	4.3	76.0
	女性：20代以下	300	25.0	17.3	13.3	2.3	52.3
	女性：30代	300	25.3	21.3	15.0	8.0	56.0
	女性：40代	300	21.0	14.0	10.0	5.3	63.7
	女性：50代	300	14.3	14.7	7.7	3.7	71.3
	女性：60代以上	300	10.0	11.7	5.3	6.3	76.0

【2022年度】 2023年2月調査	【2021年度】 2022年2月調査	【2020年度】 2021年3月調査
沖縄県で経験有り（本島＋離島）	n=	沖縄県で経験有り（本島＋離島）
41.1	3,000	3,000
47.3	1,500	1,500
34.9	1,500	1,500
52.8	600	600
56.5	600	600
43.2	600	600
33.2	600	600
20.0	600	600
63.3	300	300
66.3	300	300
51.3	300	300
37.3	300	300
18.3	300	300
42.3	300	300
46.7	300	300
35.0	300	300
29.0	300	300
21.7	300	300

※自分自身の楽しみだけを求める旅行ではなく、訪れる地域への消費（経済効果）等、ツアーに参加することで地域貢献できるかどうかにも高い意識を持っていることがアドベンチャーツーリズムでの旅行者像となります。

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

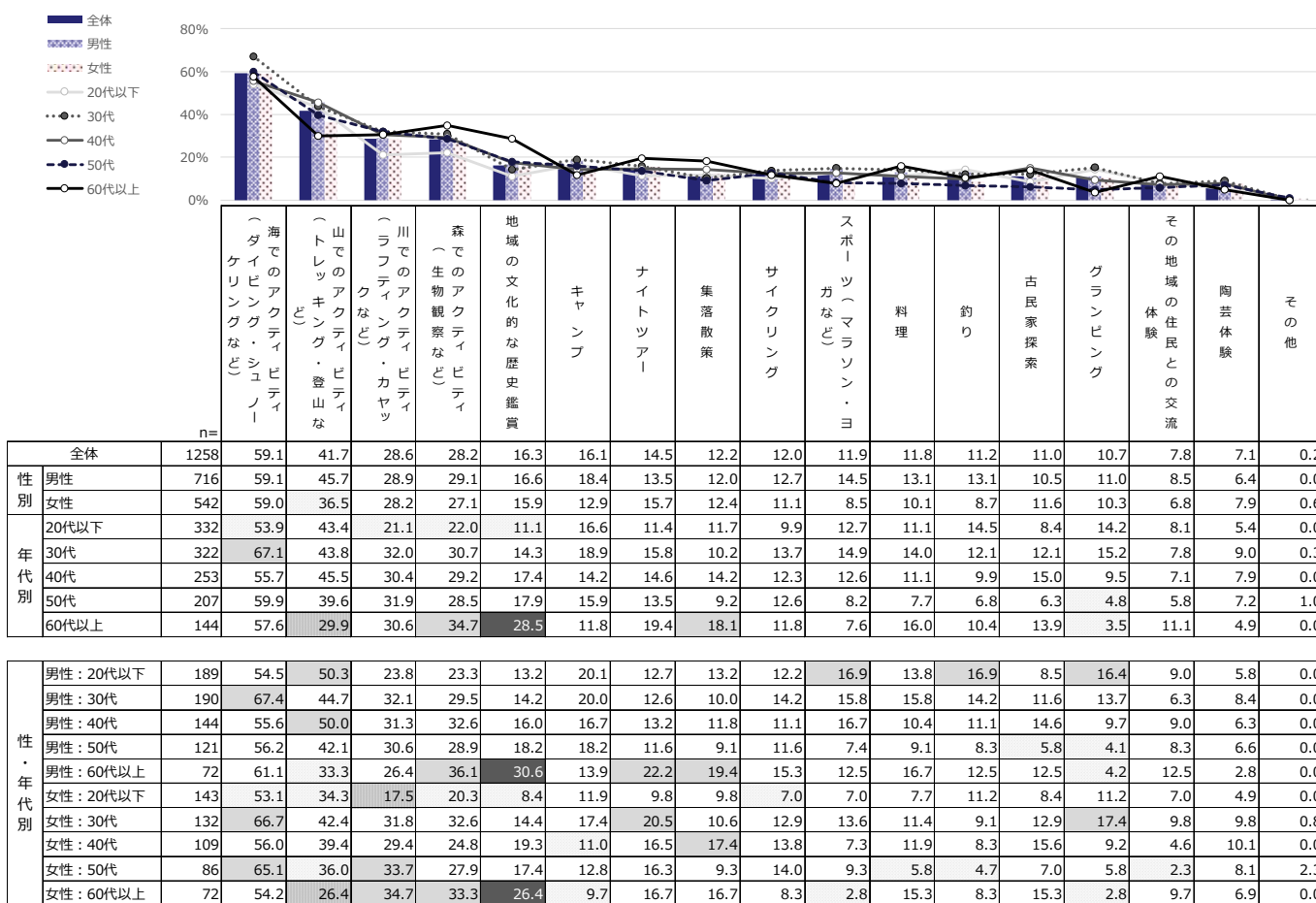
アドベンチャーツーリズム経験について②【経験コンテンツ】

■経験したことがあるアドベンチャーツーリズムのコンテンツ

- ・全体では、「海でのアクティビティ」59.1%が最も高く、次いで「山でのアクティビティ」41.7%、「川でのアクティビティ」28.6%となっている。性別、年代別でも「海でのアクティビティ」が最も高くなっている。
- ・性・年代別では、「海でのアクティビティ」が最も高くなっているのは男性：30代が67.4%、次いで女性：30代が66.7%で、「山でのアクティビティ」が最も高くなっているのは男性：20代以下が50.3%、次いで男性：30代50.0%、「川でのアクティビティ」が最も高くなっているのは女性：60代以上が34.7%、次いで女性：50代33.7%となっている。
- また、男性：60代以上と女性：60代以上では、「地域の文化的な歴史鑑賞」が他の年代よりも高くなっている傾向が伺える。

⇒経験したことがあるアドベンチャーツーリズムのコンテンツでは「海のアクティビティ」が約6～7割となっている

Q8 あなたが経験したことがあるアドベンチャーツーリズム（AT）のコンテンツをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）



※自身の楽しみだけを求める旅行はアドベンチャーツーリズムに含みません。

※グラフは全体数値により階層

全体より+10.0UP
全体より+5.0UP
全体より-5.0DOWN
全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

アドベンチャーツーリズム経験について③【体験料金】

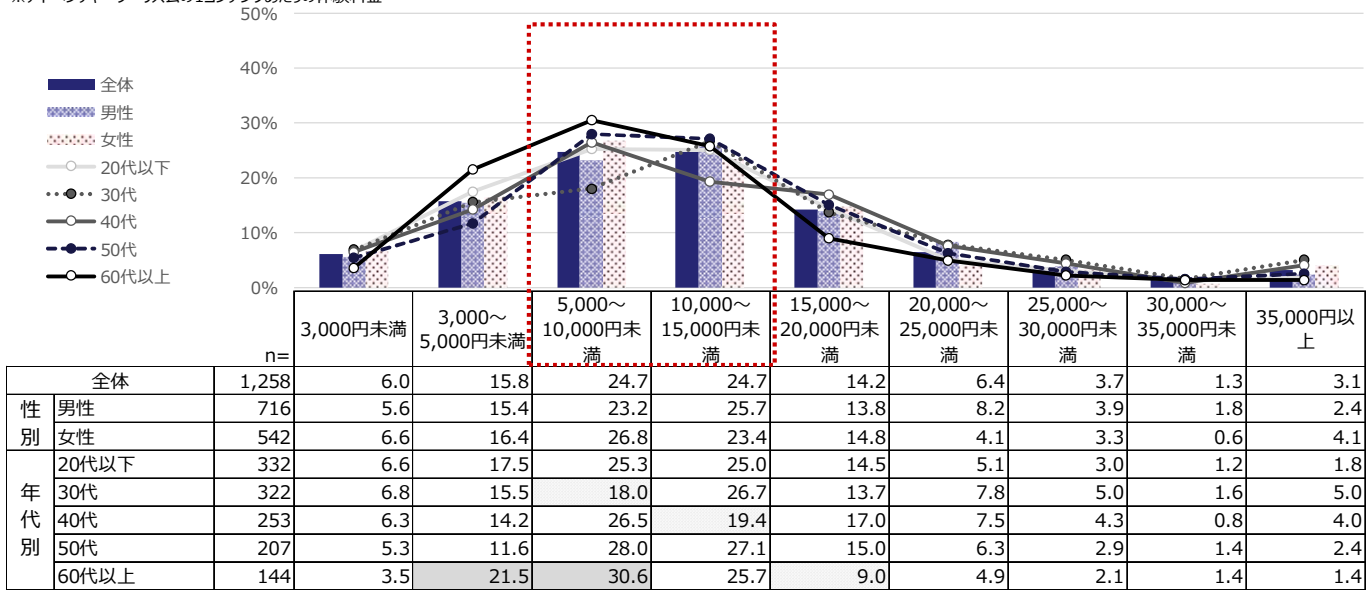
■アドベンチャーツーリズム経験時の体験料金（1人当たり、1コンテンツ）

- ・全体では、「5,000～10,000円未満」、「10,000～15,000円未満」24.7%が最も高く、次いで「3,000～5,000円未満」15.8%で、ボリュームゾーンは、5,000円～15,000円。
- ・年代別では、60代以上が「5,000～10,000円未満」30.6%と全体よりも5ポイント以上高めとなっている。

➡ **アドベンチャーツーリズムの体験料金は5,000円～15,000円未満が最も多いコンテンツでは「海のアクティビティ」が約6～7割となっている**

Q9 あなたがアドベンチャーツーリズム（AT）を経験した際の、1人あたりの平均予算金額はどのぐらいでしたか。（お答えは1つ）

※アドベンチャーツーリズムの1コンテンツあたりの体験料金



性別・年代別	男性：20代以下	189	5.8	18.5	25.4	24.3	12.2	7.4	3.2	1.6	1.6
	男性：30代	190	7.4	14.7	15.8	30.0	13.7	8.9	4.2	2.6	2.6
	男性：40代	144	4.2	13.2	24.3	20.1	16.0	10.4	5.6	1.4	4.9
	男性：50代	121	4.1	10.7	25.6	30.6	14.9	6.6	4.1	2.5	0.8
	男性：60代以上	72	5.6	20.8	30.6	20.8	12.5	6.9	1.4	0.0	1.4
	女性：20代以下	143	7.7	16.1	25.2	25.9	17.5	2.1	2.8	0.7	2.1
	女性：30代	132	6.1	16.7	21.2	22.0	13.6	6.1	6.1	0.0	8.3
	女性：40代	109	9.2	15.6	29.4	18.3	18.3	3.7	2.8	0.0	2.8
	女性：50代	86	7.0	12.8	31.4	22.1	15.1	5.8	1.2	0.0	4.7
	女性：60代以上	72	1.4	22.2	30.6	30.6	5.6	2.8	2.8	2.8	1.4

※自身の楽しみだけを求める旅行はアドベンチャーツーリズムに含みません。

※ここでは飛行機代などを除いたアドベンチャーツーリズムの1コンテンツあたりの体験料金としてお考えください。

	全体より+10.0UP
	全体より+5.0UP
	全体より-5.0DOWN
	全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

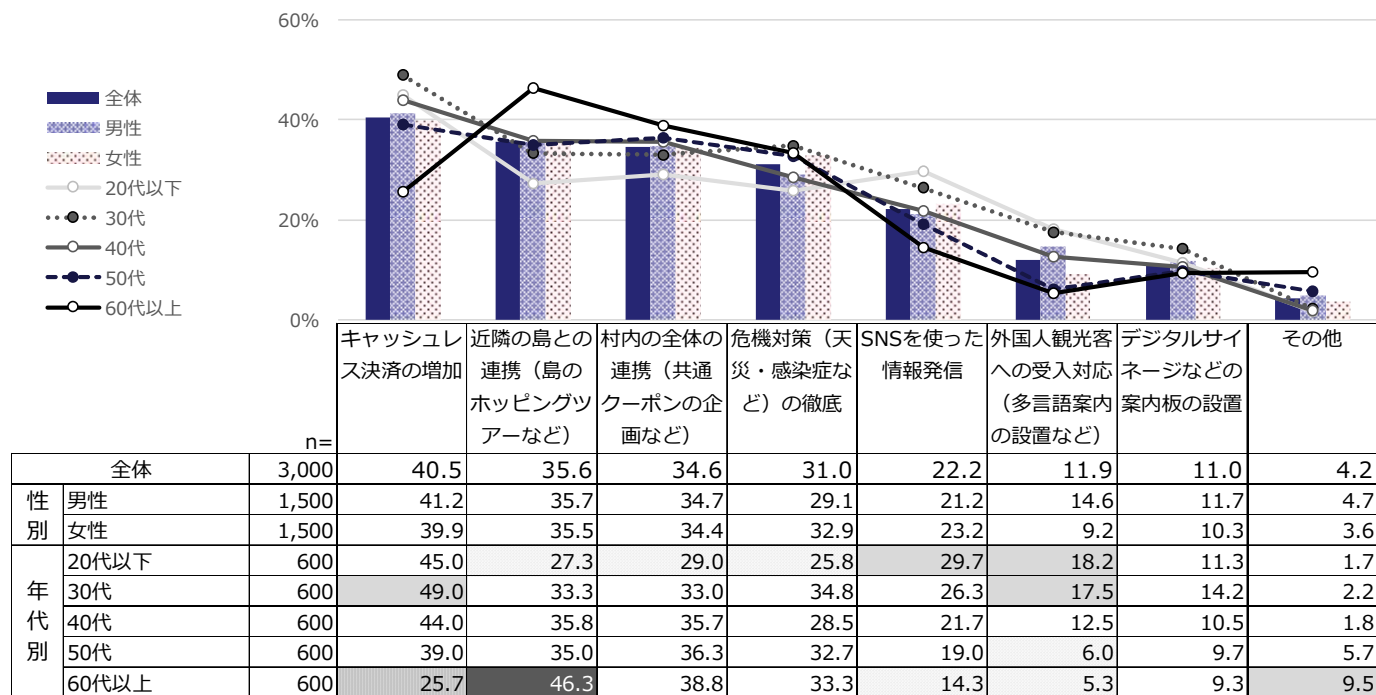
渡嘉敷村に求めたいこと

■ 渡嘉敷村に求めたいこと

- ・全体では、「キャッシュレス決済の増加」40.5%が最も高く、次いで「近隣の島との連携」35.6%、「村内の全体の連携」34.6%と続く。
- ・性別ではほぼ全体と同様の傾向となっており、年代別では、20代以下～40代の「キャッシュレス決済の増加」要望が高くなっており、20代以下ではSNSを使った情報発信が全体よりも5ポイント以上高くなっている。
- ・60代以上は「近隣の島との連携」が46.3%と最も高く、「キャッシュレス決済の増加」は25.7%と全体よりも10ポイント以上低くなっている。

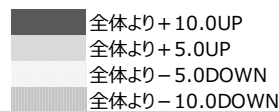
⇒ **60代以上を除いて、どの年代も「キャッシュレス決済の増加」要望は高い**
20代はSNSを使った情報発信要望が高い

Q12 あなたが渡嘉敷村に求めるものがあればお答えください。（お答えはいくつでも）



性別・年代別	男性：20代以下	300	47.7	29.7	32.0	26.7	26.7	24.0	13.7	1.7
	男性：30代	300	46.7	36.3	31.3	33.7	24.7	22.0	13.7	2.0
	男性：40代	300	43.7	34.7	37.0	26.7	21.3	15.7	11.3	2.0
	男性：50代	300	41.3	34.0	35.3	27.3	18.3	6.3	10.7	6.7
	男性：60代以上	300	26.7	43.7	38.0	31.3	15.0	5.0	9.0	11.3
	女性：20代以下	300	42.3	25.0	26.0	25.0	32.7	12.3	9.0	1.7
	女性：30代	300	51.3	30.3	34.7	36.0	28.0	13.0	14.7	2.3
	女性：40代	300	44.3	37.0	34.3	30.3	22.0	9.3	9.7	1.7
	女性：50代	300	36.7	36.0	37.3	38.0	19.7	5.7	8.7	4.7
	女性：60代以上	300	24.7	49.0	39.7	35.3	13.7	5.7	9.7	7.7

※グラフは全体数値により降順



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

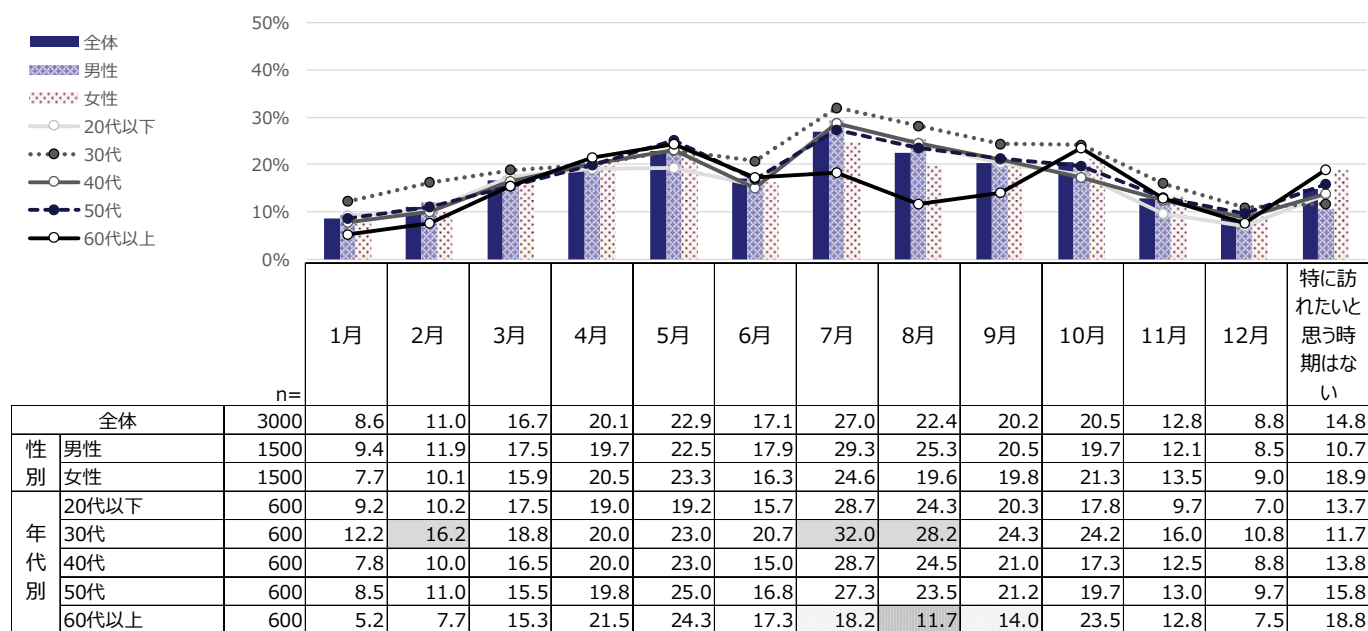
今後、渡嘉敷村を訪れたいと思う時期

■ 渡嘉敷村の今後の来訪時期

- ・全体では、「7月」が27.0%で最も高く、次いで「5月」22.9%、「8月」22.4%と続く。
- ・性別では、男性は「7月」が29.3%、次いで「8月」25.3%、「5月」22.5%と続く。
女性は「7月」が24.6%、次いで「10月」21.3%、「5月」23.3%と続く。
- ・年代別では、20代以下は「7月」28.7%、「8月」24.3%、「10月」20.3%、
30代は「7月」32.0%、「8月」28.2%、「9月」24.3%、40代は「7月」28.7%、「8月」24.5%、
「5月」23.0%、50代は「7月」27.3%、「5月」25.0%、「8月」23.5%、
60代以上は「5月」24.3%、「10月」23.5%、「4月」21.5% となっている。

⇒ 今後、渡嘉敷村を訪れたい時期については、比較的長めの連休がある月(5月、7月、8月、9月、10月)が多くなっている

Q13 あなたが今後、渡嘉敷村を訪れたいと思う時期を教えてください。(お答えはいくつでも) ※ここでは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せずにお答えください。



性別・年代別	男性：20代以下	300	11.7	13.7	20.0	21.3	22.0	15.7	29.0	24.7	20.3	18.3	11.7	7.7	8.0
	男性：30代	300	13.3	18.0	20.0	18.7	21.0	21.7	36.7	32.0	24.7	22.7	14.3	9.3	6.7
	男性：40代	300	8.7	11.7	17.3	20.3	23.0	15.0	30.7	29.0	22.0	16.3	13.0	10.7	9.0
	男性：50代	300	8.3	10.0	14.0	20.3	24.3	17.7	31.3	28.0	22.7	18.0	11.0	8.7	12.3
	男性：60代以上	300	5.0	6.3	16.3	17.7	22.0	19.7	19.0	12.7	13.0	23.0	10.7	6.3	17.3
	女性：20代以下	300	6.7	6.7	15.0	16.7	16.3	15.7	28.3	24.0	20.3	17.3	7.7	6.3	19.3
	女性：30代	300	11.0	14.3	17.7	21.3	25.0	19.7	27.3	24.3	24.0	25.7	17.7	12.3	16.7
	女性：40代	300	7.0	8.3	15.7	19.7	23.0	15.0	26.7	20.0	20.0	18.3	12.0	7.0	18.7
	女性：50代	300	8.7	12.0	17.0	19.3	25.7	16.0	23.3	19.0	19.7	21.3	15.0	10.7	19.3
	女性：60代以上	300	5.3	9.0	14.3	25.3	26.7	15.0	17.3	10.7	15.0	24.0	15.0	8.7	20.3

■ 全体より+10.0UP
 ■ 全体より+5.0UP
 ■ 全体より-5.0DOWN
 ■ 全体より-10.0DOWN

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

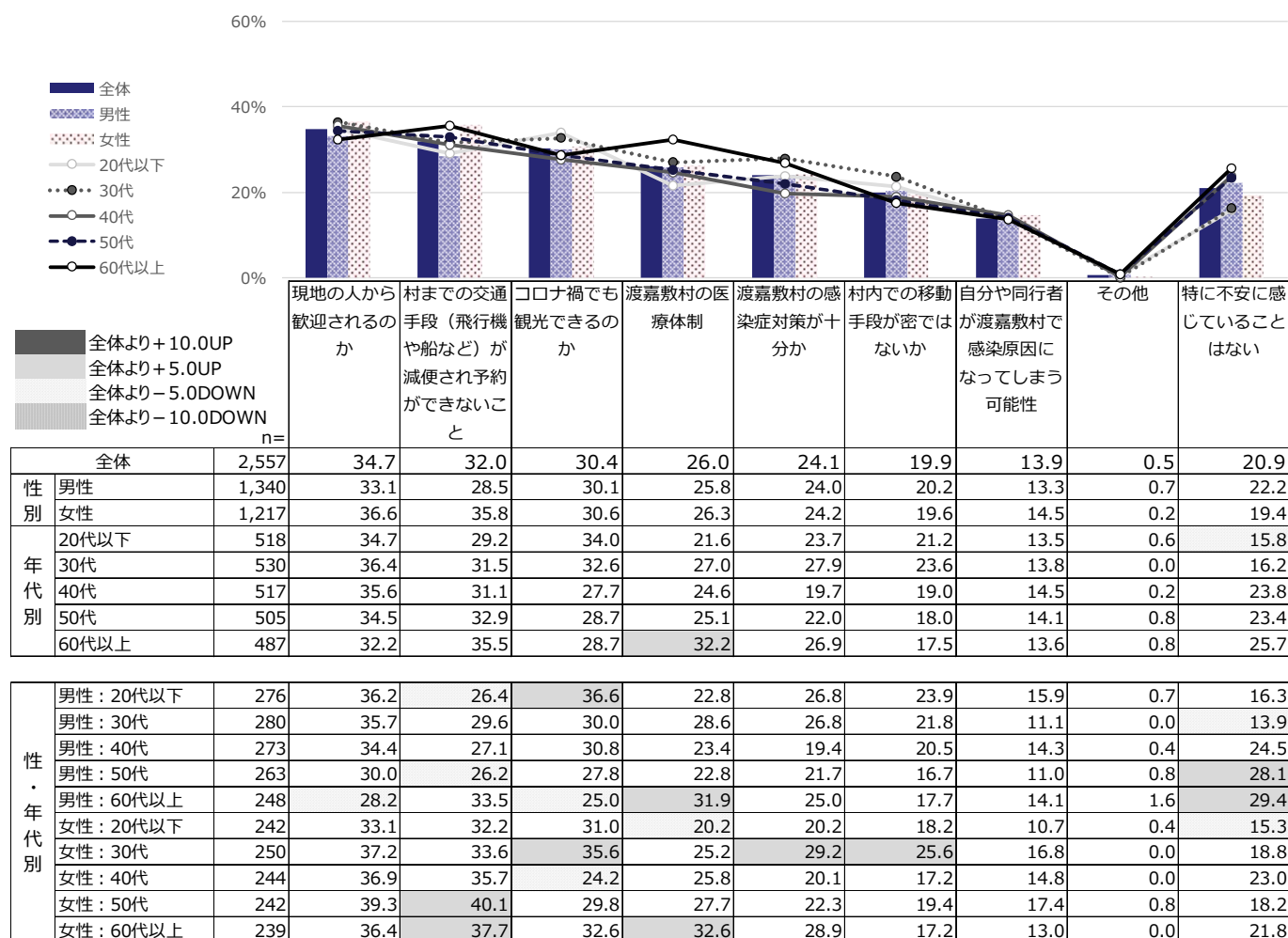
コロナ禍での渡嘉敷村来訪における不安要素

■コロナ禍で渡嘉敷村への訪問に感じる不安要素

・全体では、「現地の人から歓迎されるのか」34.7%が最も高く、次いで「村までの交通手段」32.0%、「コロナ禍でも観光できるのか」30.4%と続く。

⇒ **前年と比較すると感染に関わる不安要素は全体的に減少している傾向、村までの交通手段に対する不安はやや増加**

Q14 あなたがコロナ禍において渡嘉敷村を訪れたいと考える際、不安に感じることをすべて選びください。（お答えはいくつでも）



※グラフは全体数値により降順

前年対比

	n=	現地の人から歓迎されるのか	村までの交通手段（飛行機や船など）が減便され予約ができないこと	コロナ禍でも観光できるのか	渡嘉敷村の医療体制	渡嘉敷村の感染症対策が十分か	村内での移動手段が密ではないか	自分や同行者が渡嘉敷村で感染原因になってしまう可能性	その他	特に不安に感じていることはない
【2022年度】2023年2月調査	全体 2,557	34.7	32.0	30.4	26.0	24.1	19.9	13.9	0.5	20.9
【2021年度】2022年2月調査	全体 2,506	44.5	28.0	49.1	32.8	35.2	20.8	24.4	0.6	13.9
前年比		-9.8	4.0	-18.7	-6.8	-11.1	-0.9	-10.5	-0.2	7.0

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

フリーアンサー①（渡嘉敷村でのATに興味がある理由：男性回答者）

■ 渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある理由（男性回答）

渡嘉敷の自然への触れ合いや体験への魅力を感じている

自然を楽しみながら地域振興、地域経済への貢献できることに魅力を感じている

20代以下

- ・これまで体験したことがなく、**新たな体験となりおもしろそう**と思ったから
- ・ザンパというようなアクティビティなのでとても楽しそうだと感じたから
- ・その土地特有の**自然や文化に触れる**ことに興味があるから
- ・**テレビ番組で観て**興味を持った
- ・沖縄ならではの体験がたくさんありそうだから、一生物の経験になりそう
- ・沖縄自体が好きだし、**その地域の文化を学びたい**
- ・海や自然が綺麗なのはもちろんのこと、**戦争の名残や沖縄ならではの文化も残っていて、勉強になりそう**と思ったから
- ・海や森などの自然がハワイなどに似ていると感じたから
- ・**雑誌で見て体験してみたい**と思った、具体的に何やるかは分からない
- ・自然がきれいであることはもちろんだが、**島民との関わりや文化的な内容も知りたい**から
- ・自然が豊かで、歴史のあるイメージがあるから
- ・自分が住んでいる地域では体験できないため
- ・前に行った時とても魅力的だったから
- ・**短いスケジュールで楽しめそう**
- ・**地域振興に興味がある**から
- ・美しい海が魅力である**渡嘉敷村**ならシュノーケリングなどのアドベンチャーツーリズムをしてみたいと思ったから

30代

- ・きれいな**自然を満喫できそう**なので
- ・こういう地域は**観光客がこない**と**経済が回らない**ので、そういう場所で積極的に投資したい
- ・**この自然でしか体験できない**と思うから
- ・ダイビングはしたことがあるのですが、文化的な部分をあまり存じ上げないため、気になりました
- ・一度訪れてみたい アドベンチャーツーリズムも体験したことがないのでよい機会だと思った
- ・海に囲まれた離島ならではの**体験ができそう**だから。
- ・**楽しみながら貢献できる**から
- ・子供が喜びそうだから
- ・子供が小さいうちに体験させてみたい
- ・自然豊かな渡嘉敷村で**体験してみたい**と思う
- ・場所によっては見れるものや体験できる内容が異なるので 興味がある
- ・戦跡探索に興味があるから
- ・**地域経済に貢献したい**から
- ・渡嘉敷村は**美しい場所**なので、島、海、空、自然について**学びたい**と思っていました
- ・本土ではできない南国ならではの**自然を体験**できそうだから。
- ・本土とは異なる文化を**体験してみたい**から

40代

- ・**ケラマブルーの海を始めとした自然とそこで育まれた文化に関心があり、体験してみたい**と思ったからです
- ・せっかくの旅行の機会であれば、現地の様々な要素に触れたいから
- ・ツアーでも**もっと魅力がある部分を知りたい**から
- ・とても自然がきれいで、アドベンチャーツーリズムを体験するには最高だと思います
- ・ホエールウォッチングがシュノーケルなどマリナレジャーなどのマリナレジャーに魅力を感じるので
- ・**もとより好きな場所ですがそれをさらに深く楽しめそう**だから
- ・沖縄の本島・離島には何度も訪れているので、楽しめそうなイメージを十分想像できる
- ・沖縄自体が好きなので未知のものは体験してみたいです
- ・**慶良間でしか体験出来ないものがある**と思うから
- ・景色が綺麗だから
- ・現地での生活を体験したい
- ・子どもと楽しめそうだから
- ・子どもに**自然体験させたい**
- ・自然の体験はもちろんですが、**住民と交流して地域の文化を体験したい**
- ・整備された綺麗な自然が残っており、地元とは違う世界での体験が非日常感を感じて、強く印象に残る
- ・渡嘉敷村は**自然豊かで、様々な体験ができる非常に魅力的な場所**だから

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

フリーアンサー②（渡嘉敷村でのATに興味がある理由：男性回答者）

■ 渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある理由（男性回答）

30代～50代では子供に自然を体験させたい、家族で楽しめることへの魅力を感じている
沖縄本島とは違う豊かな自然、綺麗な景色、海に魅力を感じている

50代

- ・アクティビティと自然環境が素晴らしいから。
- ・クジラや綺麗なビーチに魅力を感じる
- ・そこでしかできないことを体験できる
- ・ダイビングが好きで、渡嘉敷の魚類の多さは特筆ものだから
- ・ダイビングとホエールウォッチングでしか訪れたことがないので
- ・どのような体験ができるのか、ワクワクして家族で楽しめそうだから
- ・ふれたことのない文化を体験したい
- ・異文化交流(日本国内でも)に興味があり実際に国内外問わず積極的に体験しているから
- ・沖縄には何度も訪れたので今までと違う体験がしたいから
- ・沖縄や島の文化に興味があり、自然とアクティビティの種類も充実しているから
- ・沖縄県の離島での生活体験に憧れるから
- ・海と山が近場で遊べるから短い動線で色々な体験を手軽にできる
- ・海や森の充実した自然体験ができそうだからです
- ・子供と楽しみたいから

60代以上

- ・他では体験できない貴重な、自然に基づく体験が出来そうだから
- ・渡嘉敷村には多くのAT要素があり、もっと時間をかけて体験してみたい
- ・渡嘉敷村の沢山の素晴らしい自然や文化についてもっと知りたい
- ・渡嘉敷村は人もわりと少ないのでやりたいことがスムーズにできるのでとても行きたいリゾート地です
- ・アドベンチャーツーリズムを体験したことがないので、渡嘉敷村で一度体験してどのようなものなのか理解を深めたい
- ・どんなプログラムがあるのか興味がある
- ・亜熱帯の環境で、しかも自然が豊富。沖縄という異なった文化圏に属している。
- ・奄美大島で体験したので、次回は渡嘉敷島でやってみたいから
- ・沖縄が好きで、沖縄の歴史、風俗に興味があり自然も豊かだから
- ・沖縄には行った事が無いので行ってみたい。いわゆるリゾートホテルが嫌いなのでちょうどいい
- ・沖縄ののきれいな海でアドベンチャーツーリズムを楽しんでみたい
- ・沖縄の自然であまり人が行かない島なので
- ・沖縄の手つかずの地域を探訪したいから
- ・海も山も沖縄らしい自然が残っている
- ・好きな海で思い切り地元振興に貢献したい
- ・座間味島には宿泊して観光しましたが、隣の渡嘉敷島は景観だけだったので機会があればATしてみたい
- ・自分が住んでいる北海道では絶対に体験できないプログラムだから。
- ・昔沖縄の離島に勤務したことがあり、渡嘉敷村をまだじっくりと体験していないので
- ・渡嘉敷の自然と住民の生活に興味あり
- ・渡嘉敷の綺麗な海でのアクティビティ
- ・自然体験に興味がある。
- ・渡嘉敷島に滞在しているような自然とふれあいたい

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

フリーアンサー（渡嘉敷村でのATに興味がある理由：女性回答者）

■ 渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある理由（女性回答）

渡嘉敷独自の自然や景観美などをより堪能できることへの期待感を感じている
地域振興、貢献ができることもへも魅力を感じている（楽しみながら貢献できる）

20代以下

- ・村なので多くの伝統的な体験ができそうだから
- ・行ったことがあり、とても海や景色が綺麗だったため、再度様々なことを楽しみたい。
- ・地域の特化した文化体験ができる。
- ・いろんな体験ができて楽しそうだから
- ・素敵な場所だから
- ・地域の良さを知るきっかけになるから。かつ地域に貢献ができるから。
- ・行ったことのない村で体験することによって新たな魅力に気づけて周りの人に教えてあげられるかもしれないから
- ・綺麗な景色とアクティビティで満足感が高そうだから
- ・沖縄が好きだしダイビングなどのマリナクティビティも好きだから
- ・景色がとても綺麗でアクティビティも自然も文化体験も好きなので興味が有ります
- ・現地の自然や歴史に触れられるから
- ・訪れたことのない渡嘉敷村でアクティビティを経験できたり、独自の文化を知ることができたりすることに魅力を感じます。
- また、snsを通じて口コミを広めたりすることで、更にその町の地域振興につながるのだからと考えるから
- ・沖縄の島が大好きだから
- ・ホエールウォッチングを含めた体験がしたい
- ・沖縄に行きたいと思っており、アクティビティや地域の自然に触れたいと思っているため。

30代

- ・自然がとても綺麗で、文化も知りたいから
- ・離島の文化体験に興味があるため
- ・せっかく自然豊かな場所なので自然のアクティビティを楽しみたい
- ・その地域ならではの体験を楽しめそうだから
- ・ケラマブルーの海を体験したいから 海だけでなく、山の自然も豊かで南の島特有のキレイな自然に触れてみたいから
- ・自分が楽しむだけでなく地域のためにもなるのが良い
- ・都会では体験できないような貴重な体験ができそう。その土地でしか体験できないことをやってみたい。
- ・離島での地域活性化に興味があるから
- ・自然あふれて魅力的な場所だと思ったのと振興に貢献できたら嬉しいから
- ・自分が楽しめるだけでなく地域振興になるのは嬉しいので
- ・地域のことを考えて楽しく旅行できそうだから。
- ・子供と自然を満喫できそう
- ・渡嘉敷村のような自然豊かな場所ならアドベンチャーツーリズムも楽しそうだなと思った
- ・沖縄の離島は魅力的なので、そこでしかできない体験が出来そうだから。
- ・渡嘉敷村ならではの体験ができそうだから。
- ・貴重な体験ができて楽しそうなので
- ・都会では味わえない体験だから。子どもに経験させたい
- ・その土地の地域密着型の企画や文化体験に興味があるから
- ・自然や文化を通じて環境問題と向き合い機会ができそうだから

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

フリーアンサー（渡嘉敷村でのATに興味がある理由：女性回答者）

■ 渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある理由（女性回答）

高齢者も自分たちでも参加できる内容であれば興味を持って参加したい意識がある。

- | | |
|-------|---|
| 40代 | <ul style="list-style-type: none">・素晴らしい自然が残っているし環境保護の目的の為に体験したい・旅行の楽しみが倍増しそう・その場でしか体験できないことがたくさんありそうだし、その地域のことを知ることができそうだから。・海と山を両方楽しめそうだから・人の手が加えられていない島を楽しみたいから。・とても綺麗な自然なので、アクティビティや自然、文化体験をしたい・自然豊かな渡嘉敷村では、ここならではの体験ができそう・渡嘉敷島を応援したいから・旅行をして楽しむことで地域に貢献できるのは良いことだと思うから・自然の中でアクティビティを楽しむには格好の場所だと思う・家族で楽しめそうだから・渡嘉敷島が好きだから、・渡嘉敷村の自然体験や文化体験などとても興味深いため・渡嘉敷村はとても海がきれいなところなので、離島ということもあり、文化とかなりわしとか知らないことがたくさんあると思うから島まるごと体験したい・戦争遺跡について知りたいのと史跡保存に何らかの貢献がしたいので。・地域振興にもなり楽しめるので魅力的 |
| 50代 | <ul style="list-style-type: none">・普段出来ない経験で、思い出にもなり、プチ社会貢献にも繋がる・より地域（島）の魅力に触れることが出来るから。思い出になり、また来たいと思えるような気がするから・自分の住んでいる地域と違う場所と全く違う自然や文化体験の経験ができると思うから・違った沖縄の景色や体験ができそう・地域振興にもなるから。・面白そうだし、離島の経済活性化に役立つなら良いと思う。・旅行をすることで地域振興に繋がるなら一石二鳥だと思うので・地域振興に参加したい・渡嘉敷村を訪れてみたいし、せっかく行くなら、その地域ならではの文化体験をするのも良いので。・沖縄は何度も行って違う楽しみを求めているから・一度訪れたいと思う場所で地域貢献もできるならなおいいと思う・渡嘉敷村の魅力をアドベンチャーツーリズムで再発見したい・自然を美しいまま残すためには、地域との連携は不可欠だと思うので・自然が豊かな渡嘉敷村なので、色々な貴重な体験が出来そう・渡嘉敷村をもっと知りたい思い・自然を満喫出来て、その地方の特性や環境などを知ることができる・ただの観光旅行よりも一歩踏み出した経験がしたいので・ダイビングとシュノーケリングだけしかしたことがなかったので、以前から探検したいと思っていた・自然豊かで、人も良さそうなので、地域の方たちとふれあいたい・沖縄の自然の美しさへの興味があり、足腰が丈夫なうちに、経験してみたいと思うから・海がきれいで自然も多いため楽しい体験ができそうなため・慶良間諸島は自然がそのままきれいな海があるので興味がある・沖縄には本土にはない歴史や自然が詰まっている。そこでの体験は変えがたい・渡嘉敷村での自然を満喫できるATに興味がある・自然が豊かな場所なので、ATにはもってこいのエリアだと思うから。・自然を満喫しつつ地域貢献したい・透明度の高い海ケラマブルーをいつか見てみたいと思っています。クジラを目の前で見たりウミガメに出会えたら嬉しいです・孫たちと自然を堪能してみたい・自然が豊かで渡嘉敷島に貢献したいので・ケラマブルーと言われる海でのアクティビティを体験してみたいから |
| 60代以上 | |

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート 事業者アンケート

事業者ヒアリングの結果

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート 事業者アンケート

渡 商 工 第 7 0 号
令和4年12月22日

会 員 各 位

渡嘉敷村商工会
会長 新垣 徹 

令和4年度 地域経済動向等調査（第2回）について（依頼）

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、本会では村内事業者の景況や経営上の問題点を把握し、行政や各支援機関協力のもとデータ化・分析する事で、小規模事業者の持続的な経営発展に向けより一層効果的な支援策の拡充に繋げていきたいと考え、下記のとおり地域経済動向等調査を実施いたします。

つきましては、趣旨をご理解の上、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

記

調査内容：令和4年度地域経済動向等調査（第2回）

提出期日：令和5年1月13日（金）17：00

提出方法：以下のいずれかにてご回答・ご提出ください。

- ①オンライン…QRコードを読み取り、回答・提出
※オンライン回答の場合、紙の提出は不要です。



- ②紙…別添調査票を記入し、商工会へ提出（FAX、メール可）
※ご連絡いただけましたら、職員が調査票の回収に伺います。

【お問い合わせ】

渡嘉敷村商工会（担当：普久原・屋富祖）
TEL：098-987-2430 FAX：098-987-2798
Email：kerama@tokashiki.or.jp

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート 事業者アンケート

渡嘉敷村商工会 宛
FAX : 098-987-2798

令和4年度 地域経済動向等調査（第2回）

本調査は商工会の定める経営発達支援計画の一環として、小規模事業者への支援内容の強化を目的に実施いたします。調査結果を各関係機関協力のもと統計分析させていただき、今後の支援・施策の拡充に繋げていきたいと考えますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

当てはまる項目に○をしてください。

「その他（ ）」に○をした場合は、（ ）内に記述もお願いいたします。

事業所名（任意）	
----------	--

Q1. 業種を教えてください。

1. 製造業	2. 建設業	3. 小売業	4. 宿泊業	5. 飲食業
6. サービス業（レジャー・レンタル）		7. その他（ ）※組合等		

Q2. 従業員数を教えてください。

1. 0名	2. 1～5名	3. 6～10名	4. 11～20名
-------	---------	----------	-----------

Q3. 事業承継について教えてください。

1. 後継者候補がいる	2. 後継者はまだいない
-------------	--------------

Q4. 後継者について教えてください。

1. 家族に承継予定	2. 従業員に承継予定	3. まだ現役で承継予定なし
4. そもそも事業承継を必要だと考えていない（承継はしない）		

Q5. 1年前（令和3年）と比較した売上について教えてください。

1. 増加	2. 変わらない	3. 減少	4. 分からない
-------	----------	-------	----------

Q6. 売上増加と回答した方のみ、その要因について該当するものをすべて選択して下さい。

1. 観光客誘致の為に広報・周知強化	4. 新商品・サービスの提供を開始
2. ECサイト（ネット販売）を導入	5. 価格転嫁を実施（値上げ）
3. 設備などの導入による生産性向上	6. 特に取組みは無し（観光客増加）

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート 事業者アンケート

Q7. 1年前（令和3年）と比較した利益について教えてください。

1. 増加	2. 変わらない	3. 減少	4. 分からない
-------	----------	-------	----------

Q8. 増加と回答した方のみ、その要因について該当するものをすべて選択して下さい。

1. 売上が増加したから	4. 業務効率化を図った
2. 固定費を削減	5. 不明
3. 仕入・原材料費を削減	6. その他（ ）

Q9. 貴社における課題について該当するものをすべて選択して下さい。

1. 情報発信に対する課題	5. 生産性向上のためのITの導入（POS、グループウェア等）
2. 従業員の育成強化	6. 人手不足
3. 後継者の不在	7. 働き方改革等制度への対応
4. 新たなビジネス展開の必要性	8. その他（ ）

Q10. 今後強化したいことについて該当するものをすべて選択して下さい。

1. 経営者・従業員のスキルアップ	5. ネット販売への展開
2. 事業承継への取組み	6. 催事出店への展開
3. 労働保険など従業員への福利厚生	7. 既存事業の分析（事業計画書作成等）
4. 新商品・サービスの構築	8. SNS等の情報発信の強化

Q11. セミナーについて、商工会で開催してほしいテーマを教えてください。 ※複数回答可

1. BCP計画書策定	4. マーケティング	7. 商品開発について
2. ECビジネス	5. SNS活用法	8. 商品の販路展開について
3. 衛生管理	6. 補助金等制度説明会	9. その他（ ）

—— ここからは観光業（宿泊・マリッジ・レンタル）の方のみにお伺いします。 ——

Q12. 冬場（12月～2月）の営業について①

1. 営業している	2. 閑散期なので営業していない
-----------	------------------

Q13. 冬場（12月～2月）の営業について②

1. 閑散期対策として提供したいサービスがある、もしくは検討している
2. 特に考えていない

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

Q14. 令和4年5月～11月の店舗のおおよその稼働状況を教えてください。

1. 20%未滿	2. 40%未滿	3. 60%未滿
4. 80%未滿	5. 90%未滿	6. 100%未滿

Q15. 外国人観光客の受け入れを実施したことはありますか。

1. 過去にある	2. 現在も実施している	3. ない
----------	--------------	-------

Q16. 外国人観光客の受け入れを実施した際の対応・対策を教えてください。

1. メニュー等の外国語表記	2. 語学のスキルアップ	3. 外国人スタッフの雇用
4. 海外文化の学び	5. 特になし	6. その他()

Q17. 今後、観光誘客にて強化したい取組みを教えてください。

1. 島内事業者との連携	2. 慶良間諸島一体とした取組み	3. デジタル対応
4. 外国人受け入れ	5. 危機対策（天災・感染症等）	6. その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

最後に、観光活性化についてご提案・ご要望等ございましたらご記入ください。

[illegible]

本調査票を記入しましたら、お手数ですが商工会までご提出ください。(FAX、メール可)
※ご連絡いただけましたら、職員が調査票の回収に事業所へ伺います。

提出期日：令和5年1月13日（金）17：00

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート 事業者アンケート

事業者向け調査結果のまとめ① 令和4年度 地域経済動向等調査(第2回)より

◆回答事業者数31件 内観光業者22件

■冬場（12～2月）の営業について

今回ヒアリングした観光事業者では、冬場の営業も行っている。

冬場の営業に於ける閑散期対策としての提供サービスを実施または検討している事業者は13/22(約60%)となっており閑散期の取組にはやや積極的であることが伺える。

■令和4年5月～11月の稼働状況について

繁忙期を含む期間でありながら、100%と回答した事業者は0件であった。

20%未満 1/22

40%未満 4/22

60%未満 8/22

80%未満 7/22

90%未満 2/22

⇒80%越えは9/22（約40%）と厳しい状況が伺える。

※令和4年は前半はまだまだコロナ禍の影響で自粛していることも多く観光客自体の

動きが活発化したのは10月以降ということが稼働状況に影響していると推察される。

■外国人観光客の受け入れについて

外国人観光客の受け入れについては現在も受け入れている事業者は8件にとどまり、過去に受け入れてた7件、受け入れたことはない7件と現状外国人観光客の受け入れについては消極的である状況が伺えます。

外国人観光客受け入れ実施の際の対応・対策

- ・メニューや案内などを外国語表記
- ・外国人スタッフの雇用
- ・海外文化の学び
- ・語学のスキルアップ

⇒外国人観光客の受け入れは対応や対策が面倒な割に効果（収益）としての実績が

事例として必要と思われる。（実際の具体的な効果がわかれば取り組みもしやすくなる）

■今後の観光客誘致に強化したい取組

- ・島内事業者との連携 (13)
- ・慶良間諸島一体とした取り組み (10)
- ・デジタル対応 (10)
- ・外国人の受け入れ (8)
- ・危機対策 (9)
- ・自社施設への設備投資 (1)

となっている。

⇒より安定した観光客誘致のための取組みに対しては積極的傾向が伺えた。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

村民アンケート

村民アンケートの結果

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート



←スマホ等で QR コードを読み込み、回答することも可能です！

渡嘉敷村観光振興に関する村民アンケート

●あなたご自身のことについておたずねいたします

下記について、各項目の該当する番号に 1 つだけ○をつけてください。

[illegible]

問1 あなたは、渡嘉敷村のどのようなところに魅力を感じていますか。該当する番号に 3つまで選んで○をつけてください。

[illegible]

■観光誘客について

問2 観光客の方におすすめの資源はありますか。該当する番号を3つまで選んで○をつけてください。

① きれいなビーチ ②サンゴ礁 ③緑豊かな山 ④美しい星空 ⑤貴重な動植物
⑥ 歴史文化遺跡 ⑦イベント・祭り ⑧アクティビティ ⑨食（農水産物） ⑩お土産
⑪ 地元の人たち ⑫その他（ ）

問3 コロナ禍の観光誘客において、来島する観光客の方への要望があればご記入ください。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

問4 外国人観光客の受け入れについて、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。

- ① 村内の多言語案内（看板やパンフレットなど）を増やすべき
- ② マナーなどの情報発信をもっとすべき
- ③ 村民や村事業者に、海外の言語や文化の講習などをしてほしい
- ④ その他（
- ⑤ 当てはまるものはない

問5 冬季の観光客受け入れについて、あなたの考えに当てはまるものを1つお選びください。

- ① 力を入れるべき
- ② やや力を入れるべき
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり力を入れるべきではない
- ⑤ 力を入れるべきではない

問6 前問で、『力を入れるべき』『やや力を入れるべき』と回答した方にお伺いします。

冬季の観光受入について、どのようなコンテンツがよいと思いますか。

- ① 村内のイベント・お祭りなど
- ② 陸域のアドベンチャーツーリズム（サイクリングや自然観察、散策など）
- ③ ホエールウォッチング
- ④ ダイビング・サップなどのマリンスポーツ
- ⑤ その他（

■情報発信

問7 あなたは、以下のものを利用していますか。該当する番号にすべて○をつけてください。

- ① 渡嘉敷村 公式サイト (<http://www.vill.tokashiki.okinawa.jp/>)
- ② 渡嘉敷フェリーポータルサイト (<https://tokashiki-ferry.jp/Senpaku/portal>)
- ③ 渡嘉敷村観光協会ホームページ (<https://tokashiki.info/>)
- ④ 渡嘉敷村商工会オフィシャルサイト (<https://tokashiki-ferry.jp/Senpaku/portal>)
- ⑤ 渡嘉敷観光ポータルサイト (<http://tokashiki-island.jp/>)
- ⑥ 利用していない

問 8 渡嘉敷村の観光誘客について、何かご意見があればご自由にご記入ください。

アンケートのご協力どうもありがとうございました。

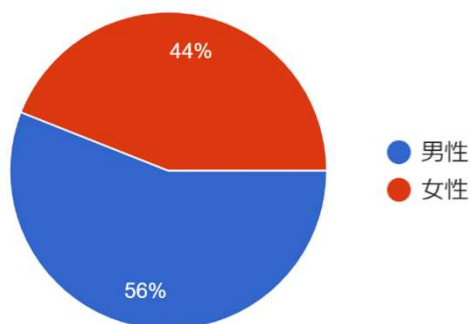
3月6日まで事務局に到着するようにご投函お願いいたします。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

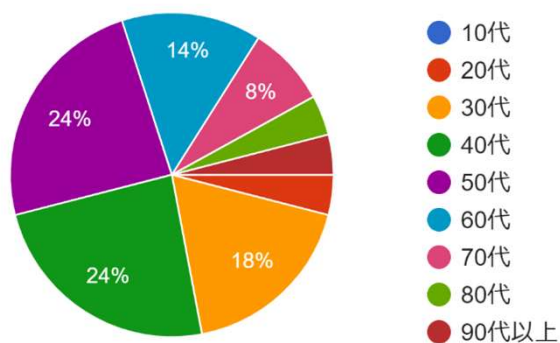
①WEB調査、事業者・村民アンケート 村民アンケート

回答属性情報

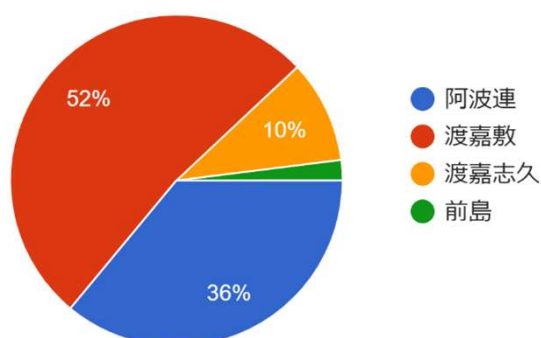
●性別（n=50）



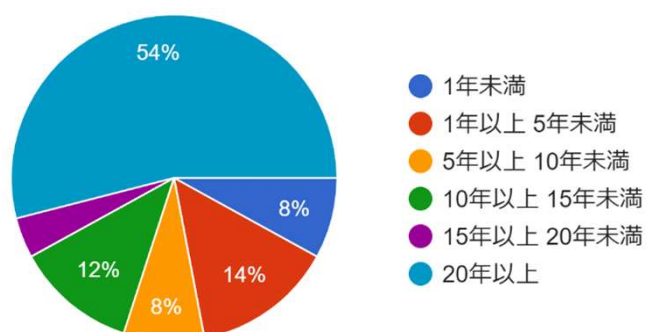
●年代（n=50）



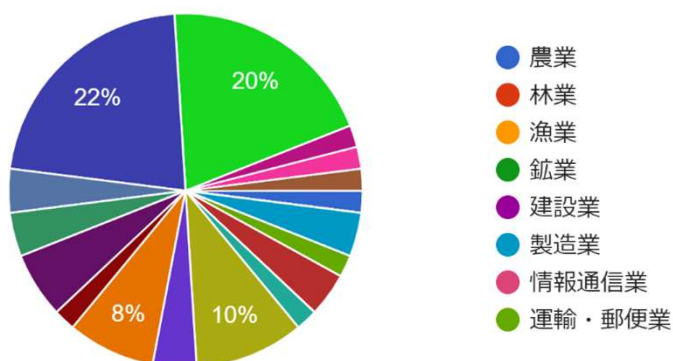
●居住地（n=50）



●居住年数（n=50）



●職業（n=50）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

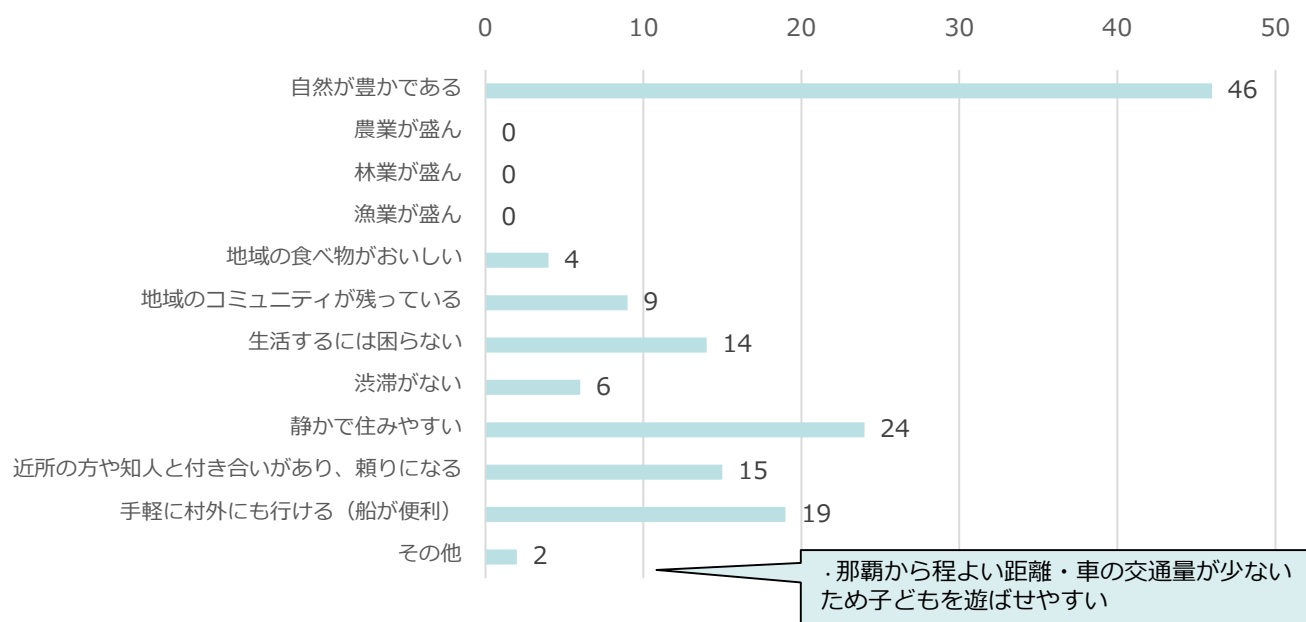
①WEB調査、事業者・村民アンケート

回答結果

村民アンケート

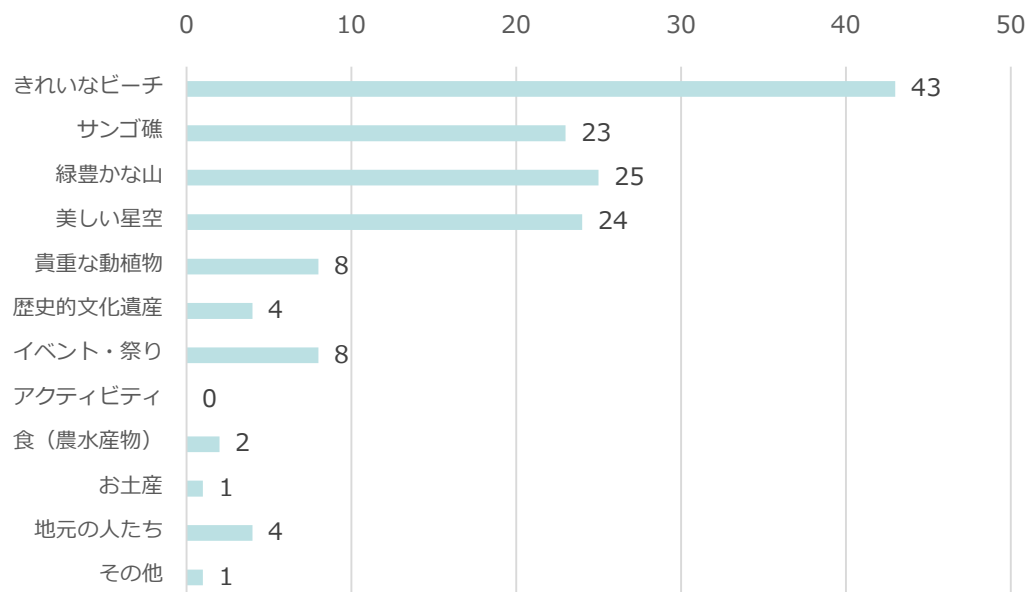
「自然が豊かである」は9割以上回答。次いで、「静かで住みやすい」、「手軽に村外にも行ける」と続いており、住んでいるからこそ感じる魅力を選択する方が多かった。

問1：あなたは渡嘉敷村のどのようなところに魅力を感じていますか。3つまでお答えください。（n=50）



「きれいなビーチ」が最も高く8割以上が回答。次いで、「緑豊かな山」、「美しい星空」、「サンゴ礁」と続いており、海や日中に限らない魅力がお勧め資源として挙がっている。

問2：観光客の方にお勧めの資源はありますか。3つまでお答えください。（n=50）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

①WEB調査、事業者・村民アンケート

回答結果

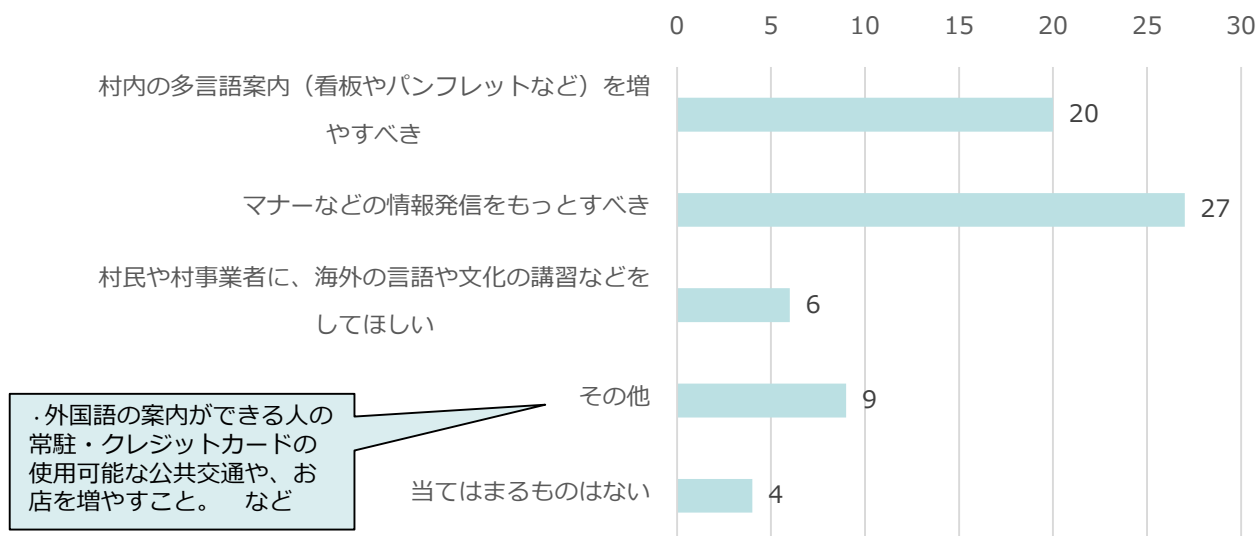
村民アンケート

問3：コロナ禍の観光誘客において、来島する観光客の方への要望があれば、ご記入ください。（n=24）
（一部抜粋）

- ・ 島は医療機関が貧弱なので島のルールを守って欲しい。
- ・ 島の環境を大切に、楽しんでもらいたいです
- ・ 体調管理をしっかりとしてもらうこと。
- ・ コロナ対策をしっかり行いながら、年中楽しめるマリン体験のプログラム強化
- ・ こちらがお願いしているルールを、きちんと守って欲しい。マスク着用や、飲食時のマナーなど。
- ・ 交通のマナー
- ・ 例えば船内、村民が予防のためマスク着用しているのに観光客が船内でマスクをしていないとか、飛行機内ではマスク着用するのに船内では何故しないのか
- ・ 医者が1人なので、体調不良者は島に来ないでほしい
- ・ 世の中の状況を考えて観光に来てほしい。海がなくなるわけは無いと思います。
- ・ 島でのマナーやルールをちゃんと島に行く前に知ってほしい ※団地内の散歩、遊具への勝手な出入り、特に一人でいられるとこわい！
- ・ 夜に大声で騒ぐのはやめてほしい
- ・ 体調不良時は無理せずに来島を延期する
- ・ 体調が悪ければ来島をひかえる。PCR検査を受けてから来島する
- ・ マスクちゃんとつけてほしい
- ・ マスク着用、集落内徐行運転
- ・ 夏季の観光客で渡嘉敷部落で上がはだかの人が時々います。ビーチだとOKだがビーチ以外はダメ
- ・ 村内には多くの高齢者もいるので感染対策はきちんとしてほしい。熱があったら来島控えるとか。
- ・ 健康の自己管理をきちんとしてほしい
- ・ 那覇に行くためにフェリー渡嘉敷に乗っていると外国人の男女4人が乗り込んできた。見るとマスクもしてなくて恐ろしくなり荷物をまとめ別の部屋へ移動した。そのような人達は乗せないでほしい
- ・ マスク着用の徹底

マナーについての発信が最も高く、上記の自由記述などからも、日本人・外国人ともにマナーやルールの周知が必要と考えている人が多いことが伺える。

問4：外国人観光客の受け入れについて、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。（n=50）



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

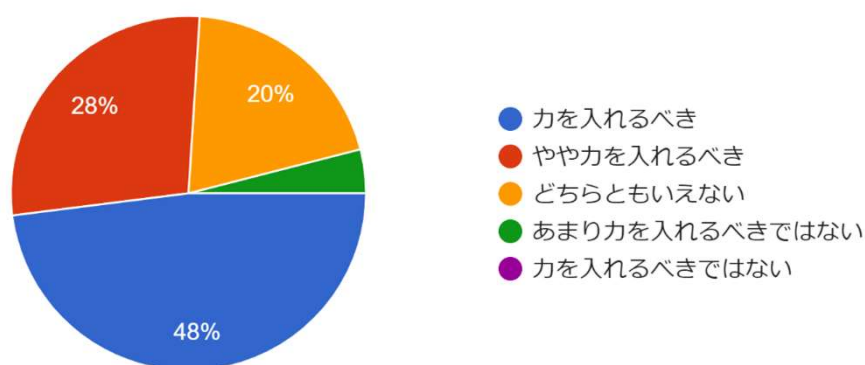
①WEB調査、事業者・村民アンケート

回答結果

村民アンケート

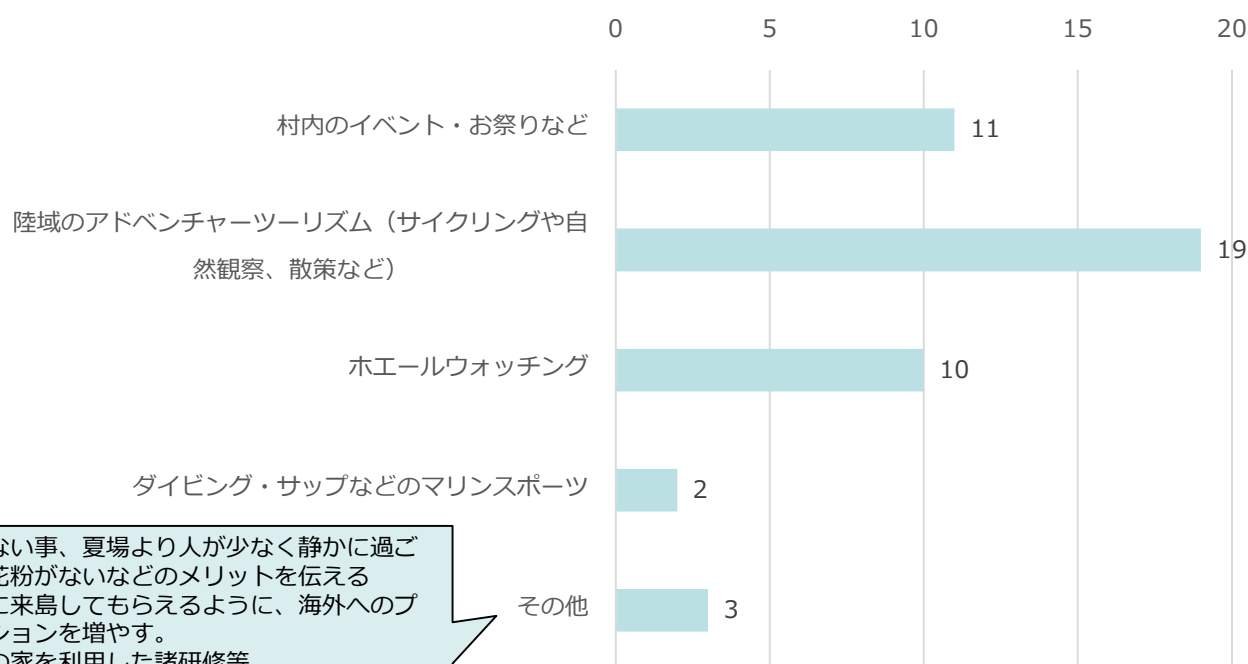
冬季の観光客受け入れについて、「力を入れるべき」、「やや力を入れるべき」と回答した方が、全体の76%を占めており、多くの村民が冬季の観光について受け入れを強化すべきと考えている。また、「力を入れるべきではない」は0であった。

問5：冬季の観光客の受け入れについて、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。（n=50）



半数の方が「陸域でのアドベンチャーツーリズム（サイクリングや自然観察、散策など）」を選択しており、陸域での渡嘉敷村の自然を感じられるコンテンツが高い。

問6：前問で『力を入れるべき』『やや力を入れるべき』と回答した方にお伺いします。冬季の観光ではどのようなコンテンツが良いと思いますか。（n=38）



・寒くない事、夏場より人が少なく静かに過ごせる、花粉がないなどのメリットを伝える
・冬場に来島してもらえるように、海外へのプロモーションを増やす。
・交流の家を利用した諸研修等

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

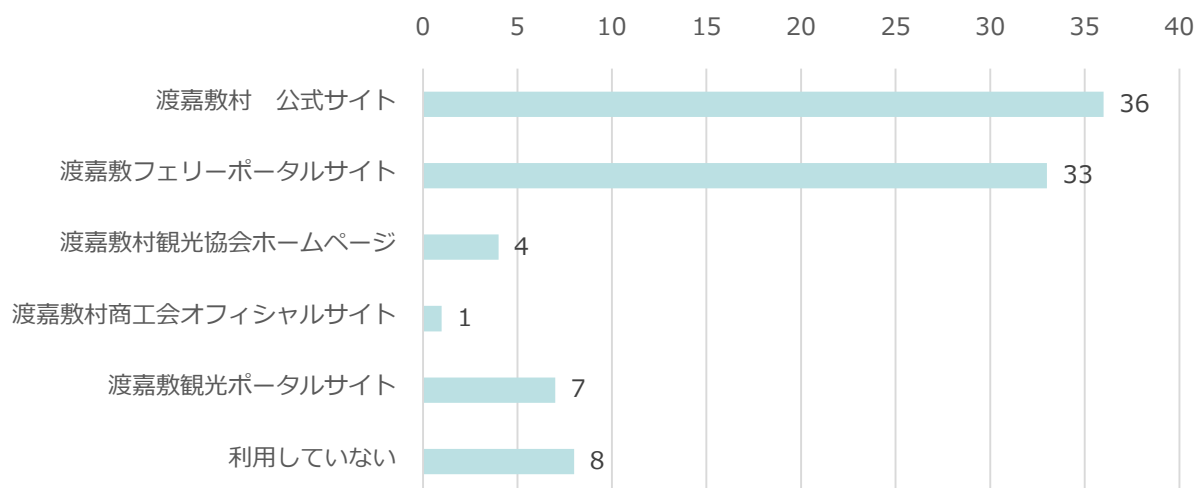
①WEB調査、事業者・村民アンケート

回答結果

村民アンケート

最も利用されているのは「渡嘉敷村 公式サイト」。次いで「渡嘉敷フェリーポータルサイト」となり、どちらも6割以上の方が利用している。

問7：あなたは以下のものを利用していますか。（n=50）



問8：渡嘉敷村の観光誘客について、何かご意見があればご自由にご記入ください。（n=22）（一部抜粋）

・コロナが落ち着いてお客様が増えて来ることは悪いことではないが自然が観光資源の島ではその自然が失われると全く魅力のない島になってしまいます。その為には入島制限も必要なのではないかと思う。日帰りの観光客は島に落とすお金が少なく島の宿泊施設には一部しかメリットがないので宿泊してもらえるように星空をアピールしたり長期でワーケーションもできる等のんびり滞在できるところをアピールするべきだと思う。

・新しい商品開発をすすめるより、今ある自然体験や、島のゆったりと流れる時間、海や山の色、波の音、海外のお客様にも喜んでいただける様なムービーを作成して、ネット発信していくのが良いと思います。

・渡嘉敷祭りは夏ではなく、秋11月頃が望ましい

・他の離島みたいに、島の歴史や文化、生き物などについて学べるような公共施設があると、もっと良い気がする。海や展望台以外の観光スポットがあれば、雨の日でも渡嘉敷を満喫できる。

・島は村民が生活しているので、水着や日焼けをしたいからと上半身裸でウロウロするのは辞めて欲しい。最低限のルールを守って欲しい。濡れた着衣での船の乗船もやめて欲しい

・誘客も受け入れる側の質があつての満足度や、リピートに繋がるとおもいます。受け入れる業者がこのままやりたい放題やられてはそのうちリピートしたいお客様も離れていくでしょう。怠慢な受け入れを止め真摯に努めていれば質然とお客様は冬でもついてくれるでしょう。

・海に害のない日焼け止めと洗剤（シャンプー・ボディソープ他）の使用。事故防止とサンゴ保全のため、個人のスノーケリングを行わず、業者に委ねる

・ジャキーだけではなく、個包装で配れるお土産（菓子類）を開発してほしい。一人ひとりに配るにはジャキーは高いので…例えば渡名喜はきびなごスコーンがある

・部落内の交通マナーの厳守、特に夜間の車・バイクなどの暴走行為について取り締まりをしてほしい

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

2020年度 進捗管理調査概要

■ 検証方法

観光振興基本計画「3章 渡嘉敷村観光振興計画」の「3-3 基本施策と取組みの体系」の実施主体に従って、評価者を選定。進捗管理状況を5段階で評価し、具体的な取組内容を調査。

■ 進捗管理状況の5段階評価基準

- A：達成
- B：ほぼ達成
- C：半分程度達成
- D：わずかに達成
- E：変化なし

■ ヒアリング対象者

渡嘉敷村 民生課 課長：新垣 聡 様
渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
※50音順

■ ヒアリング実施期間

2021年3月1日（月）～2021年3月3日（水）

■ ヒアリング実施者

株式会社ネオマーケティング 川村 純平
株式会社ネオマーケティング 佐藤 美耶子



2022年度ではDまたはEの進捗だったものをピックアップし、提言を記載。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

2022年度では、2020年度に

【D（わずかに達成）】、または【E（変化なし）】

の進捗だったものをピックアップし、提言を記載。

また、進捗によっては【F（実施しない）】ことも検討することを提案。

また、今後は進捗確認頻度を増やすことが、進行させるためにより重要となる。

体制は、行政、観光協会、事業者で行う。

この中で、特に事業者の実感が少ない様子がうかがえるので、実感でき且つ成果も数字で見やすい、経済効果を指標として盛り込む。

具体的には

1. 域内取引の促進

2. 初稿後の消費の取り組み

1. 域内取引の促進

観光客は地元産を好むため、域内の他産業をマッチングするような施策を打ち、その経済効果をKPIにおく。

2. 旅行後の消費を取込み

一つ目は、繁忙期と閑散期を平準化できること。

二つ目は、旅アト消費は、その後も長期的に消費が見込め、工夫によって量の制限が緩和できることから、経済効果が大きい。

（離島は旅ナカだけだと受け入れ可能数に物理的制限があるが、旅アトも取り込むことで解消される。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

D（わずかに達成）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	環境状況調査の継続実施と実施検討
取り組み内容説明文	阿波連ビーチに関しては、現在沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の継続を推進します。また、渡嘉志久ビーチに関しても、水質調査の実施検討を進めます。その他、必要と思われる環境状況調査を検討し、環境省や各種専門家と協力しながら進めていきます。
H30年度進捗状況ヒアリング	海水浴場の水質調査については、沖縄県の方針で調査が2年に一度に変更され、次回は次年度（平成31年）実施予定。 今後については環境省、県と協議の上必要な調査を引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長：新垣 聡 様
R2年度進捗状況ヒアリング	H31年度は実施済み。R3年度も実施予定。 検討は行っていない。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	H31は2カ所（阿波連小学校、渡嘉敷集落の井戸水）で実施。県実施の定点調査は継続して行う。そのほかの水質検査等の検討はされていない。
提言	・本計画内で実施すべき追加調査の必要性和対象を決定 ・現在候補に挙がっている渡嘉志久について実施するかしないかを決定することを提案

【2022年度提言】

目標が、阿波連ビーチは継続実施、渡嘉志久ビーチは実施の検討なので、検討することで【B(ほぼ達成)】、検討し結論まで結びつけることで【A(ほぼ達成)】になると思われるので、次のように進行してはどうか。
阿波連の過去の調査結果から、経年でどのように変化しているのか（悪化しているのか、変わらないのか、よくなっているのか）、水質環境の求める基準はどこなのか、それに対し阿波連はどのような評価か、など渡嘉志久における調査の必要性を見極める。また、実施しないと仮定した場合は、どのようなタイミングになったら再度検討をするか、あらかじめ決めておくことも提案（20●●年など年度を定める、阿波連の水質評価基準が●●になった際、など）。また、村民調査で声が上がった環境に良い日焼け止めの使用を呼び掛けるなどの周知も検討に挙げてよいのではなかろうか。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組を進めます。

具体的な取り組み内容	環境基準値の共有
取り組み内容説明文	沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の結果数値とともに、沖縄県が設定する環境基準値を共有します。また、必要に応じて、渡嘉敷村としてあるべき目標設定も検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	上記の海水浴場の水質調査については、調査結果を県の発行する「環境白書」で発表している。 渡嘉敷村として目標値を設定するかどうかは今後検討。
ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長:新垣 聡 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	結果数値と環境基準値は「環境白書」で発表している。 目標設定に関する検討は行っていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	結果数値と環境基準値は環境白書にて共有している。現時点では渡嘉敷村単体の目標設定については検討していない。 基準値を定めようとしたものの、基準値をどう定めればいいのかよく分からない。未来に向けて「どうやって着手していくか」というのがこれからの継続課題。
提言	沖縄県基準を超える厳しい基準が必要なのか、国立公園としてスタンダードなのか、他国立公園事例など確認が必要。必要ということであれば、「基準をどうすればよいかわからない」という点が一番のボトルネックなので、まずは現在の水質検査の結果をもとに、仮目標を決めることを提案。県基準を超えることを特に求められていないならば、現状の結果数値を公表するレベルでよいと考える。村内に共有し、村民の生活および観光に係る環境に対する意識レベル向上を図る程度でよいと考える。

【2022年度提言】

目標のうち、水質調査結果の結果数値と沖縄県設定の環境基準値は目標設計時から共有しているということで、渡嘉敷村としてあるべき目標設定の設定検討を推進し、次のステップに進行するために次の手順で進めてはどうか。
まずは、目標値を定める必要があるか（＝【F(実施しない)】）を検討。
定める場合は、誰に・何を・なぜ・何のために発信する必要があるのか。例えば水質の場合、現状数値と目標数値を定めた際に、観光客に対し環境問題に関心を持ってもらいたいのか、美化活動に関与してほしいのか、といった、達成するためのアクションや、村民や観光客に何を求める（規制する）必要があるのかを検討する。目標達成のためには、村民や観光客の協力は必要不可欠であると思われるので、村民が介する場での意見の出し合いから進めてもよいのではなかろうか。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	環境負荷削減につながる取組みの実施検討
取り組み内容説明文	環境負荷削減に向けて、産学官連携も行いながら、新技術の活用や効果的な方法など、様々な取組みの実施を検討します。 また、国立沖縄青少年交流の家と連携しながら、環境についての学習機会の提供に向けた検討を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	国が定める温室効果ガス削減目標は2030年までに2013年度比－26%。これをうけて、渡嘉敷村においても次年度から計画を策定し、取組みを実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	環境保全を主とした取組（協議）がされていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	環境保全を主とした取組（協議）がされていない。計画の策定もまだ。環境省含めて取り組み方の検討が必要。このままでは進展は難しそうなので、環境省も含めて取り組んでいきたい
提言	進展させるためにはもう一段ブレイクダウンした計画が必要と考える。「温室効果ガス削減」に効果がある取組みは何かを明確にしその取組みに対して行動目標を定めることを提案。

【2022年度提言】

『取り組みの検討』が目標なので、実施可否に捉われず、環境負荷削減につながる取組みを挙げ、そこから実施における障壁別など指標をもって難易度を分け、検討することで、次のステップへと進展できるのではないかとと思われる。そのため、取り組みを挙げていく際には渡嘉敷村で課題となっている環境問題から、その解決方法の取り組みや、地元住民・観光客からの意見を収集し、それに対する現在地と目標、アクションプランを定めていくのがいいのではないかとと思われる。

H30年度のヒアリングにある『温室効果ガス削減』と定まっているのであれば、削減につながる行動は村民、各事業者、観光客等様々な立場の人が何を取り組む必要があるのか、取り組むにあたりネックとなるものは何か、整理する。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組を進めます。

具体的な取り組み内容	環境協力税の妥当性の検討
取り組み内容説明文	環境負荷の増加に伴う現状の環境協力税の妥当性について改めて検討し、金額の増額を見極めます。
H30年度進捗状況ヒアリング	継続して検討。総務課だけで決定できることではないため、村民の声を聞き、各課と連携して進めていく必要がある。
ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況ヒアリング	検討はされていない。重要性は理解しているため、継続検討項目として慎重に進めていきたい。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	環境協力税は現在は100円の設定となっており、貴重な財源となっている。環境保全の維持に資する事業に充当しているが足りていない。村民も課税対象となるため、村民の意見も聞かなければならないので、竹富島のように値上げするのは非常に難しいと考えている。慎重に協議しなければならないため、今後も継続検討。環境協力税導入当初は村民からの反対の声もあったが何とか理解をいただき導入したという経緯がある。その経緯もあり増額するにはそれなりの納得できる理由と使い道の説明が必要。一番の財源にはなるため、必要性があることは間違いなし。しっかりと検討して進めていきたい。進めていく議論がされる場合、最終的には村民全体への理解が必要だが、まずは各種団体の代表者等、人選をして意見を聴取し全体へと理解を広げていきたい。
提言	一歩目として、役場、商工会、観光協会、村民代表の複数名で協議を実施する。現状の使用内容やその決定スキームの検証も必要と考える。単年度での利用制限、基金化されているかなどの確認も必要。メンバー全員で必要性の確認、増額導入目標期日を定めることを提案

【2022年度提言】

目標の中に『金額の増額を見極める』とあることから、【A(達成)】に到達するためには増額にむけたルートが見えることとなる。そのため、現在も進んでいないのであれば、例えば他地域の事例や、維持に必要な予算から妥当性を検討。観光客が多い夏季のみの増額や、クラウドファンディングなどを活用し、直接の増額以外の方法の可能性も合わせて検討することを提案。2022年度末では物価高などから社会的にも増額発生しているの、検討の障壁となっているものが本当に障壁なのか、精査するとよいのではなかろうか。

（また、補足だが、21年度に行った事業者ヒアリングでは、那覇から直接慶良間海域でダイビングをするダイバーに関しては環境税の徴収が出来ていないという声も上がっている。）

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.2 エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくと共に、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思ってもらえる取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	良質なエコツアープログラムの開発・実施
取り組み内容説明文	幼児から大人まで、渡嘉敷村の豊かな自然の魅力を体験してもらい、自然の大切さと尊さを学んでもらう良質なエコツアープログラムや体験活動プログラムの開発を行い、実施します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して検討。 現状エコツアーガイドのための認定制度等は設けていないが、村内事業者の努力により、計画策定時は4メニューであったものが、今年は8メニューに増加している。2022年までに20メニューが目標なので、これを達成するための施策について検討中。

ヒアリング	観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	渡嘉敷村エコツーリズム推進協議会の活動が停滞。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	渡嘉敷・座間味でそれぞれ動いており、「慶良間諸島として一つでやっとう」となっただけからは進捗無し。今後の動きとして、1歩目は慶良間全体の会議を開くこと。R3年度中1回は開催できるよう目指したい。
提言	「R3年度中に1回は実施」へむけ、第1回実施のためのプロセスを細かく設定して実行に移していくことが提案。同時に事業者レベルでの動きを村としてサポートできる施策の検討が必要と考える。

【2022年度提言】

目標自体は『プログラムやプログラムの開発の実施』なので、当初計画からは進行していると見受けられるが、H30年度ヒアリングからは進捗無いとのことであった。さらなるメニューの開発や、座間味村との取り組みのプログラムを開発することで【B(ほぼ達成)】や【A(達成)】へと進行すると思われるが、それらが進行の障壁となっているのであれば、例えば、2020年時点で8メニューということであったが、これらをさらに発展させることや、メニュー数の妥当性も含め、検討しても良いのではないかとと思われる。事業者の負担や観光客のニーズなどの観点から、こういった目的のものをいくつ開発するのか、目標を定める。エコツアープログラムでは、事業者ヒアリングでも声が上がった【サンゴの移殖】や、【稚魚の放流】など実際に体験するものから、ビーチのごみ拾いなど直接美化に関わるものまでであるが、その後の進捗なども発信し、コミュニティを醸成することも継続していく上では有効なのではないかと思われる。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.2 エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくと共に、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思ってもらえる取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	渡嘉敷村を考える会の開催実施
取り組み内容説明文	青少年を含む村民や村内事業者など全てを対象に、渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り・考える会を開催し、地元へ愛着を持ち、好きになる、守っていく機運を高めていきます。
H30年度進捗状況ヒアリング	1-1-④の項目と同様、総務課だけでは対応できないので各課との連携が必要。開催の仕方について、要検討。
ヒアリング	総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況ヒアリング	変化なし。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	開催内容、開催方法など目標がざっくりしているので、もう少し細かく設定したほうがいいのではないかと考えている。「渡嘉敷村を考える」という大きなテーマからブレイクダウンし、個別のテーマを設定して『自然、観光振興、これからの渡嘉敷』など具体的なテーマを設定した方がやりやすいと思う。観光協会主催で協議会をいくつか持っているの、それを一つの参考にしつつ実施すれば、ゴールとして渡嘉敷村を考えることに繋がっていくのではないかと考えている。住民とのコミュニケーションの場として、年に1回実施している住民懇談会がある。R2はコロナによって実施できなかった。R3は実施やり方を考える必要がある。住民懇談会は自由に討議できるため、住民が思っている事を吸い上げる機会と考えている。参加者少ないことは課題。歴史を学ぶことについては教育委員会主体で実施している（慰霊の日に合わせて実施）。
提言	本項目の目的は「渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り・考える会を開催し、地元へ愛着を持ち、好きになる、守っていく機運を高めること」となるので、別取り組みで代替できるのであれば差し替えも検討することを提案。現在の取り組み内容のまま進捗させるには、年4回程度の開催頻度としてまずは第1回を少人数で実施。そこで残り3回のテーマを決定することを提案。会の目的を明確にすると同時に、民間のファシリテーターを活用する等、会の進め方に変化を持たせることで新たな着地点も見えてくる可能性があるのではないかと考える。

【2022年度提言】

現時点で、進捗が昨年同様であれば、【F（実施しない）】も検討してもよいのではないかと考える。また、20年度ヒアリングにあるように、目標が『機運を高める』ことなので、方法・手段に捉われないのであれば、すでに実施をしている住民懇親会（R2はコロナの影響により未実施）で、渡嘉敷村の環境問題、歴史・文化の側面を話し、話し合いの場を設けることでも、【C（半分程度達成）】へとステップアップできるのではないかと考える。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

D（わずかに達成）

基本施策1.4 外来への対策

渡嘉敷村在来の様々な動植物を守るとともに、村内の被害を減らしていくため、外来種駆除に向けた対策を進めます。

具体的な取り組み内容	生態系維持に向けた取り組み
取り組み内容説明文	外来種により、在来種に大きく影響を与えていることから、渡嘉敷村本来の生態系を維持していくため、防除など必要な取組みを推進します。 また、今後更なる被害を防ぐため、村民及び観光客に対して、外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有を図ります。
H30年度進捗状況ヒアリング	村内への持ち込みに届出が必要なものについて等、次年度ポスターを制作し、周知を強化していく予定。
ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況ヒアリング	外来動植物の持ち込みについては、国立公園として環境省協力の下、島内入口となる定期船船員へ周知協力を求めている。また、外来動植物の持ち込みについて広報誌等で住民へ周知を図る。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	外来動物の持ち込みに関しては重要事項として取り組んでいる。イノシシ問題が最大の課題。船舶職員に周知をして、何かあった際は報告するようにしているが、島に入ってくるところをどこでストップするか、というのが難しい。『持ち込ませない』『発生したもの』を減らしていくという2つを並行して進めていかなければならない。イノシシも家畜に入る可能性があるので条例で規制することが難しい。次のステップとして、持ち込みルートの把握、管理体制を構築していく。もう一つの問題であった「すっぽん」は現在はいだいぶ減った。イノシシも減ったのではないかと感じているが実態の把握が難しい。柵を作ったことで、農作物の被害は少なくなっている。人への危害が心配だが、今のところ観光客への被害は発生していない。
提言	「防除」については現在の取り組みを継続して実施。「達成」の基準設定が難しい項目であるが、村としてはしっかりと取り組まれている印象。「外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有」については、例えば小学校の授業などで年1回、「外来種が渡嘉敷島に与える影響」などを行い、幼少期からの教育をしていくことを提案。存在来種を守り、特別感や接し方などを学ぶことで、将来的の観光に繋がる（生活の質が向上）する事に道筋も示せるのではないかと考える。

【2022年度提言】

【A(達成)】となるためには、すでに取り組まれているイノシシの防除の他に、他の外来種の防除や、入島の際の外来種被害予防三原則の周知と徹底が必要となる。

外来種の侵入に関しては、対策を強固にしても100%防ぐことは難しい。外来種が及ぼす環境・生活影響を継続的に周知活動をすることで、初期段階の対応が出来る体制を整えつつ、危機意識の醸成が出来るのではないかと考える。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

D（わずかに達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	働く人材不足の解消に向けた取り組み
取り組み内容説明文	ホテルや民宿などの経営者の高齢化に伴う担い手や働く人材不足の解消に向けて、後継者育成や村内移住者の活用・マッチングを進めます。 また、必要に応じた外部からの人材確保に向けて、居住環境の整備充実を推進します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	R 1 ～ 2 に村営住宅建設に取り組んだが入札不調が続き建設に至っていない。
具体的な進捗状況 のヒアリング結果等	2年継続で予算確保し入札したが不調に終わっている。今後は違う方向で考えている。具体的には民間で建設もらい、民間が家賃収入で運営をしていく方向。土地は村有地を提供し、民間で建設、維持、運営というスキームを検討している。候補地として2か所確保済み。何社か話済みだが正式には決定していない。まだ建設費が高価格ということもあり、オリンピック終了後まで各社様子を見ている感もある。座間味では同様のスキームで1棟4世帯で成功事例あり。渡嘉敷では1棟6世帯くらいを目指している。新たに住みたい人が土地を買うことは困難（売る人がほばいない）。
提言	現在検討されている村有地の無償譲渡、民間経営は十分可能性があると考え。現在の村が抱える課題のボトルネックに「住宅不足」があるため直近の重点項目として対応されることを提案。または、村として、予算不足分を補うためのクラウドファンディングなども検討の選択肢に入れてみてはどうかと考える。

【2022年度提言】

【A(目標達成)】のためには、移住者の呼び込みと移住者のための居住環境が必要だが、現状住居建設はハードルが相当高いと思われるため、別の視点で人材確保（＝労働力確保）を模索することを提案。
事業者のDX推進などで、労働力を創出したり、効率化することで、観光客受入体制強化につなげることも可能なのではないかと考える。DX推進の中では、コストが低額のものや無料のツールもあるが、事業者の中にはそういったサービスやメリットに対する理解が低い可能性もあるため、村全体でアドバイスを受けられる機会を設け、導入を進めていくことで、人材確保に捉われない新しい方法が模索できるのではないかと考える。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

E（変化なし）

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

具体的な取り組み内容	交通安全看板等の整備検討
取り組み内容説明文	渡嘉敷村内の交通ルールを守ってもらうよう、多言語表記も含めた交通安全看板等の整備を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	引き継ぎ検討。予算もない。優先順位は低い。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現在はレンタカー屋で丁寧に説明してくれており、通常の標識と合わせて、ある程度足りているという認識を持っている。引き続き検討していくが、交通ルールはある程度共通言語だと思われるので、現時点では限られた予算の中で、多言語案内の設置の優先順位は低いと考えている。
提言	交通安全看板については多言語表記よりもインフォグラフィックなど視覚的な表現を活用して、注意が必要な重要箇所に設置していくことを提案。一方通行を逆走する外国人観光客もいるため、一方通行箇所の視覚化は重点的に対策してはどうかと考える。

【2022年度提言】

【B(ほぼ達成)】以上になる場合、交通安全看板の整備の検討が必要だが、現時点で特に進行が無いようであれば、【F(実施しない)】も検討しつつ、実施する場合は、2020年度提言にあるように、優先順位をつけ重要課題から取り組むことを提案。

(また、住民への調査(第5次総合計画)では、看板が増え昔の素朴な雰囲気がなくなった、という声も上がっている。)

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

E（変化なし）

基本施策2.4 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

具体的な取り組み内容	適正な船舶の運用体制づくりの推進
取り組み内容説明文	今後の渡嘉敷村の適正な観光客数をしっかりと議論した上で、必要に応じた運用体制の構築を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	村の適正な観光客数を議論する上で、今現在渡嘉敷で宿泊している観光客数のカウントが必要。 船舶のデータでは出せないで、宿泊施設へのヒアリングを今後設立予定の観光協会と検討していく。
ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光宿泊数については、観光協会と連携する。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	離島間の移動船『みつしま』は座間味村で出してもらっている。観光目的来島数の把握は船舶課だけではできない。現在のところ船舶に乗る人が宿泊目的かどうかの情報はとれていない。予約時に宿泊か日帰りかを聞くこともできると思うが、現在の運用だと難しいと考えている（ネットで予約した人も窓口での購入が発生するため）。また、予約システムに組み込むにも、全ての乗客が予約をしていくわけではないのが現状。観光協会が出来たので、宿泊客数に関しては連携して情報を獲れるようになる見込み。日帰りの有無については船舶課・那覇事務所で実施。キャンプ客もいるため、日帰りの有無だけでは施設への宿泊客数はとれない。観光協会がイベントを実施した時、船舶を臨時運営することなどは可能。
提言	「適正な観光客数」の定義を定めることを提案。現在の宿泊数をカウントするのではなく、物理的にカウントできる現在のインフラ（宿泊可能数、ランチ席数、船舶のキャパシティ、レンタカー台数等）から、「観光客が快適に過ごせる、少し混みあっている、過剰な状態で快適に過ごせない」のラインを定義し、村として、「観光客が快適に過ごせる」というラインをあげていくためにすることは？という視点で取り組み内容を検討いただくとよいのかと考える。新しい旅のエチケットも意識しながら考えていくことも必要と思われる。

【2022年度提言】

目標が、適正な観光客数についての議論と、必要に応じた運用体制の構築ということで、【C(半分程度達成)】以上に進行するために、すぐに収集できる現在の許容数を定量化し、それをもとに混雑具合や目標を議論するのがよいのではなかろうか。そのために、渡嘉敷村内の宿泊可能数、ランチ席数、船舶のキャパシティ、レンタカー台数等を量的に可視化し、快適指数や、許容数の拡大化を図る取り組みを検討することをご提案。

例えば、ランチ席数であれば、開店時間と平均滞在時間と席数で受入のキャパシティを算出できるので、そこからどの程度受入数を広げる必要があるのか、テイクアウトや営業時間の延長は可能なのかが議論できるのではないかとと思われる。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.4 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

具体的な取り組み内容	慶良間諸島の周遊航路の検討
取り組み内容説明文	観光客が楽しめる観光を実現するため、渡嘉敷島から慶良間諸島を周遊できる航路の検討を行います。
H30年度進捗状況ヒアリング	どのくらいの利用者が期待できるのか、フェリーでの運航は厳しい。民間事業者で検討したほうが良いのか、さんごの日などイベントに合わせてが良いのか、引き続き検討。
ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況ヒアリング	観光協会が主導して企画イベントを実施してほしい。
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	「花とくじらまつり」という港で開催する鯨の造形花とホエールウォッチング等を楽しめるイベントをH15～何年か継続して実施していたが、最近は実施していない。船舶課のみではイベントを企画しづらいため観光協会と連携していきたい。⇒観光協会ヒアリング：慶良間全体としての周遊は、環境省の予算を使って商品を創れば良いのではないかと考えている。観光協会からの声出しができればいいと思っている。
提言	慶良間諸島全体の活性化のためには周遊ルートの創設は望ましいが、収益面を考えると現段階では現実的には厳しいと思われる。観光協会で検討されている通り、環境省などの予算を使い、商品造成し軌道に乗せていくことが必要と考える。慶良間諸島全体を巻き込んだ動きについては、観光協会の取り組みに対して村が積極的に支援していくことを推奨。慶良間全体をどう巻き込んでいくかをしっかりと描いて行動する必要があると考える。

【2022年度提言】

慶良間諸島を周遊航路の作成と、かつ観光客が楽しめるものであることが【A(達成)】とするならば、昨年度提言にもあるように現実的には厳しいと思われる。そのため、【C(半分程度達成)】や【D(わずかに達成)】にステップアップするために、引き続き環境省や他の慶良間諸島とどういった取り組みが実施できるのかに加え、渡嘉敷村としてどうしたいのかも合わせて検討することが1歩目となるのではないかと考える。イベントに関しては、コロナ禍で大勢の人が集まるイベントに対する懸念も考えられるため、観光協会と体制を組みつつ、大規模イベントに頼らない、高頻度でも開催できる小規模のイベントや、季節での見頃のもの・お土産などをイベント化する方向性でも検討の余地があるのではないかと考える。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

E（変化なし）

基本施策2.5 避難対策の整備

地元住民だけでなく、観光客に対してもわかりやすく、安全に避難が行えるように案内板の設置やマニュアル作成等の避難対策を整えます。

具体的な取り組み内容	避難時の対応マニュアルの作成・配布
取り組み内容説明文	避難時の対応について簡単なマニュアルを作成し、船舶内や民宿等に設置します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	次年度見直しを行う。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	R3年度の予算には組み込まれていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	予算の枠組みの中でこの事業をやっているが、本件は現状は優先度が低く見送っている。予算がつけば実施予定。
提言	大きな予算や長い時間が必要な項目ではないため、実施する時期を決めて公募などで推進していくことを提案。

【2022年度提言】

現時点でも大きな進捗が無いようであれば、【F(実施しない)】も検討することも提案。
実施する場合は、具体的な項目を定め、予算額を明確化することで【D(わずかに達成)】や【C(半分程度達成)】に進行するのではないかと。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.6 非常時における対応

観光客の観光中の怪我や病気などの非常時に向けた対策を整えます。

具体的な取り組み内容	非常時の対応マニュアルの作成と周知
取り組み内容説明文	観光客の観光中の怪我や急な病気の際に対応できるよう、マニュアルを作成するとともに、その周知を図ります。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	同上。必要性については感じている。119番で対応はできている。運用はまわっている。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	必要性は感じており、予算がつけば実施する。けがや病気の際の運用は消防や事業者と連携し、現状問題なくできていると考えている。
提言	現在運用が回っているため、その運用をドキュメント化して事業者へ配布するとともに市や観光協会のHPへ掲載していくことを推奨。大きな予算は不要な項目のため、可能であればR4での着手、完了を推奨。

【2022年度提言】

2020年度でR4での着手を提案済み。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 3.【観光メニュー】

D（わずかに達成）

基本施策3 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

具体的な取り組み内容	渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出
取り組み内容説明文	年間を通じ、農林漁業との連携による、渡嘉敷村らしい自然・歴史・文化に感じながら、島民とのふれあいのある体験メニュー・プログラムを創出します。 また、渡嘉敷村の有する様々な観光施設の活用と、環境や平和についての学習の視点を含めた観光メニュー・プログラムづくりも検討します。
H30年度進捗状況ヒアリング	農林漁業と観光の連携を高められるよう、役場の担当課を新設。観光メニューは現在増加している傾向にあるが、これを推進するための施策を、観光協会と連携して引き続き検討していく。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況ヒアリング	進展なし
具体的な進捗状況のヒアリング結果等	陸での観光メニューがなかったが島あっちーを活用することで造成することができた。観光協会が出来たので、主軸にしてさらなる観光メニュー開発を進めていく。今後は観光協会などから上がってきた提案に対して行政がメニュー化の判断をする。
提言	本項目については観光協会がキーを握っていると考えられる。別項目でも課題として記載しているが、観光協会の人員充足が肝要。村事業や県事業の仕掛けを連動させて取り組みをさらに活性化させることを推奨。

【2022年度提言】

達成項目として、島民と触れ合える体験メニューの創出になるので、引き続き島あっちいの活用をしながら、造成することで、【B(半分程度達成)】や【A(達成)】に近づけるのではないだろうか。
また、すでに造成は出来ているものの【D(わずかに達成)】なので、他に造成したいメニューについて整理し、目標値を定めることで、評価も明確化するのではないかと思われる。
また、2022年度村民アンケートでは、渡嘉敷村の観光客にお勧めしたい魅力として【緑豊かな山】【美しい星空】など、陸や夜の時間帯のコンテンツも上がっていたことから、宿泊してこそ得られる体験をアピールできるとよいのではなかろうか。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 5.【誘客プロモーション】

D（わずかに達成）

基本施策5.1 情報発信の充実

村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

具体的な取り組み内容	村ホームページの改訂
取り組み内容説明文	観光客の視点を意識した、渡嘉敷村の様々な魅力を伝えていく村のホームページの改善を目指します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	次年度実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長:金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	コロナで予算を振り向けることが出来ない。凍結中。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	令和3年度は実施予定なし。令和4年度以降に実施予定。HPについては住民も関心を持っている。令和2年度1000万円の予算を組んだが凍結。1000万円の予算は構築費用で、運用費用は含まれていない。
提言	現在のHPは確かに少し古い印象。HPリニューアルには大きな予算がかかるためR4での実施とのことなので、R3については低予算で実施できる公式SNS等の取り組みを強化することを推奨。

【2022年度提言】

R4での取り組み予定とのことだったが、HPに関しては事業者からリニューアル希望の声が上がっているので、1000万円をかけず実現できるラインはどこなのか（機能などをどこまで組み込むのか）も含め再検討することも提案。目標が改善を目指すことなので、まずは要件定義を作成し見積りを取り、どこまでの機能を組み込むか精査することで【C(半分程度達成)】し、開発のフェーズに移行することで【B(ほぼ達成)】などステップアップにつながるのではないかとと思われる。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

②観光振興計画の方向性調査

基本方針 5.【誘客プロモーション】

D（わずかに達成）

基本施策5.3 交流活動の推進

他自治体を中心に、交流する機会を創出しながら、渡嘉敷村のより良いプロモーションに寄与する取り組みを進めます。

具体的な取り組み内容	他自治体との交流機会創出の検討
取り組み内容説明文	共通点のある他自治体や、需要と供給が合致する他自治体など双方にとって有益となる交流機会の創出を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き、検討。
ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	他の自治体との交流が難しく、座間味村以外とは進んでいない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	座間味村とは観光振興・環境関連・エコツーリズム、慶良間諸島満喫PJ等を通して交流を行っている。内容は観光環境が主体。他の自治体とは座間味村と同じ密度では実施できていない。具体的なテーマが設定されていないと難しい。観光客を誘客するにはどうするのか、などの視点から進めていくのがいいのではないかと考えている。
提言	共通点がある自治体、需要と供給が合致する自治体との交流を進めるにあたり、渡嘉敷村の「どの特徴」についての共通点がある自治体と交流するか、需要と供給が合致するとは誘客の視点において「何の需要と供給か」を明確に設定することが必要と考える。その上で、その条件に合致する自治体に対し渡嘉敷村側からアプローチしていくことを推奨。また現状の座間味村との連携内容や、進捗やゴールなどを整理し、明文化するとよいと考える。

【2022年度提言】

座間味村との取り組みが、他の自治体に比べ多いとのことだったので、まずは物理的距離も近い座間味村との取り組みに注力し、交流機会を創出することでも【C(半分程度達成)】となり得るのではなかろうか。また、そこで得られた知見、成功例を活用したり、逆に座間味村との取り組みでは補えない点を持っているのはどの自治体なのか（需要と供給）という視点から、他自治体を設定し、取り組みに向け渡嘉敷村側からアプローチし、交流機会を持つことで、さらに上位の達成度になるのではないかと考える。